

令和4年度
アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）
【結果報告書】

令和5年3月

関 市

目 次

1	調査の概要.....	1
	（1）調査目的.....	2
	（2）調査項目.....	2
	（3）調査方法.....	2
	（4）回収結果.....	2
	（5）報告書の見方.....	3
2	調査結果の概況.....	5
	（1）回答者の属性について.....	6
	（2）関市への居住意向などについて.....	6
	（3）家庭での暮らしについて.....	6
	（4）市の主な施策の「満足度」について.....	7
	（5）まちづくりへの意識と取組について.....	7
3	アンケート調査 調査結果.....	9
	（1）回答者の属性について.....	10
	（2）関市への居住意向などについて.....	17
	（3）家庭での暮らしについて.....	22
	（4）市の主な施策の「満足度」について.....	33
	（5）まちづくりへの意識と取組について.....	47
4	自由回答.....	73

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査では、関市民のまちづくりへの意識等を把握し、政策への反映に生かすことを目的として実施しました。

(2) 調査項目

- ①回答者の属性について
- ②関市への居住意向などについて
- ③家庭での暮らしについて
- ④市の主な施策の「満足度」について
- ⑤まちづくりへの意識と取組について

(3) 調査方法

- ①調査対象者 : 令和4年11月現在、関市に居住している満16歳以上の市民3,000人
- ②抽出法 : 住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③調査期間 : 令和4年11月25日～令和4年12月16日
- ④調査方法 : 調査票またはインターネットによる本人記入方式
郵送配布・郵送回収またはインターネット回答による郵送調査方法

(4) 回収結果

	配布数	有効回収数	回収率
合計	3,000	1,297	43.2%

(5) 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。
したがって、各選択肢の%に「N」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「N」に対する各選択肢の回答者数を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。

●表について

「不明・無回答」を除き、回答の割合が高いもの第1位と第2位に網掛けをしています。
なお、回答者総数（N）が10未満の場合は順位づけを省略し、読取文の対象外としています。

2 調査結果の概況

（１）回答者の属性について

性別について、「男性」が 40.9%、「女性」が 56.7%となっています。

年齢について、「70 歳以上」が 27.0%と最も高く、次いで「60 歳代」が 21.4%と高齢者が多くなっています。

住んでいる地域について、「関地域」が 83.4%と最も高く、次いで「武芸川地域」が 5.6%となっています。関市（旧武儀郡を含む）に住んで「30 年以上」が 66.0%と最も高くなっています。

家族構成について、「2 世代が同居（親と子）」が 49.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 28.8%となっています。

通勤（通学）場所について、「関市内」が 56.5%、「関市外」が 39.9%となっており、具体的な場所としては、「岐阜市」が 25.9%と最も高く、次いで「その他岐阜県内」が 19.4%となっています。

（２）関市への居留意向などについて

関市が住みよいまちと感じるかについて、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）が 77.8%と、『住みにくい』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」）を合わせた割合）の 10.8%と比べて高くなっています。

今後も関市に住み続けたいと思うかについて、『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」を合わせたもの）が 82.7%と、『転居したい』（「すぐにでも転居したい」と「できれば転居したい」を合わせたもの）の 6.6%と比べて高くなっています。

関市に誇りや愛着を感じているかについて、『感じている』（「とても感じている」と「やや感じている」を合わせた割合）が 66.0%と、『感じていない』（「全く感じていない」と「あまり感じていない」を合わせた割合）の 22.9%と比べて高くなっています。

これからのまちづくりを進めるために、特に重要であると思われるものについて、「利用しやすい公共交通」が 49.8%と最も高く、次いで「すべての人が安心できる暮らし」が 41.8%となっています。

（３）家庭での暮らしについて

家庭の暮らし向き（家計など）について、「苦しくなった」が 49.7%と最も高く、次いで「変わらない」が 44.0%となっています。

暮らしが苦しくなったと感じる理由について、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 89.9%と最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」が 60.1%となっています。

今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことについて、「健康・体力づくり」が 63.3%と最も高く、次いで「収入の確保・安定」が 51.0%となっています。

暮らし応援プレミアム付商品券（せきチケ）の購入について、「購入した」が 79.3%、「購入しなかった」が 18.4%となっています。購入しなかった理由について、「大規模店・中小規模店など使用制限があったから」が 39.3%と最も高く、次いで「購入が面倒だった」が 37.2%となっています。

関市プレミアム付電子商品券（せき pay）を今後利用したいと思うかについて、「利用したい（利用している）」が 46.8%、「利用したいと思わない」が 49.0%となっています。利用したいと思わない理由について、「現金の方が使いやすい」が 32.9%と最も高く、次いで「購入が面倒」が 30.6%となっています。

（４）市の主な施策の「満足度」について

満足度（『満足』の割合）について、「健康づくり」が 45.4%と最も高く、次いで「上水道」が 30.1%、「下水道」が 29.8%となっています。

重点的に進めるべきだと思う施策について、「公共交通」が 20.6%と最も高く、次いで「高齢者福祉」が 19.4%となっています。

（５）まちづくりへの意識と取組について

①地域づくり・協働について

過去１年間の地域活動の参加の有無について、「参加した」の割合が 54.0%となっています。

１週間に１回以上運動やスポーツをしているかについて、「している」が 54.0%となっています。

過去１年間の芸術文化を鑑賞した機会について、「ある」が 33.6%と、「ない」の割合 65.7%と比べて低くなっています。

関市自治基本条例について、「知らない」が 65.2%と最も高くなっています。

市政運営を進めるうえで、重要であると思われるものについて、「健全な財政運営を行うこと」が 47.3%と最も高く、次いで「自然災害、重大な事故等に備えて危機管理を行うこと」が 43.3%となっています。

「協働によるまちづくり」や「市民自治」に重要であると思われるものについて、「市政に関する重要なことは、広く市民の意思を確認すること（住民投票）」が 46.0%と最も高く、次いで「重要な計画、制度等を定めるときは、市民から意見を募ること（パブリックコメント）」が 39.3%となっています。

条例を制定してから「協働によるまちづくり」「市民自治」が進んだと思うかについて、「わからない」が 58.7%と最も高くなっています。

②自身の健康管理について

過去１年間に受けた検診（健診）について、「特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断」が 49.1%と最も高く、次いで「歯科検診」が 30.3%となっています。

検診（健診）を受けた機会について、「勤め先や学校、加入している健康保険などが実施している検診（健診）」が 54.3%と最も高く、次いで「関市が実施している検診（健診）」が 45.0%となっています。

検診（健診）を受けていない理由について、「その他」（23.8%）を除いて、「体調が悪くないため、受ける必要性を感じていない」が 22.6%と最も高く、次いで「受けるつもりがない」が 17.7%となっています。

③防災について

避難情報が発令された場合の避難場所について、「関市が開設する避難所」が 47.0%と最も高く、次いで「自宅（ハザードマップで危険がないことを確認しているため）」が 25.8%となっています。

家で準備している災害用備蓄品について、「懐中電灯」が 74.0%、「食料・飲料水」が 56.4%となっています。食料・飲料備蓄日数について、「3 日分」が 36.3%、「2 日分」が 16.0%となっています。

④生活環境について

環境に配慮した取組について、「マイバッグの持参」が 83.5%と最も高く、次いで「資源ごみの分別」が 82.6%となっています。

「カーボンニュートラル」の認知度について、「知らない」が 28.4%と最も高く、次いで「内容は知らないが、言葉だけは知っている」が 27.9%となっています。

地球温暖化対策を進めるために、重要であると思われるものについて、「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が 48.5%、「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が 46.0%となっています。

⑤公共交通（鉄道・バスなど）について

公共交通（鉄道・バスなど）の利用について、『利用している』（「週に 3 日以上利用している」「月に数日利用している」「年に数日利用している」を合わせた割合）が、22.8%、「利用していない」の割合が 74.4%となっています。

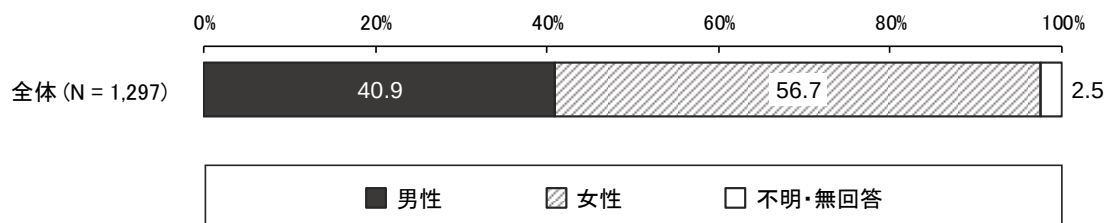
公共交通（鉄道・バスなど）をより利用しやすくするために、特に重要であると思われるものについて、「運行本数」が 49.4%と最も高く、次いで「自宅から駅やバス停までの距離」が 34.8%となっています。

3 アンケート調査 調査結果

(1) 回答者の属性について

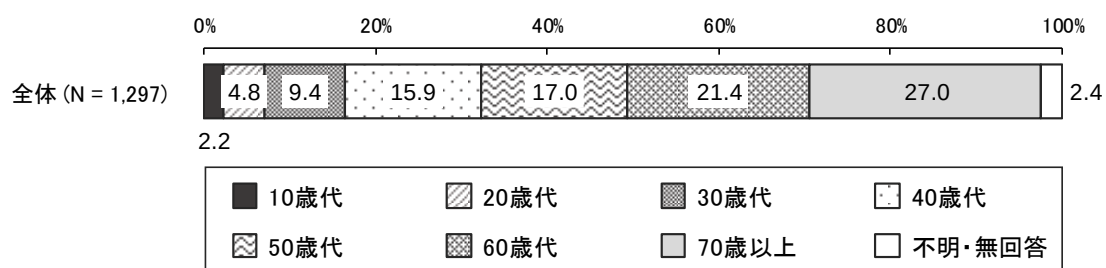
① あなたの性別はどちらですか。(単数回答、自認する性別をご記入ください。)

性別について、「男性」が40.9%、「女性」が56.7%となっています。



② あなたの年齢は次のどれですか。(単数回答)

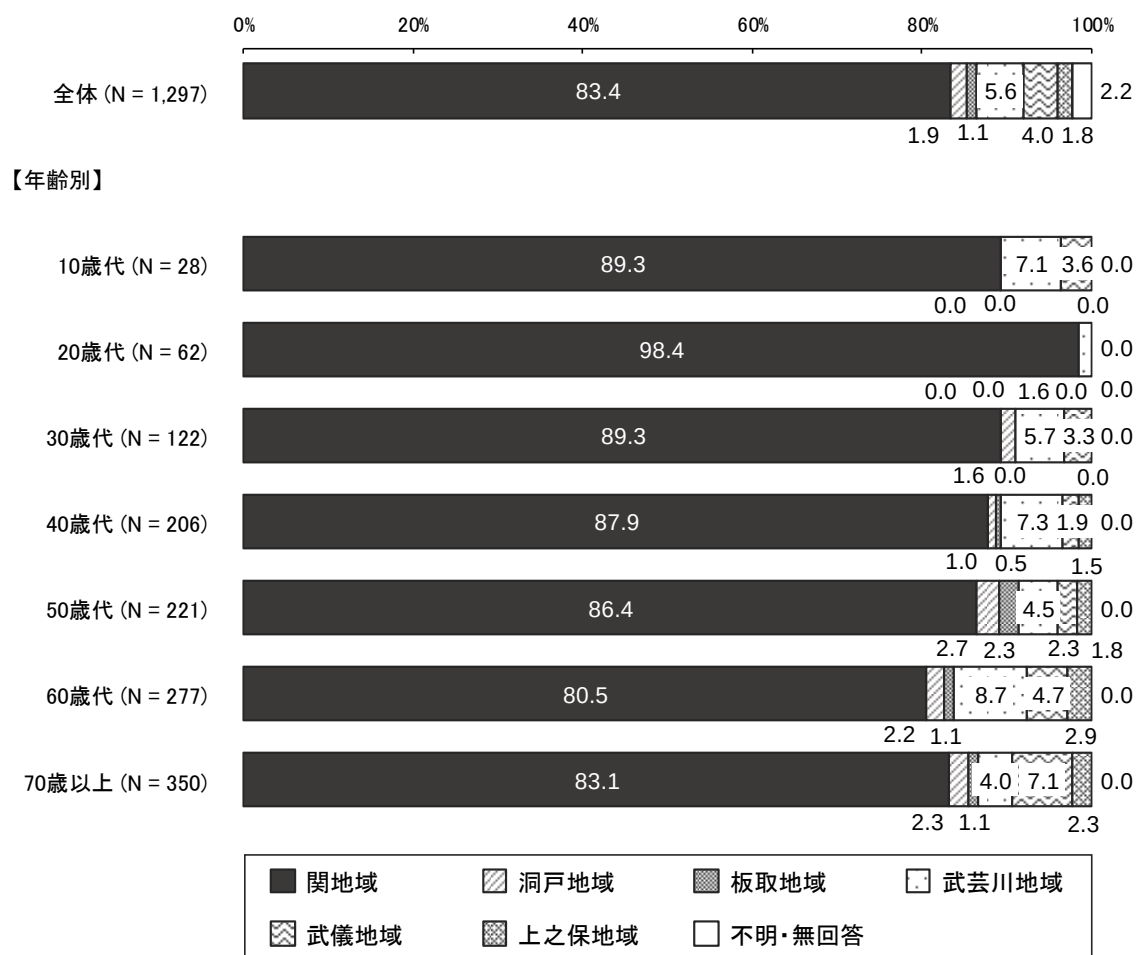
年齢について、「70歳以上」が27.0%と最も高く、次いで「60歳代」が21.4%となっています。



③あなたが住んでいる地域は次のどれですか。（単数回答）

居住地域について、全体では「関地域」が 83.4%と最も高く、次いで「武芸川地域」が 5.6%となっています。

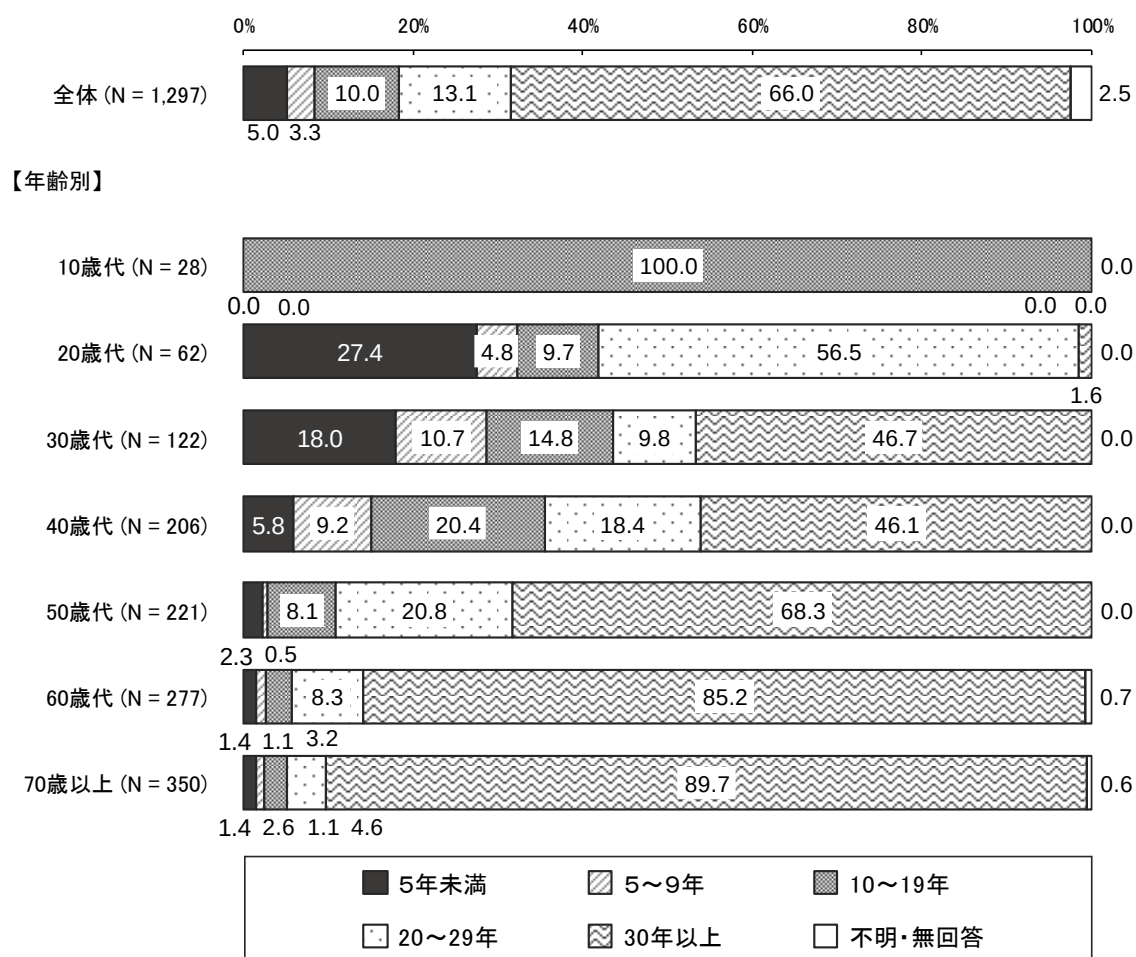
年齢別にみると、すべての年代において、「関地域」が最も高くなっています。



④ あなたは関市（旧武儀郡を含む）に住んで何年になりますか。（単数回答）

居住年数について、全体では「30年以上」が66.0%と最も高く、次いで「20～29年」が13.1%となっています。

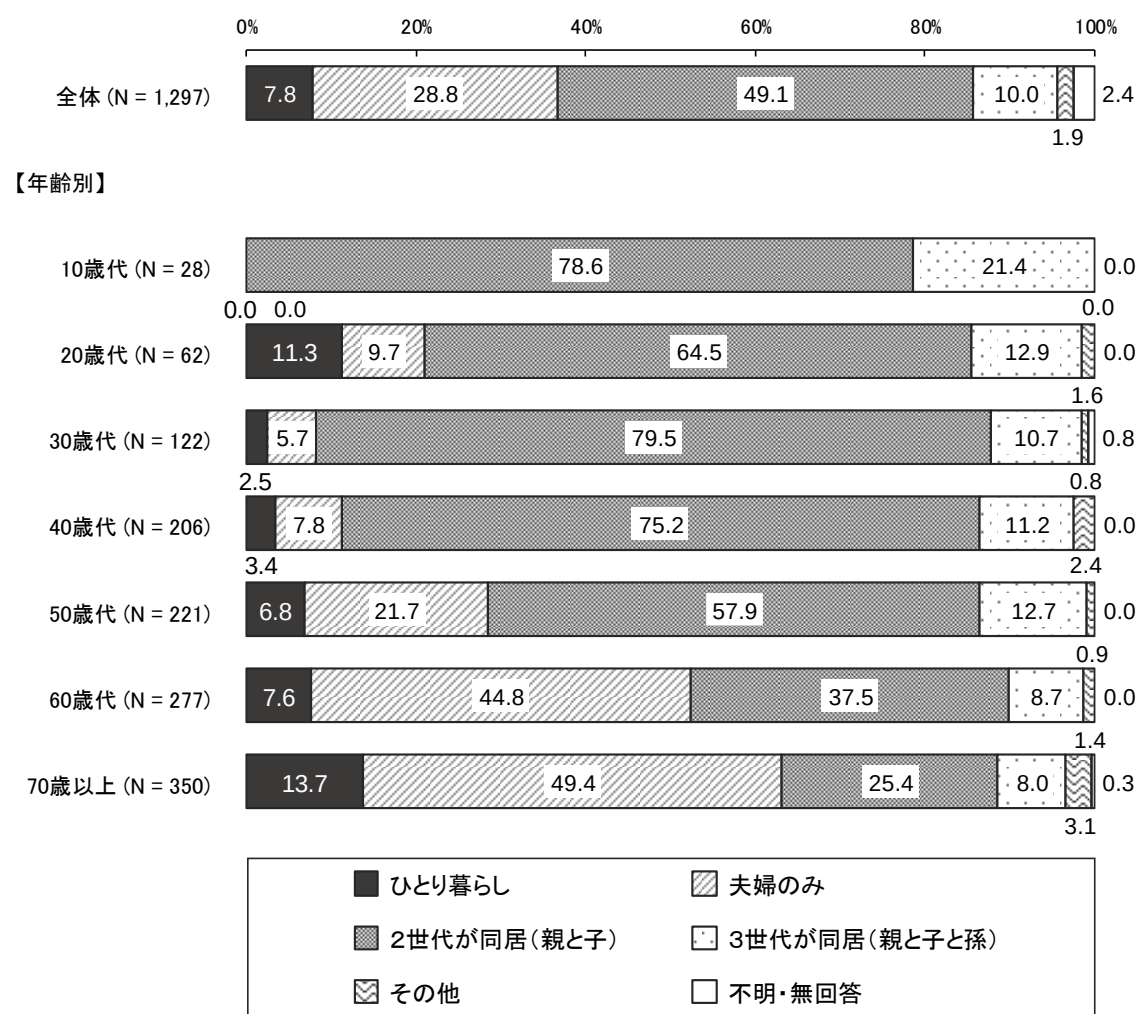
年齢別にみると、年代が上がるにしたがい、「30年以上」が高くなる傾向となっています。なお、20歳代と30歳代で「5年未満」が、他の年代に比べて高くなっています。



⑤ あなたの家族構成はどのようになっていますか。（単数回答）

家族構成について、全体では「2世代が同居（親と子）」が49.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が28.8%となっています。

年齢別にみると、50歳代以下の年代において「2世代が同居（親と子）」が、60歳代以上で「夫婦のみ」が、それぞれ最も高くなっています。

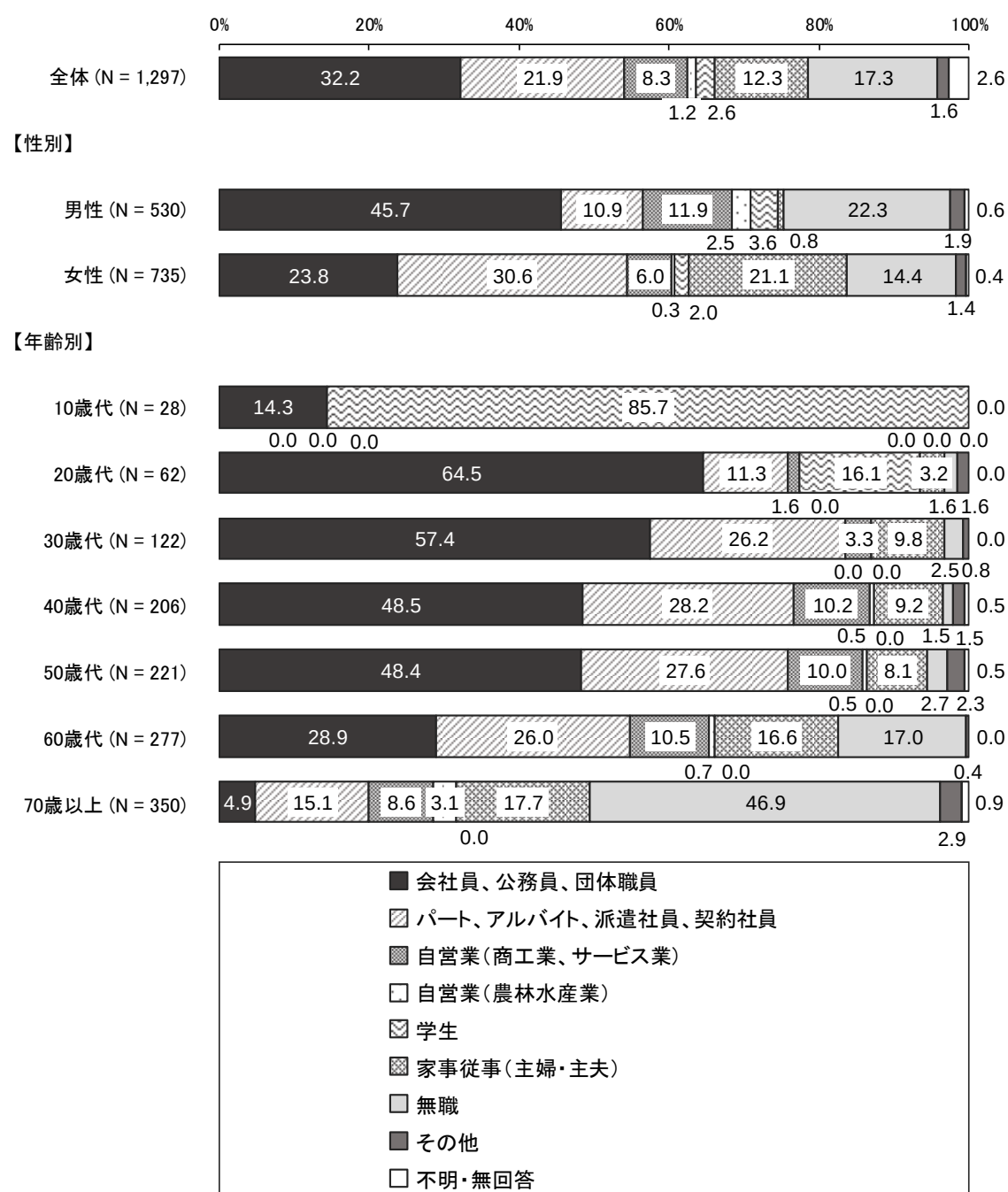


⑥ あなたの職業は、次のうちどれですか。（単数回答）

職業について、全体では「会社員、公務員、団体職員」が32.2%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が21.9%となっています。

男女別にみると、男性は「会社員、公務員、団体職員」が45.7%、女性は「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が30.6%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別にみると、10歳代は「学生」が、70歳以上は「無職」が、それ以外の年代は「会社員、公務員、団体職員」がそれぞれ最も高くなっています。



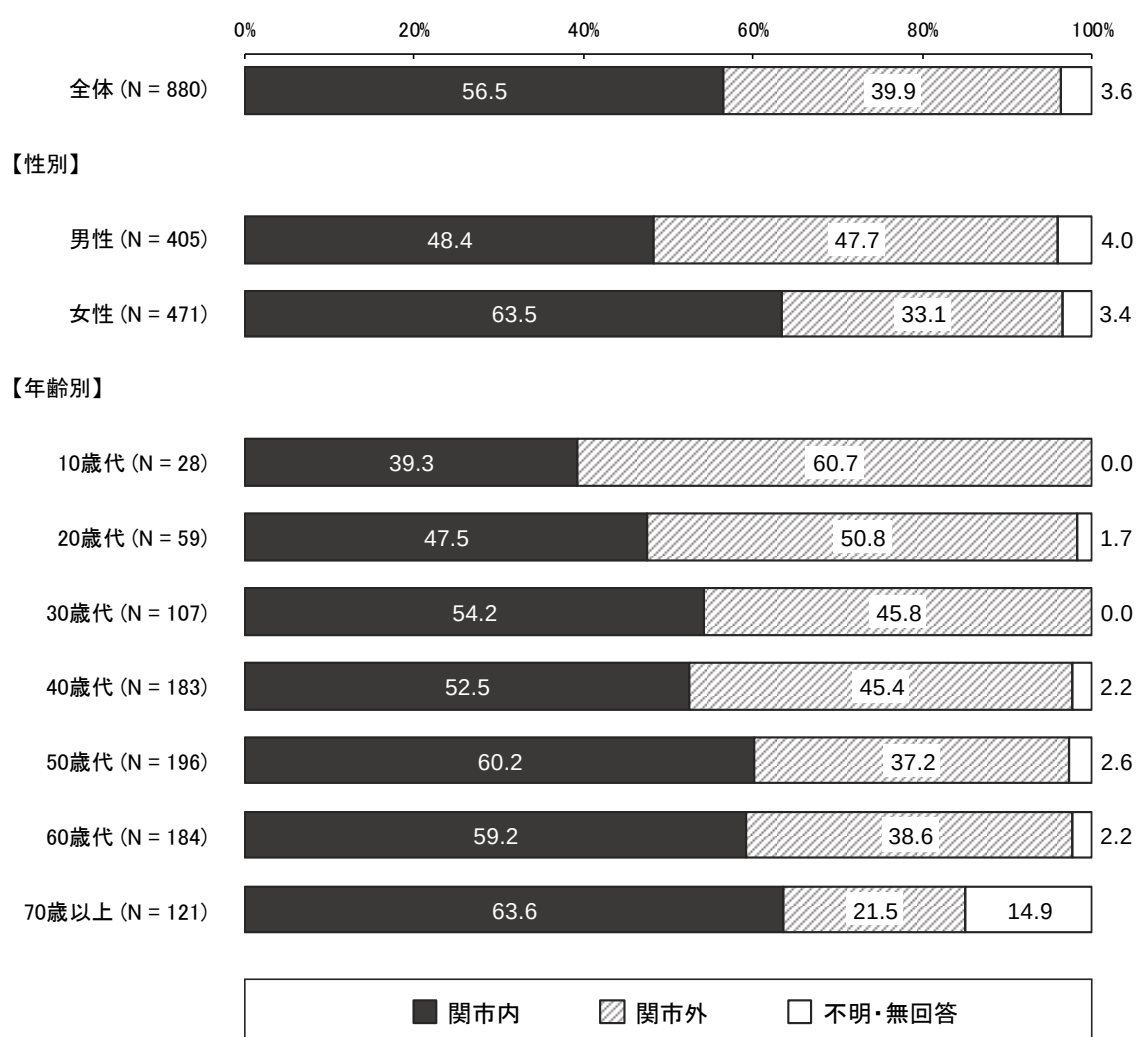
⑦ あなたの通勤（通学）場所はどこですか。（単数回答）

※⑥で「会社員、公務員、団体職員」「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」「自営業（商工業、サービス業）」「自営業（農林水産業）」「学生」「その他」のいずれかに○をつけた方への質問

通勤（通学）場所について、全体では「関市内」が 56.5%、「関市外」が 39.9%となっています。

男女別にみると、「関市内」が男性 48.4%、女性 63.5%と、男女ともに最も高く、女性は男性と比べて 15.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30 歳代以上で「関市内」が「関市外」を上回っています。



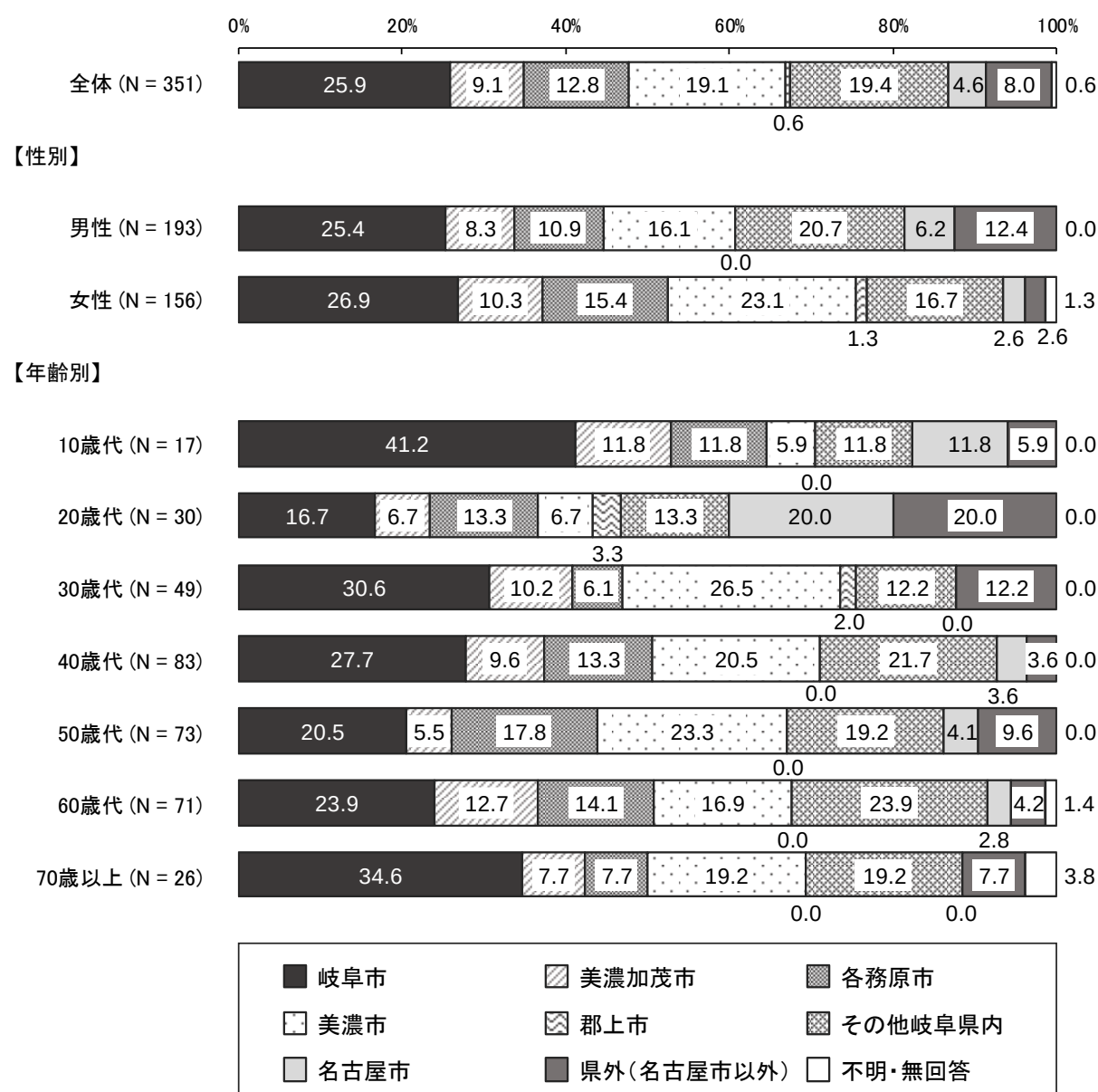
⑦-1 具体的な場所はどこですか。(単数回答)

※⑦で「関市外」に○をつけた方への質問

通勤（通学）場所の具体的な場所について、全体では「岐阜市」が25.9%と最も高く、次いで「その他岐阜県内」が19.4%となっています。

男女別にみると、「岐阜市」が男性25.4%、女性26.9%と、男女ともに最も高くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「名古屋市」と「県外（名古屋市以外）」、50歳代で「美濃市」、それ以外の年代で「岐阜市」が最も高くなっています。また、60歳代では「その他岐阜県内」においても同様に最も高くなっています。



(2) 関市への居住意向などについて

問1 あなたは関市が住みよいまちだと感じますか。(単数回答)

『住みよい』 77.8% > 『住みにくい』 10.8%

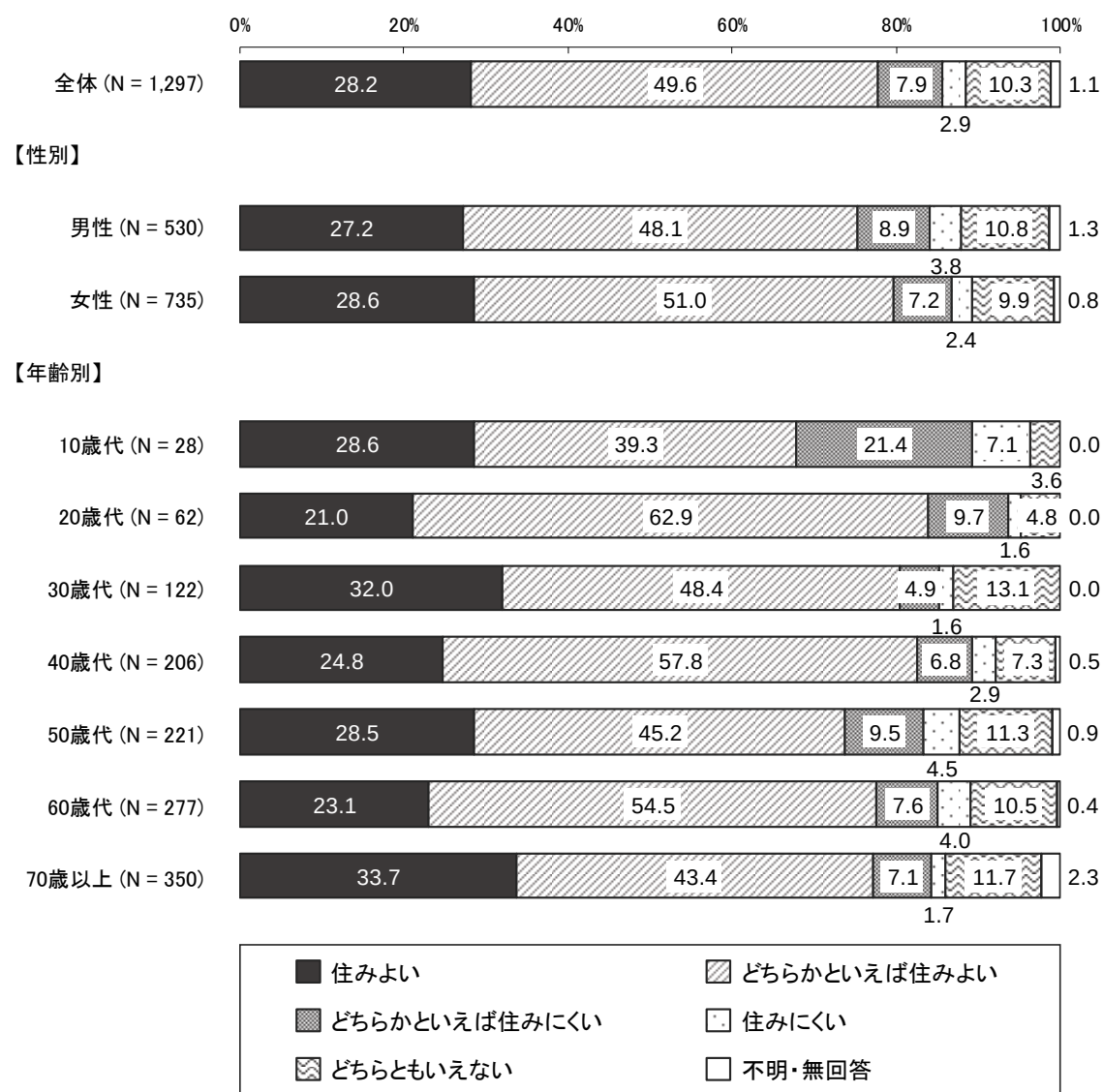
問1の選択肢にかかる表現は以下のように区分しており、このページ以降の文中においても反映されています。

- 『住みよい』…「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせたもの
- 『住みにくい』…「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせたもの

関市が住みよいまちと感じるかについて、全体では『住みよい』が77.8%、『住みにくい』が10.8%となっています。

男女別にみると、『住みよい』が男性75.3%、女性79.6%となっています。

年齢別にみると、20歳代で『住みよい』が83.9%と、他の年代に比べて高くなっています。また、20歳代、30歳代、40歳代で『住みよい』が8割を超えています。



問2 あなたは今後も関市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

『住み続けたい』82.7% > 『転居したい』6.6%

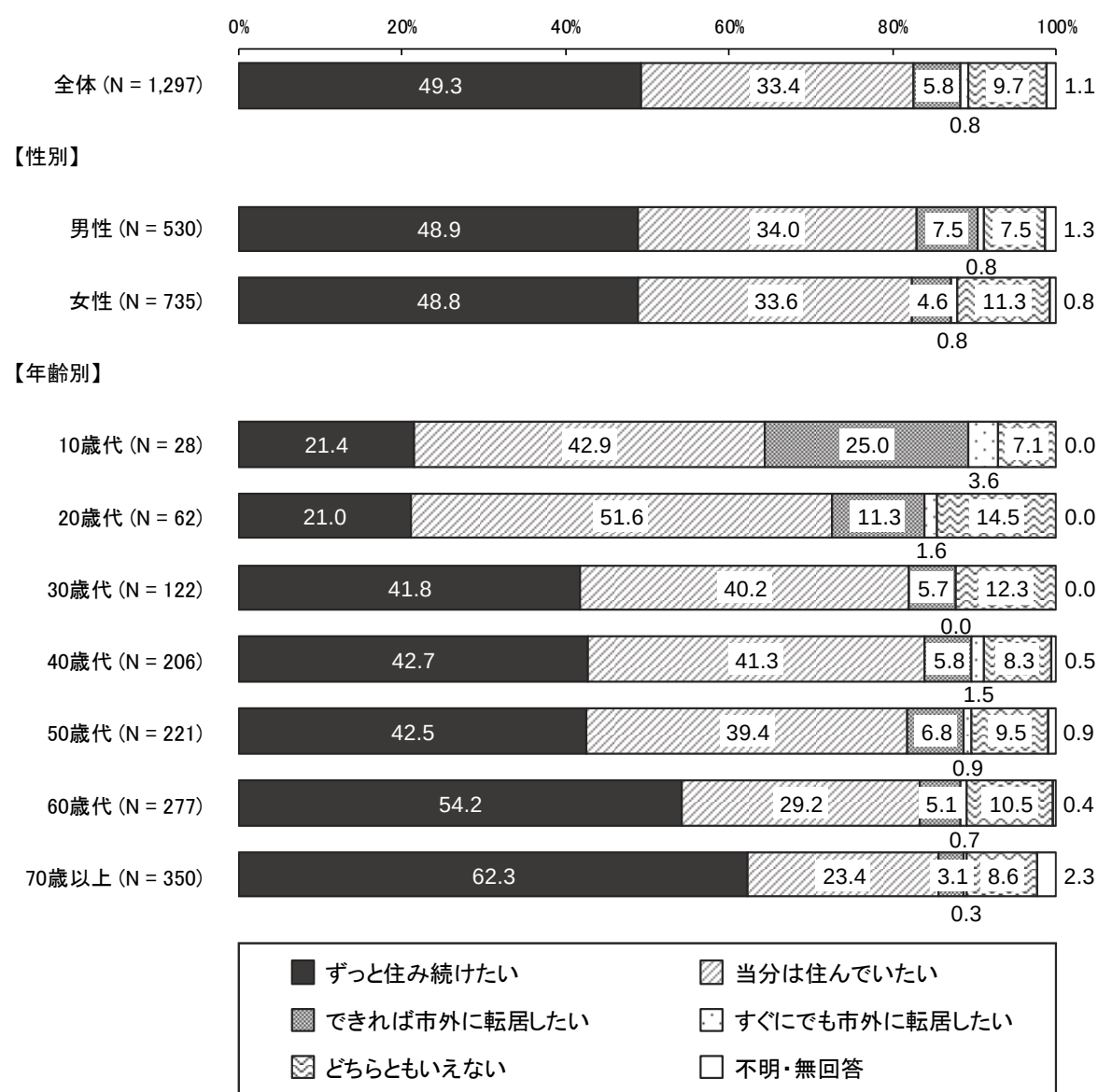
問2の選択肢にかかる表現は以下のように区分しており、このページ以降の文中においても反映されています。

- 『住み続けたい』…「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」を合わせたもの
- 『転居したい』…「できれば市外に転居したい」と「すぐにでも市外に転居したい」を合わせたもの

今後も関市に住み続けたいと思うかについて、全体では『住み続けたい』が82.7%、『転居したい』が6.6%となっています。

男女別にみると、『住み続けたい』が男性82.9%、女性82.4%、『転居したい』が男性8.3%、女性5.4%となっています。

年齢別にみると、30歳代～70歳以上で『住み続けたい』が8割を超えています。



問3 あなたは関市に誇りや愛着を感じていますか。(単数回答)

『感じている』66.0% > 『感じていない』22.9%

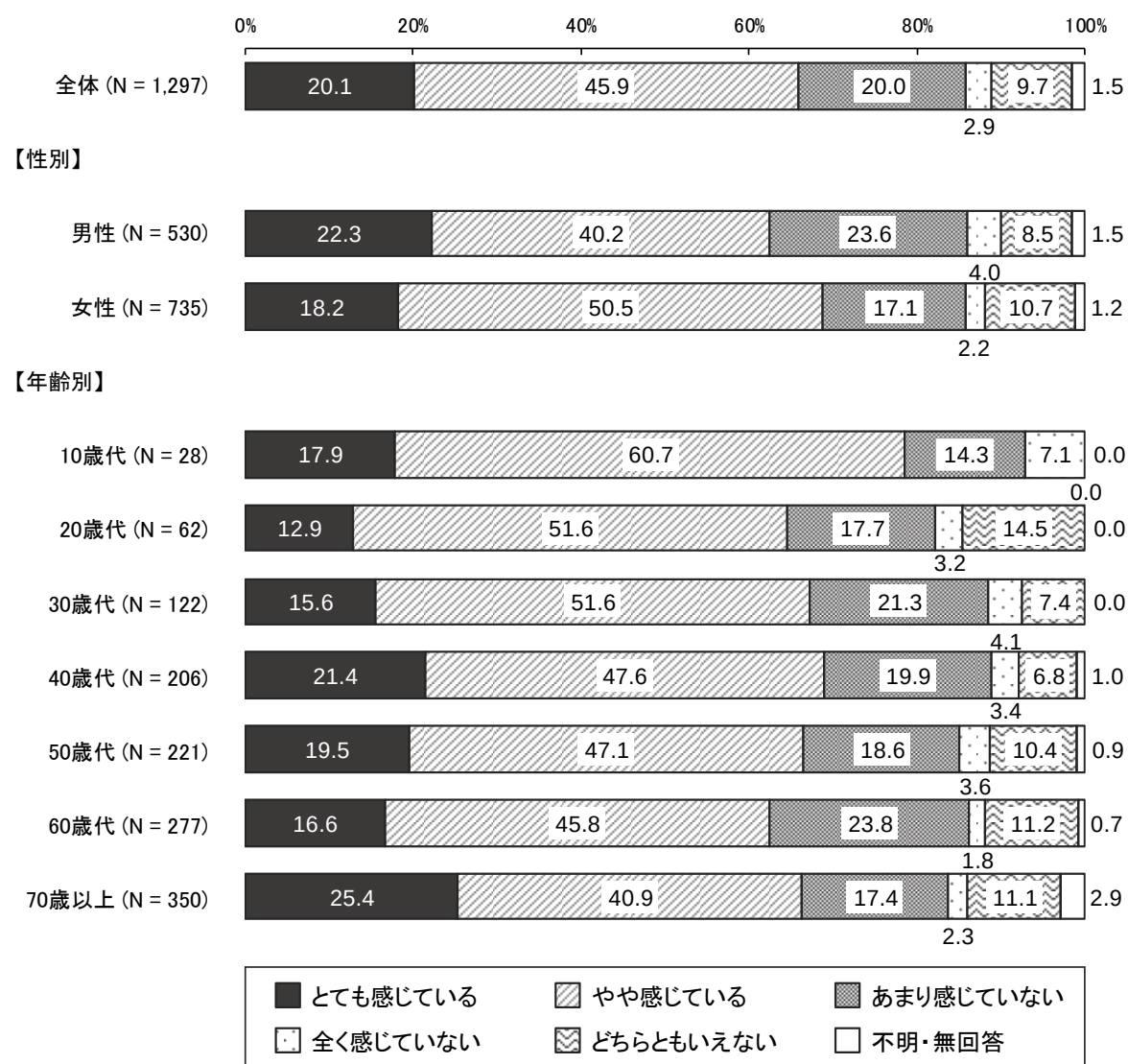
問3の選択肢にかかる表現は以下のように区分しており、このページ以降の文中においても反映されています。

- 『感じている』…「とても感じている」と「やや感じている」を合わせたもの
- 『感じていない』…「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせたもの

関市に誇りや愛着を感じているかについて、全体では『感じている』が66.0%、『感じていない』が22.9%となっています。

男女別にみると、『感じている』が男性62.5%、女性68.7%となっています。

年齢別にみると、10歳代で『感じている』が7割を超えています。

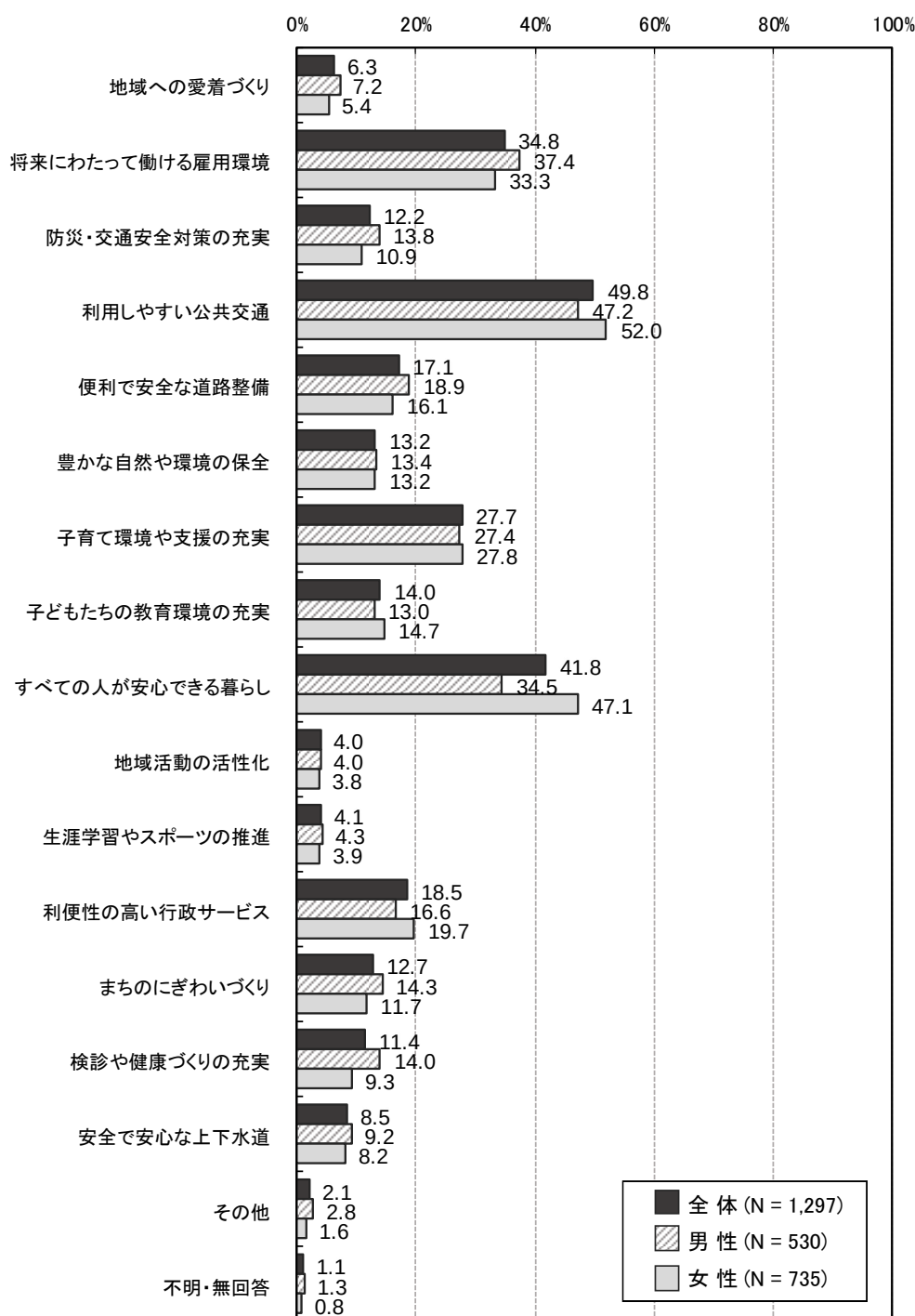


問4 関市のこれからのまちづくりを進めるために、特に重要であると思われるものは何ですか。（複数回答）

「利用しやすい公共交通」が高い

これからのまちづくりを進めるために、特に重要であると思われるものについて、全体では「利用しやすい公共交通」が49.8%と最も高く、次いで「すべての人が安心できる暮らし」が41.8%となっています。

男女別にみると、「利用しやすい公共交通」が男性47.2%、女性52.0%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、30歳代で「子育て環境や支援の充実」が58.2%と、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

	地域への愛着づくり	将来にわたって働ける雇用環境	防災・交通安全対策の充実	利用しやすい公共交通	便利で安全な道路整備	豊かな自然や環境の保全	子育て環境や支援の充実	子どもたちの教育環境の充実	すべての人が安心できる暮らし	地域活動の活性化	生涯学習やスポーツの推進
全 体 (N=1,297)	6.3	34.8	12.2	49.8	17.1	13.2	27.7	14.0	41.8	4.0	4.1
10歳代 (N=28)	10.7	46.4	10.7	50.0	21.4	10.7	21.4	21.4	28.6	10.7	10.7
20歳代 (N=62)	3.2	38.7	9.7	56.5	17.7	8.1	51.6	22.6	30.6	1.6	1.6
30歳代 (N=122)	3.3	35.2	10.7	33.6	17.2	6.6	58.2	32.0	36.1	3.3	2.5
40歳代 (N=206)	7.3	33.0	12.1	53.9	18.0	9.7	35.9	19.9	38.3	2.9	4.9
50歳代 (N=221)	6.8	39.8	11.3	55.7	17.2	10.9	17.6	10.4	41.2	3.2	5.0
60歳代 (N=277)	5.1	33.2	12.3	49.1	17.3	17.0	26.4	8.7	44.8	4.7	2.2
70歳以上 (N=350)	7.1	33.1	13.4	49.1	16.3	17.7	16.3	8.9	46.6	4.3	5.1

	利便性の高い行政サービス	まちのにぎわいづくり	検診や健康づくりの充実	安全で安心な上下水道	その他	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	18.5	12.7	11.4	8.5	2.1	1.1
10歳代 (N=28)	7.1	25.0	0.0	7.1	0.0	0.0
20歳代 (N=62)	19.4	11.3	12.9	3.2	0.0	0.0
30歳代 (N=122)	14.8	10.7	7.4	9.8	2.5	0.0
40歳代 (N=206)	16.5	13.6	6.3	7.8	1.5	0.5
50歳代 (N=221)	20.8	16.3	11.3	5.4	5.0	0.9
60歳代 (N=277)	20.6	14.8	12.6	10.1	2.2	0.4
70歳以上 (N=350)	18.6	8.9	14.6	10.6	1.1	2.3

単位：％

(3) 家庭での暮らしについて

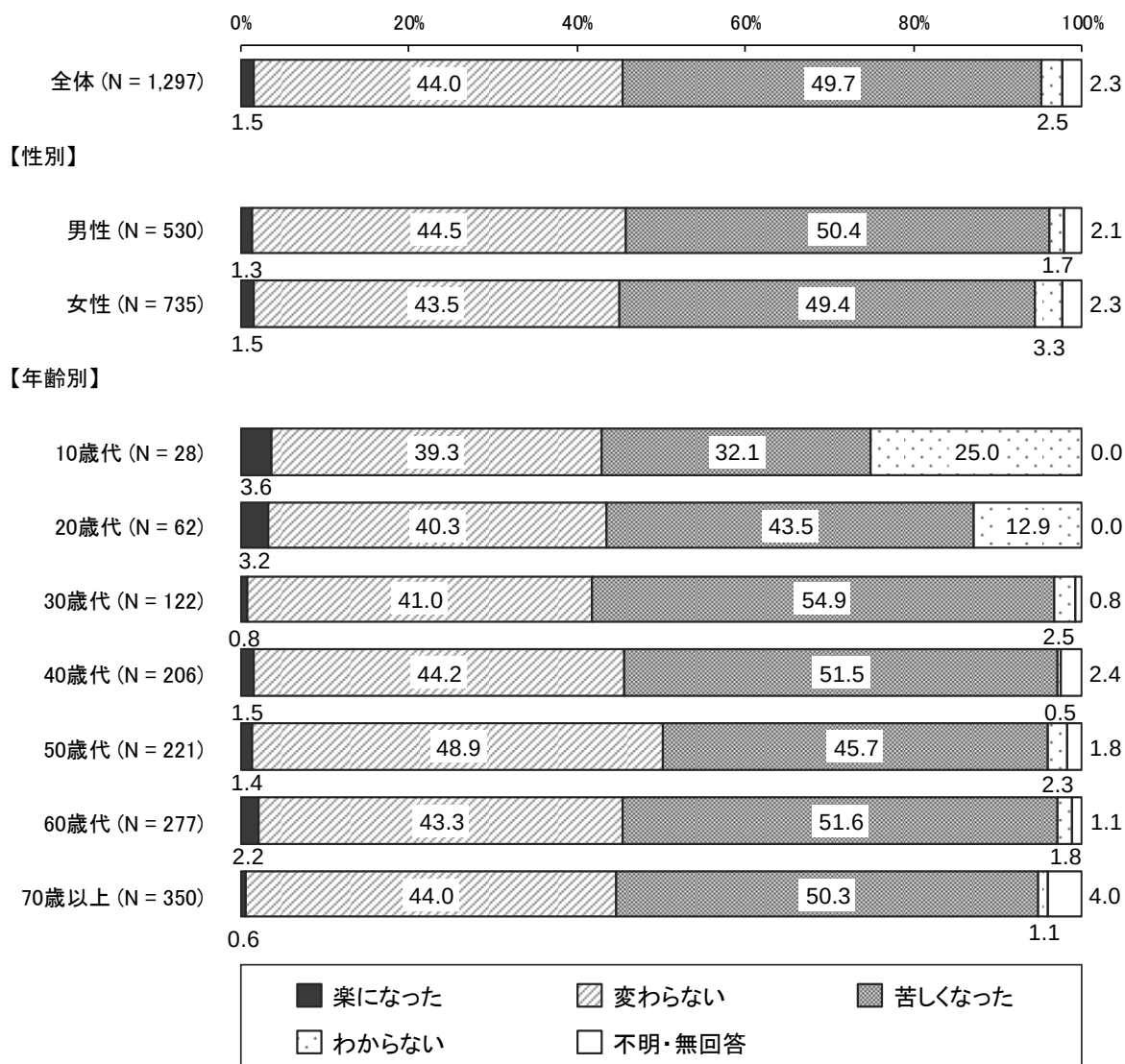
問5 あなたやあなたの家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（単数回答）

「苦しくなった」が高い

家庭の暮らし向き（家計など）について、全体では「苦しくなった」が49.7%と最も高く、次いで「変わらない」が44.0%となっています。

男女別にみると、「苦しくなった」が男性50.4%、女性49.4%となっています。

年齢別にみると、30歳代、40歳代、60歳代以上で「苦しくなった」が5割を超えています。



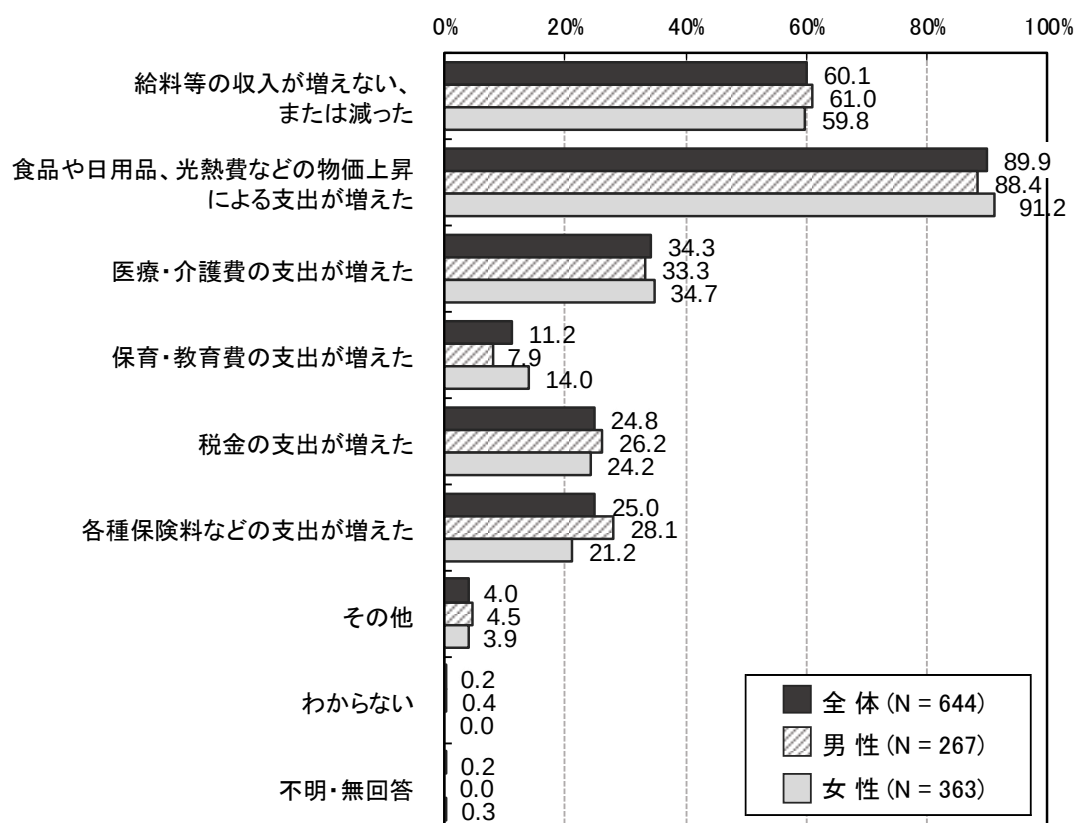
問6 あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、次の中のどのような理由からですか。
(複数回答)

※問5で「苦しくなった」に○をつけた方への質問

「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が高い

暮らしが苦しくなったと感じる理由について、全体では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が89.9%と最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」が60.1%となっています。

男女別にみると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が男性88.4%、女性91.2%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、20歳代で「給料等の収入が増えない、または減った」、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

	給料等の収入が増えない、または減った	食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた	医療・介護費の支出が増えた	保育・教育費の支出が増えた	税金の支出が増えた	各種保険料などの支出が増えた	その他	わからない	不明・無回答
全 体 (N=644)	60.1	89.9	34.3	11.2	24.8	25.0	4.0	0.2	0.2
10歳代 (N=9)	44.4	77.8	11.1	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0
20歳代 (N=27)	74.1	100.0	7.4	7.4	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0
30歳代 (N=67)	70.1	98.5	11.9	35.8	23.9	13.4	4.5	0.0	0.0
40歳代 (N=106)	71.7	92.5	18.9	27.4	24.5	17.9	2.8	0.0	0.0
50歳代 (N=101)	71.3	94.1	29.7	10.9	25.7	18.8	4.0	0.0	1.0
60歳代 (N=143)	63.6	82.5	46.9	1.4	27.3	23.1	6.3	0.0	0.0
70歳以上 (N=176)	39.2	88.1	48.9	1.1	23.9	34.7	4.0	0.0	0.0

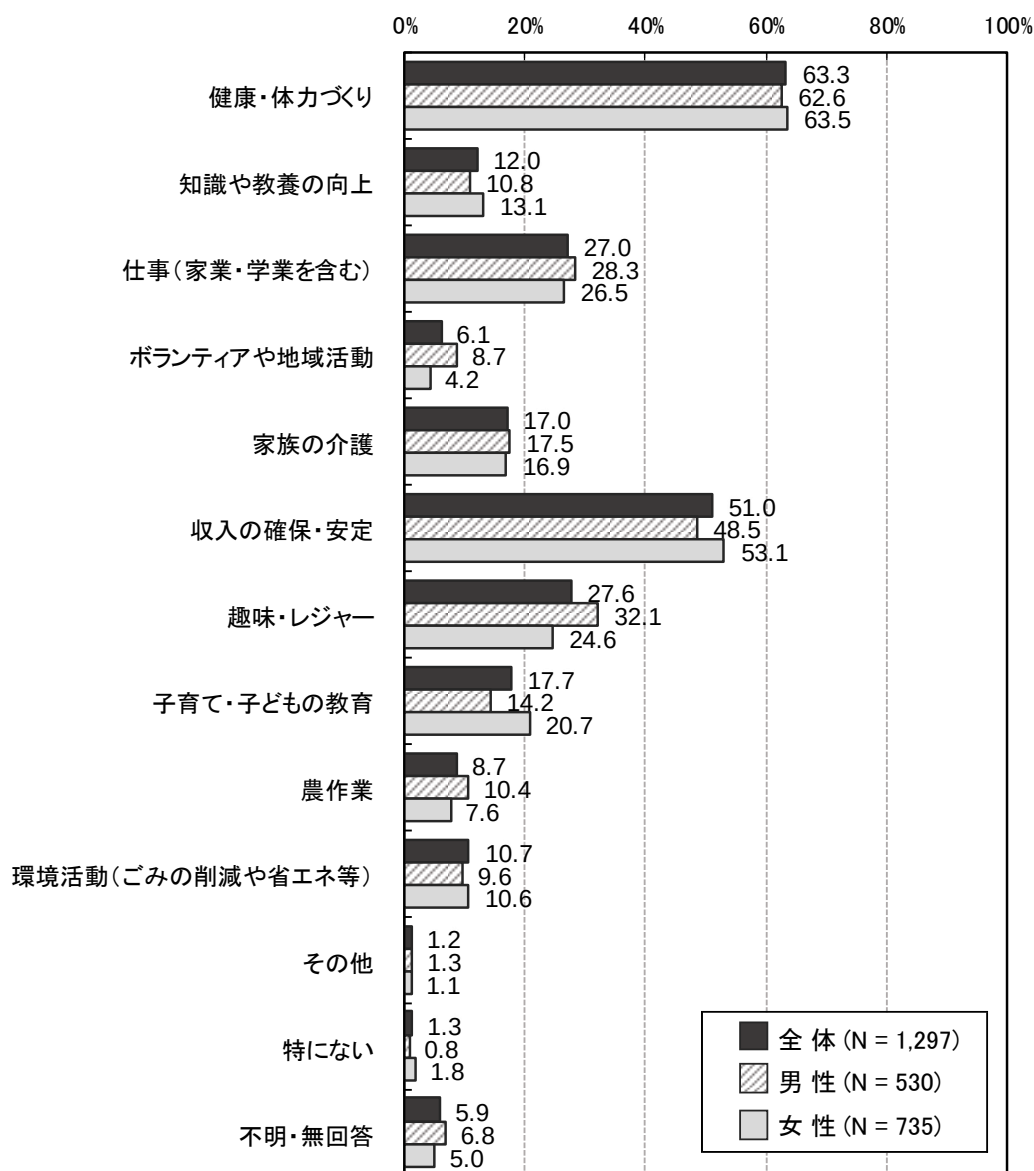
単位：％

問7 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。(複数回答)

「健康・体力づくり」が高い

今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことについて、全体では「健康・体力づくり」が63.3%と最も高く、次いで「収入の確保・安定」が51.0%となっています。

男女別にみると、「健康・体力づくり」が男性62.6%、女性63.5%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、10歳代で「仕事（家業・学業を含む）」が、20歳代、40歳代で「収入の確保・安定」が、30歳代で「子育て・子どもの教育」が、50歳代以上で「健康・体力づくり」が、それぞれ最も高くなっています。

【年齢別】

	健康・体力づくり	知識や教養の向上	仕事（家業・学業を含む）	ボランティアや地域活動	家族の介護	収入の確保・安定	趣味・レジャー	子育て・子どもの教育	農作業	環境活動（ごみの削減や省エネ等）	その他
全 体（N=1,297）	63.3	12.0	27.0	6.1	17.0	51.0	27.6	17.7	8.7	10.7	1.2
10歳代（N=28）	32.1	39.3	57.1	7.1	7.1	32.1	53.6	14.3	3.6	0.0	3.6
20歳代（N=62）	45.2	14.5	45.2	1.6	4.8	69.4	45.2	32.3	1.6	1.6	0.0
30歳代（N=122）	39.3	11.5	40.2	0.8	5.7	63.1	27.9	72.1	3.3	4.1	0.0
40歳代（N=206）	52.4	10.2	44.7	2.4	13.1	61.7	30.1	34.0	2.9	2.4	1.0
50歳代（N=221）	69.2	13.1	33.5	5.0	15.8	60.2	27.1	9.5	7.2	11.8	1.4
60歳代（N=277）	72.9	10.8	18.4	8.3	18.8	48.4	30.3	5.1	9.4	13.4	1.4
70歳以上（N=350）	72.3	11.1	10.6	9.7	26.0	35.7	19.7	3.1	16.3	16.3	1.4

	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全 体（N=1,297）	1.3	5.9
10歳代（N=28）	7.1	0.0
20歳代（N=62）	0.0	3.2
30歳代（N=122）	0.0	1.6
40歳代（N=206）	1.5	4.4
50歳代（N=221）	1.8	4.1
60歳代（N=277）	0.7	7.2
70歳以上（N=350）	1.7	8.3

単位：％

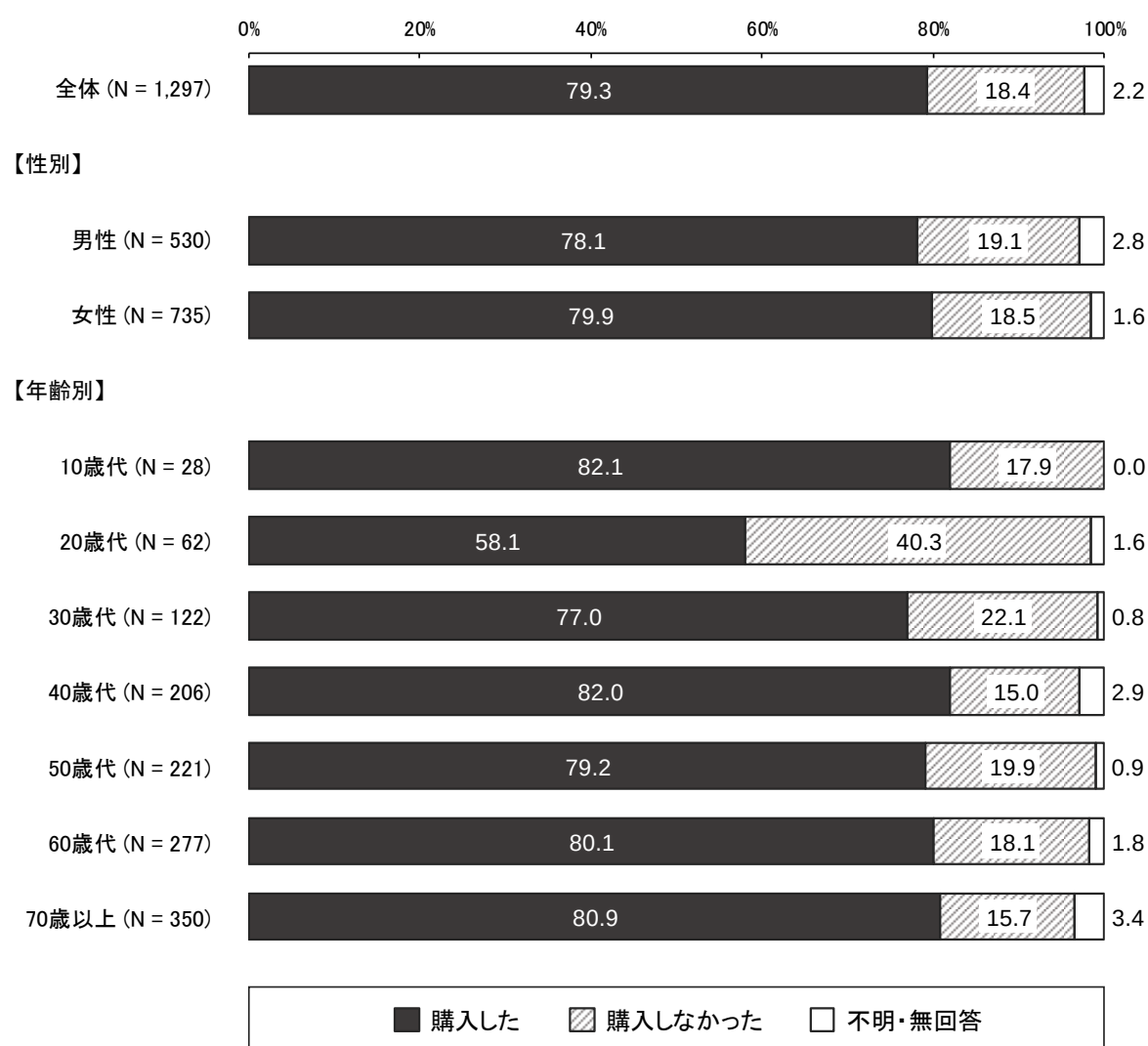
問8 あなたは今年6月～7月に販売した暮らし応援プレミアム付商品券（せきチケ）を購入されましたか。（単数回答）

「購入した」79.3% > 「購入しなかった」18.4%

暮らし応援プレミアム付商品券（せきチケ）の購入について、全体では「購入した」が79.3%、「購入しなかった」が18.4%となっています。

男女別にみると、「購入した」が男性78.1%、女性79.9%となっています。

年齢別にみると、10歳代、40歳代、60歳代以上で「購入した」が8割を超えて、高くなっています。



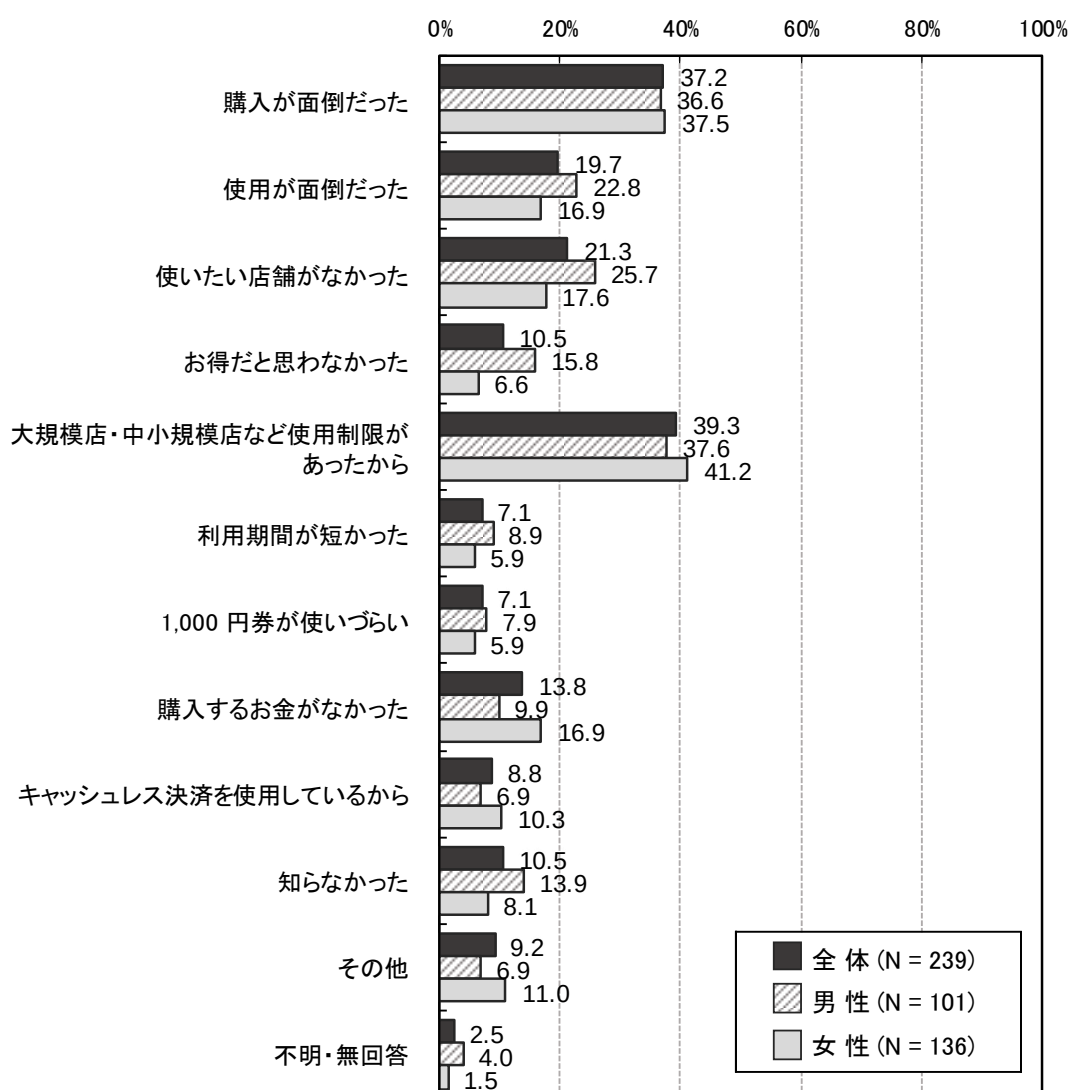
問9 購入しなかった理由は何ですか。(複数回答)

※問8で「購入しなかった」に○をつけた方への質問

「大規模店・中小規模店など使用制限があったから」が高い

購入しなかった理由について、全体では「大規模店・中小規模店など使用制限があったから」が39.3%と最も高く、次いで「購入が面倒だった」が37.2%となっています。

男女別にみると、「大規模店・中小規模店など使用制限があったから」が男性37.6%、女性41.2%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、60歳代で「使用が面倒だった」が30.0%と、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

	購入が面倒だった	使用が面倒だった	使いたい店舗がなかった	お得だと思わなかった	大規模店・中小規模店など使用制限があったから	利用期間が短かった	1,000円券が使いづらい	購入するお金がなかった	キャッシュレスから決済をする	知らなかった	その他
全 体 (N=239)	37.2	19.7	21.3	10.5	39.3	7.1	7.1	13.8	8.8	10.5	9.2
10歳代 (N=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
20歳代 (N=25)	48.0	8.0	4.0	4.0	28.0	0.0	4.0	4.0	12.0	20.0	12.0
30歳代 (N=27)	44.4	14.8	14.8	14.8	40.7	0.0	3.7	11.1	14.8	3.7	11.1
40歳代 (N=31)	32.3	25.8	32.3	22.6	41.9	16.1	3.2	9.7	3.2	6.5	12.9
50歳代 (N=44)	34.1	9.1	22.7	11.4	38.6	6.8	9.1	11.4	6.8	13.6	15.9
60歳代 (N=50)	42.0	30.0	24.0	8.0	34.0	12.0	8.0	16.0	12.0	10.0	4.0
70歳以上 (N=55)	30.9	21.8	20.0	5.5	49.1	5.5	9.1	21.8	7.3	7.3	5.5

	不明・無回答
全 体 (N=239)	2.5
10歳代 (N=5)	0.0
20歳代 (N=25)	0.0
30歳代 (N=27)	0.0
40歳代 (N=31)	3.2
50歳代 (N=44)	2.3
60歳代 (N=50)	2.0
70歳以上 (N=55)	5.5

単位：％

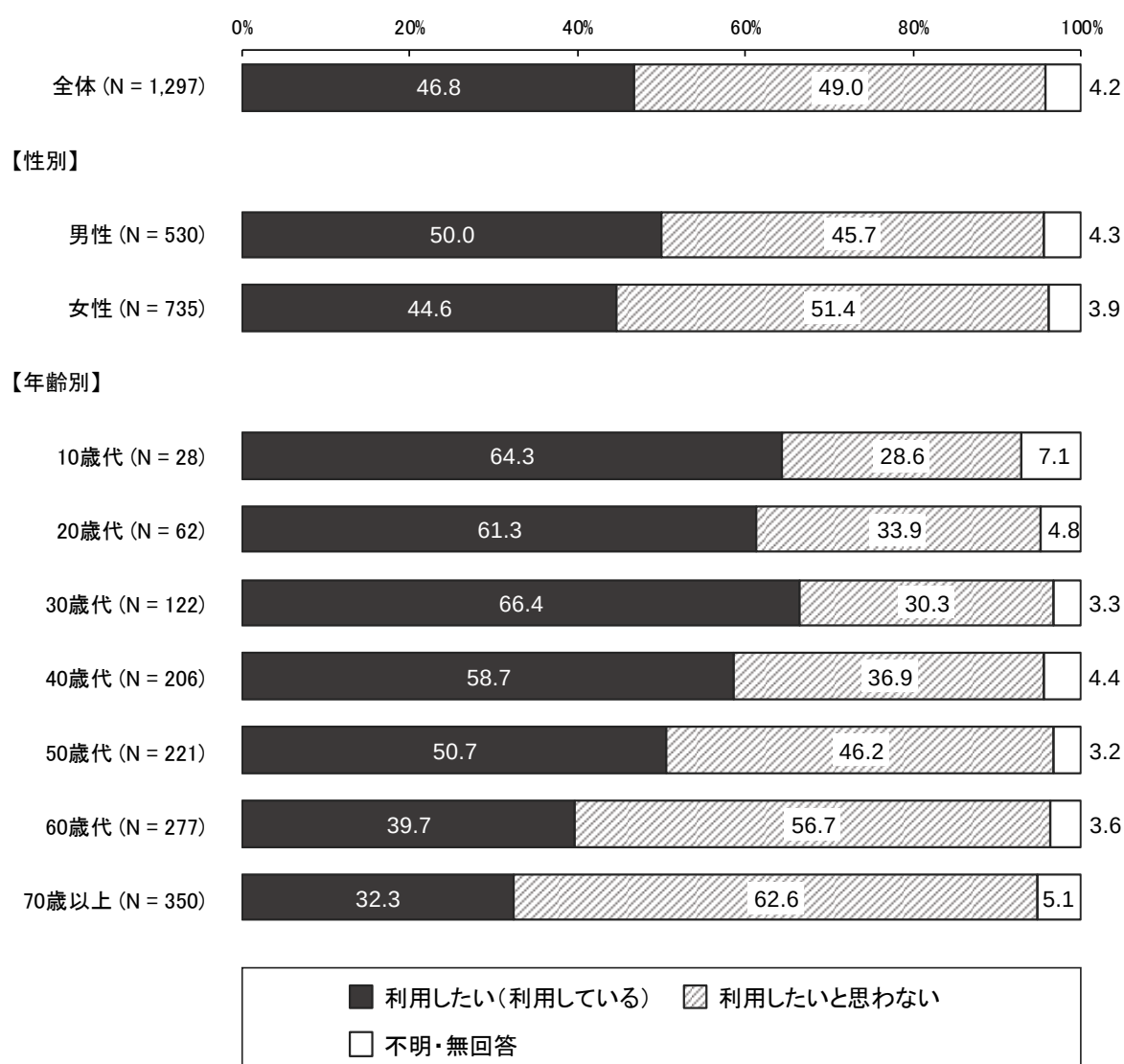
問 10 あなたは関市プレミアム付電子商品券（せき pay）を今後利用したいと思いますか。
（単数回答）

「利用したいと思わない」 49.0% > 「利用したい（利用している）」 46.8%

関市プレミアム付電子商品券（せき pay）を今後利用したいと思うかについて、全体では「利用したい（利用している）」が 46.8%、「利用したいと思わない」が 49.0%となっています。

男女別にみると、「利用したい（利用している）」が男性 50.0%、女性 44.6%となっています。

年齢別にみると、30 歳代以下で「利用したい（利用している）」が 6 割を超えており、70 歳以上では 32.3%と、他の年代に比べて最も低くなっています。



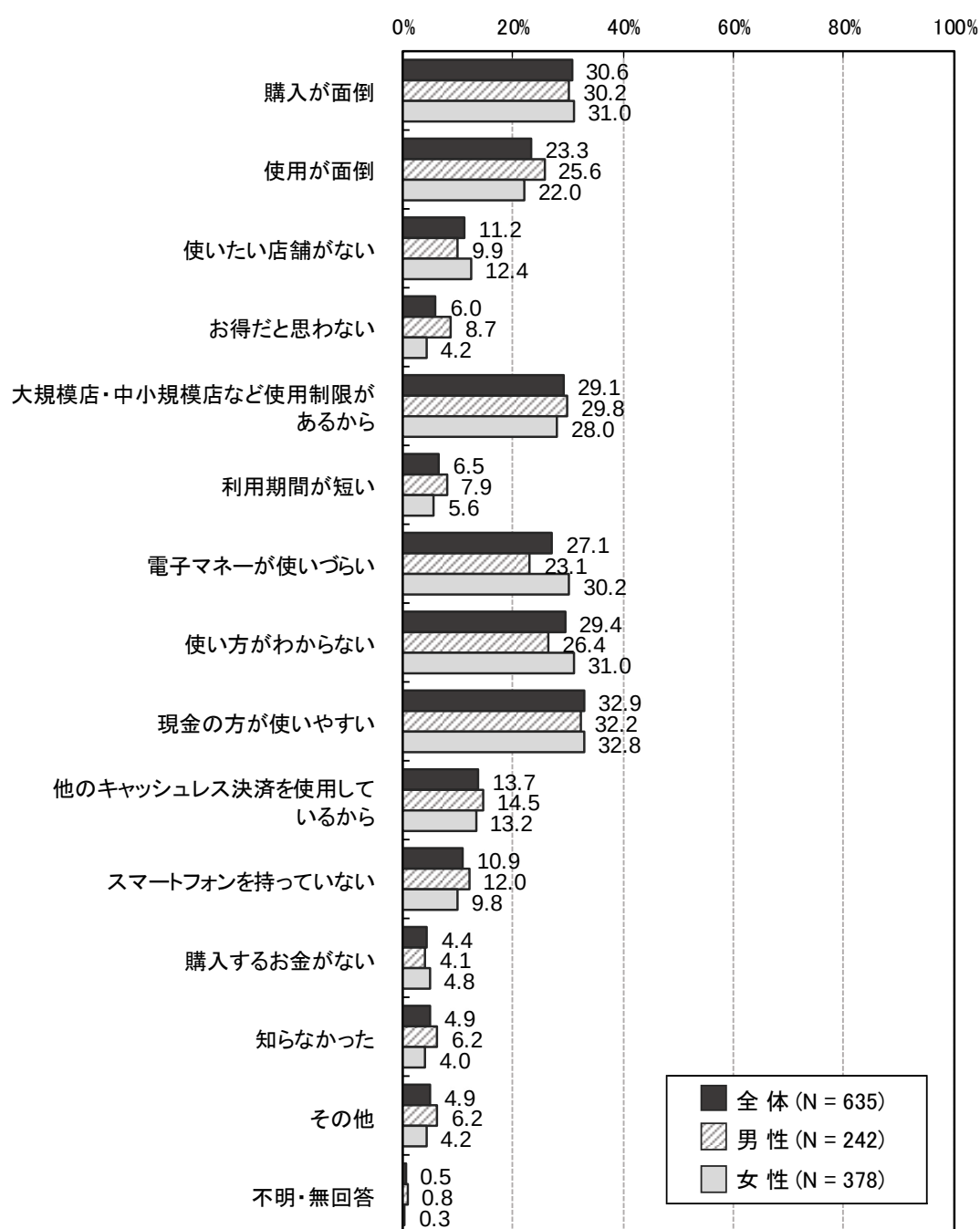
問 11 利用したいと思わない理由は何ですか。（複数回答）

※問 10 で「利用したいと思わない」に○をつけた方への質問

「現金の方が使いやすい」が高い

利用したいと思わない理由について、全体では「現金の方が使いやすい」が 32.9%と最も高く、次いで「購入が面倒」が 30.6%となっています。

男女別にみると、「現金の方が使いやすい」が男性 32.2%、女性 32.8%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、50 歳代以下で「大規模店・中小規模店など使用制限があるから」が、60 歳代で「現金の方が使いやすい」、70 歳以上で「使い方がわからない」が、それぞれ最も高くなっています。また、30 歳代では「購入が面倒」も 37.8%と、最も高くなっています。

【年齢別】

	購入が面倒	使用が面倒	使いたい店舗がない	お得だと思わない	ど大規模店・中小規模店など使用制限があるから	利用期間が短い	電子マネーが使いづらい	使い方がわからない	現金の方が使いやすい	他のキャッシュレス決済を使用しているから	スマートフォンを持っていない
全 体 (N=635)	30.6	23.3	11.2	6.0	29.1	6.5	27.1	29.4	32.9	13.7	10.9
10歳代 (N=8)	12.5	0.0	25.0	0.0	62.5	25.0	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0
20歳代 (N=21)	23.8	23.8	14.3	0.0	38.1	4.8	19.0	9.5	28.6	33.3	0.0
30歳代 (N=37)	37.8	29.7	5.4	10.8	37.8	2.7	21.6	27.0	18.9	18.9	2.7
40歳代 (N=76)	30.3	27.6	17.1	7.9	38.2	5.3	21.1	25.0	28.9	22.4	0.0
50歳代 (N=102)	24.5	15.7	17.6	4.9	30.4	8.8	26.5	21.6	22.5	19.6	5.9
60歳代 (N=157)	26.8	29.9	12.1	7.6	29.9	8.9	24.8	24.8	35.0	12.7	7.0
70歳以上 (N=219)	36.1	20.1	6.4	5.0	20.1	4.1	34.2	40.2	38.4	6.8	21.9

	購入するお金がない	知らなかった	その他	不明・無回答
全 体 (N=635)	4.4	4.9	4.9	0.5
10歳代 (N=8)	12.5	0.0	12.5	0.0
20歳代 (N=21)	4.8	4.8	0.0	0.0
30歳代 (N=37)	8.1	13.5	8.1	0.0
40歳代 (N=76)	6.6	5.3	7.9	0.0
50歳代 (N=102)	5.9	2.9	8.8	0.0
60歳代 (N=157)	3.2	2.5	4.5	1.9
70歳以上 (N=219)	3.2	5.9	2.3	0.0

単位：％

(4) 市の主な施策の「満足度」について

問 12 市が行っている次の各施策の「満足度」と、今後市が「重点的に進めるべきか」について意見をお聞きます。

●満足度は、該当する数字を1つずつ○印で囲んでください。(単数回答)

●また、今後、市が重点的に進めるべきだと思う施策に○をつけてください。(複数回答)

項目	内容
(1) 地域福祉・福祉医療	福祉関係団体や福祉ボランティア活動の支援、地域における支え合いの促進、障がい者や子ども(中学生まで)、ひとり親家庭の医療費の無償化
(2) 低所得者支援	生活困窮者に対する相談、生活困窮者の就労支援
(3) 障がい者福祉	障がい者の相談支援、障がい福祉サービス、障がい者の就労支援
(4) 高齢者福祉	介護サービス(デイサービス、ホームヘルプなど)、高齢者の健康増進、高齢者の社会参加
(5) 子育て支援	保育園における保育サービス、幼稚園における幼児教育、子育てに関する相談、一時預かりや延長保育、子育てサロンなどの親と子の交流の場
(6) 健康づくり	健康相談、成人・乳幼児の健康診断、がん検診、予防接種
(7) 地域医療	洞戸・板取・津保川診療所、救命救急センターの運営支援、医師・看護師の確保対策、休日診療の運営支援
(8) 教育環境整備	小学校・中学校の施設整備
(9) 小中学校教育	小学校・中学校における学校教育
(10) 関商工高等学校	関商工における高等学校教育、関商工における産業教育、関商工の施設整備
(11) 市民協働	市民活動の支援、地域委員会の活動支援、自治会活動や地域コミュニティ活動の支援
(12) 若者活躍	高校生や大学生のまちづくり活動支援、若者のチャレンジ支援
(13) 過疎対策・地域振興	地域資源の利活用、地域の担い手の育成、集落の維持
(14) 多様性社会(ダイバーシティ)	男女共同参画の周知、女性の活躍支援、LGBT理解の周知啓発、国際理解
(15) 人権	人権教育、人権啓発、人権相談
(16) 生涯学習	生涯学習講座の開催、青少年の健全育成、図書館・公民館の運営
(17) スポーツ	「1市民1スポーツ」の奨励、体育施設(アテナ工業アリーナ、中池公園スポーツ施設など)の整備、スポーツ団体の育成
(18) 文化・芸術・歴史	文化・芸術活動の支援、文化会館の運営、文化財の保護・活用
(19) 工業	産業の振興、中小企業・事業者への支援、企業の誘致、企業の競争力強化支援
(20) 商業	商業の振興、消費生活相談、地域内での消費喚起、公設市場の運営(食材流通)

項目	内容
(21) 経済・雇用	起業・創業の支援、雇用の場の確保、就業・就労に関する相談
(22) 観光	観光情報の発信、日本刀鍛錬・小瀬鵜飼・円空などの地域資源の観光活用、観光客の誘致
(23) 農業	関市産の農産物の振興、荒廃農地の防止・活用、農産品のブランド化、農業の担い手育成
(24) 林業	森林の保全、関市産木材の活用・P R、有害鳥獣の駆除
(25) 防災・減災・消防	防災意識の啓発、地域における防災活動（自主防災会、消防団など）、消防や救急の体制維持
(26) 交通安全・防犯対策	交通安全教育・交通安全意識の啓発、地域の防犯活動
(27) 循環型社会	ごみの再資源化・減量化、食品ロス対策、ごみの不適切処理の防止
(28) 環境保全	自然環境の保全、公害防止対策
(29) 医療保険	医療保険制度の運営（国民健康保険、後期高齢者医療保険）
(30) 都市計画・土地利用	土地開発の指導、土地利用等の規制、魅力ある市街地形成
(31) 住環境	住宅の耐震化の支援、土地区画整理、空き家対策
(32) 公共交通	市内バスの運行、市内と市外を結ぶバス路線（高速バス含む）、長良川鉄道の運行支援
(33) 景観・公園	景観の保全、公園の整備
(34) 道路・橋りょう	道路の舗装修繕や拡幅、新しい道路の開設、老朽化した橋の耐震補強や補修
(35) 治山・治水	急傾斜地の崩壊対策、河川の護岸整備・浚せつ・浸水対策
(36) 上水道	安全な飲料水の提供、老朽化した水道施設の更新
(37) 下水道	衛生的な下水の処理、下水道処理施設の更新
(38) 移住定住	関市へ転入し家を取得した世帯への支援、空き家を活用した移住支援
(39) 広報・シティプロモーション	関市の魅力発信、まちのP R、ふるさと納税、市広報紙の発行
(40) 財政運営	健全な財政運営、税収の確保、公共施設の有効活用
(41) 行政運営	効率的な組織、職員の育成、事業の見直し・評価

各施策の選択肢にかかる表現は以下のように区分しており、このページ以降の文中においても反映されています。

満足度

○『満足』…「とても満足」と「まあ満足」を合わせたもの

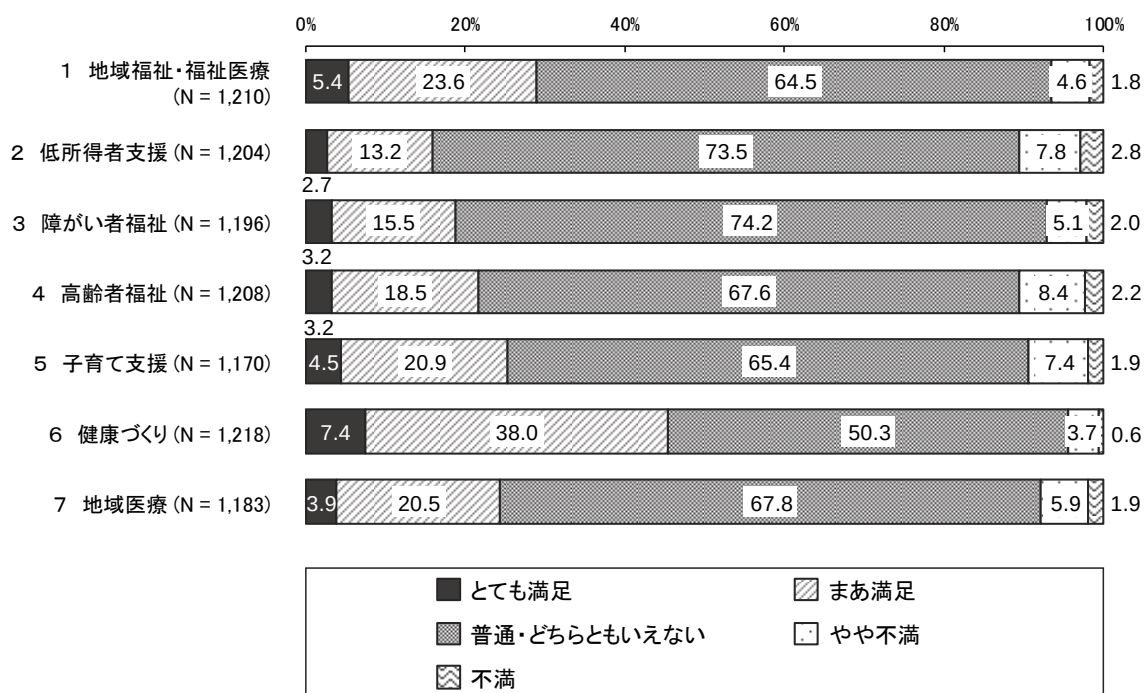
○『不満』…「やや不満」と「不満」を合わせたもの

※問 12 の「満足度」については「不明・無回答」を除いて集計した結果を掲載しています。

【健康・福祉・子育て】

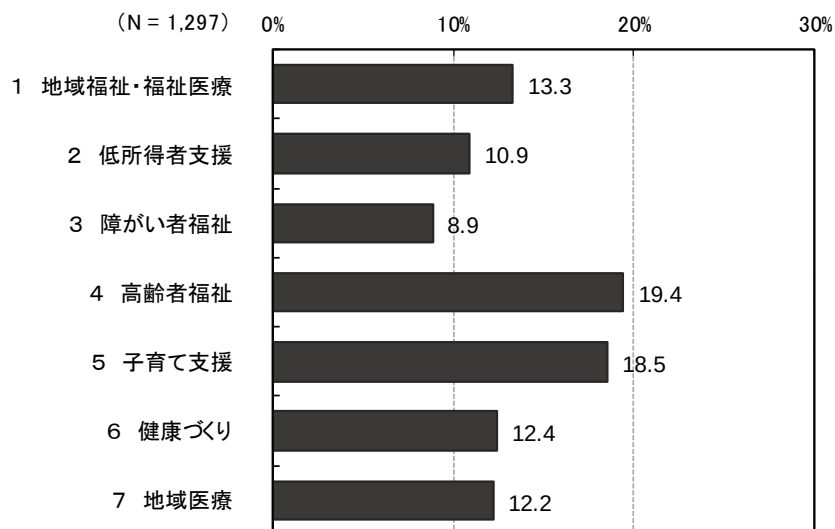
満足度（『満足』の割合）について、「6 健康づくり」が 45.4%と最も高く、次いで「1 地域福祉・福祉医療」が 29.0%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「4 高齢者福祉」が 19.4%と最も高く、次いで「5 子育て支援」が 18.5%となっています。

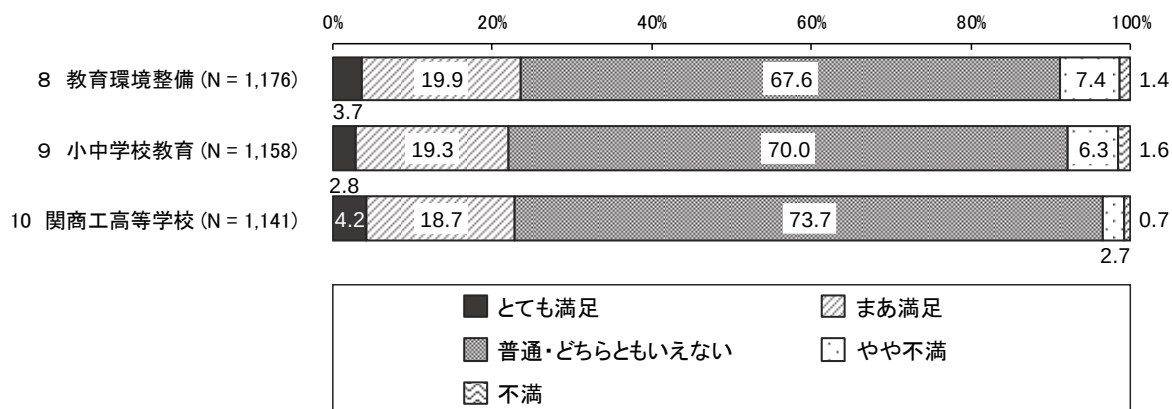
重点的に進めるべきだと思う施策



【教育】

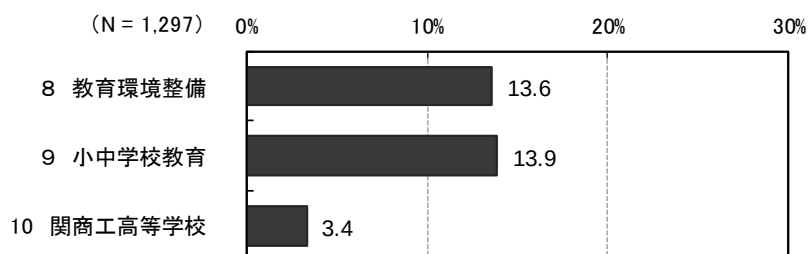
満足度（『満足』の割合）について、「8 教育環境整備」が23.6%と最も高く、次いで「10 関商工高等学校」が22.9%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「9 小中学校教育」が13.9%と最も高く、次いで「8 教育環境整備」が13.6%となっています。

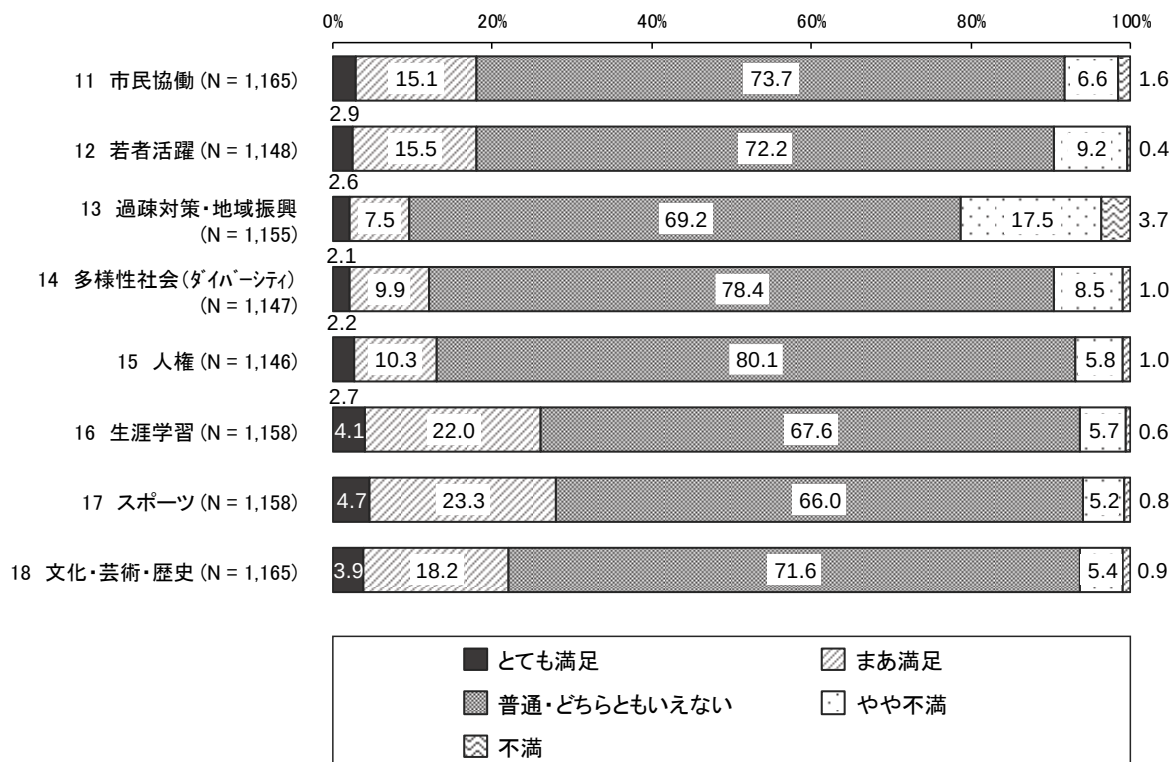
重点的に進めるべきだと思う施策



【地域づくり・協働】

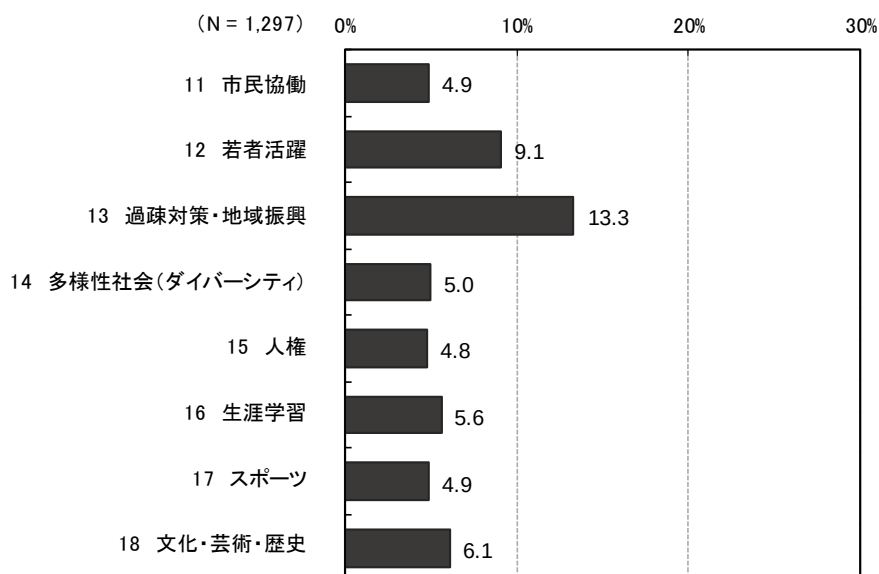
満足度（『満足』の割合）について、「17 スポーツ」が28.0%と最も高く、次いで「16 生涯学習」が26.1%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「13 過疎対策・地域振興」が13.3%と最も高く、次いで「12 若者活躍」が9.1%となっています。

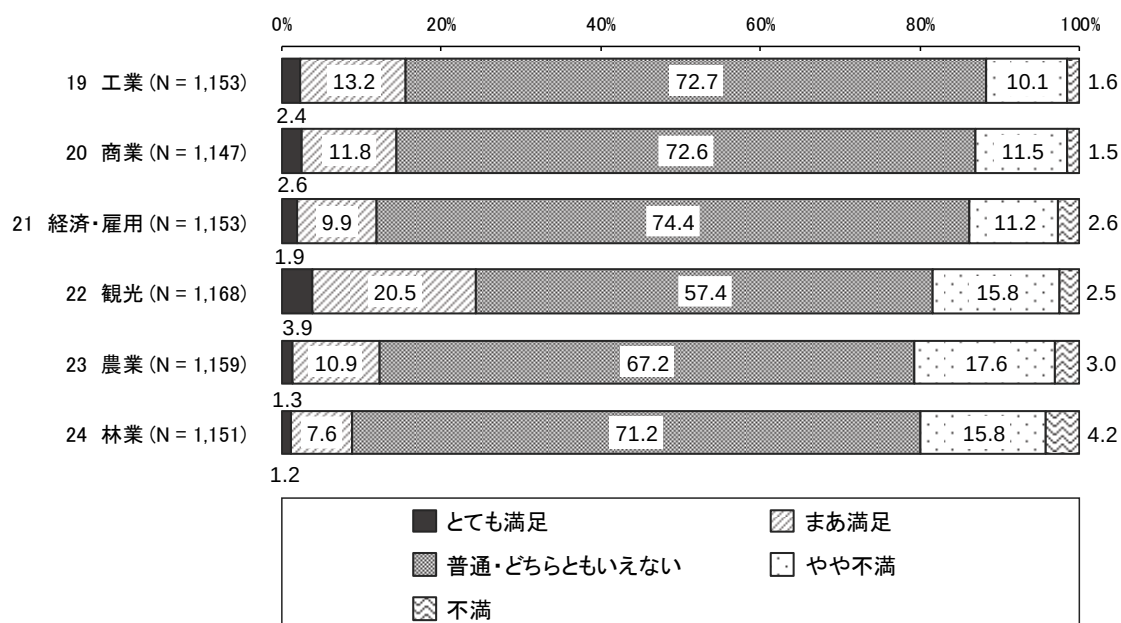
重点的に進めるべきだと思う施策



【産業・経済・雇用】

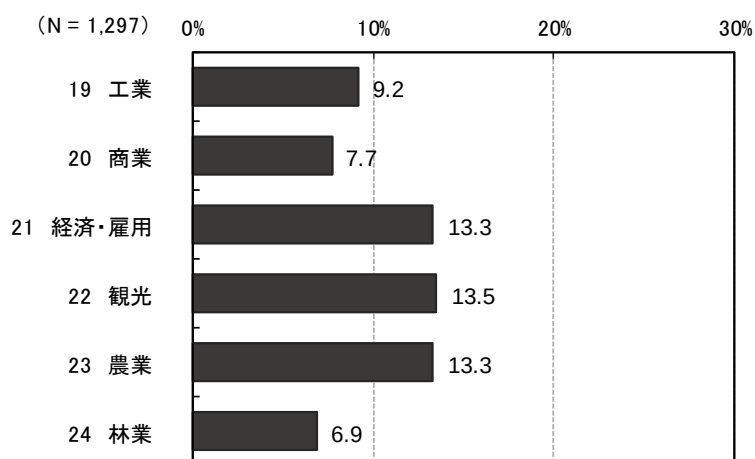
満足度（『満足』の割合）について、「22 観光」が24.4%と最も高く、次いで「19 工業」が15.6%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「22 観光」が13.5%と最も高く、次いで「21 経済・雇用」「23 農業」が13.3%となっています。

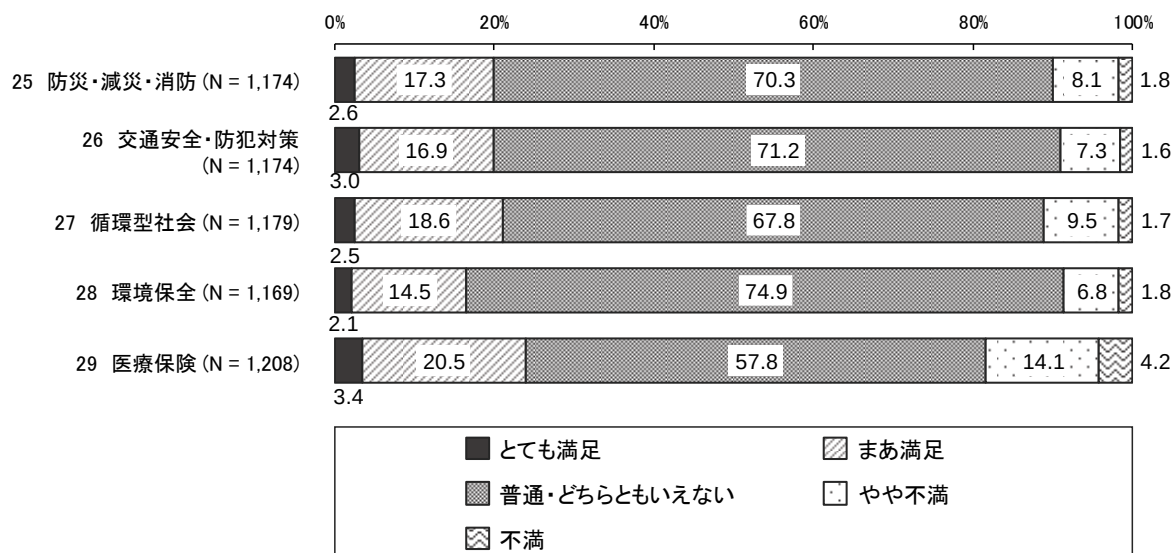
重点的に進めるべきだと思う施策



【防災・生活環境】

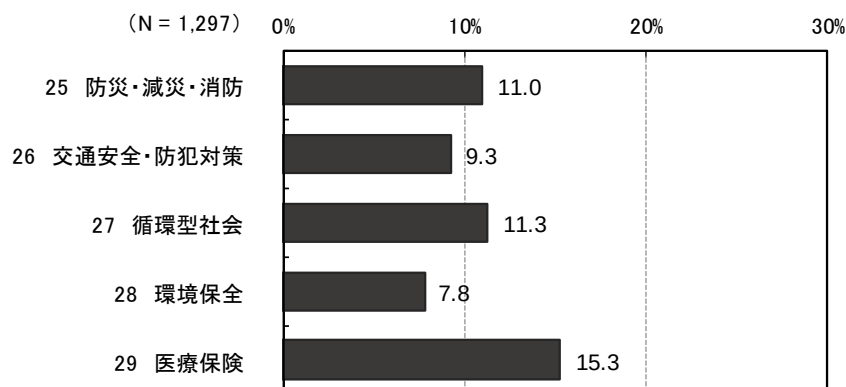
満足度（『満足』の割合）について、「29 医療保険」が23.9%と最も高く、次いで「27 循環型社会」が21.1%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「29 医療保険」が15.3%と最も高く、次いで「27 循環型社会」が11.3%となっています。

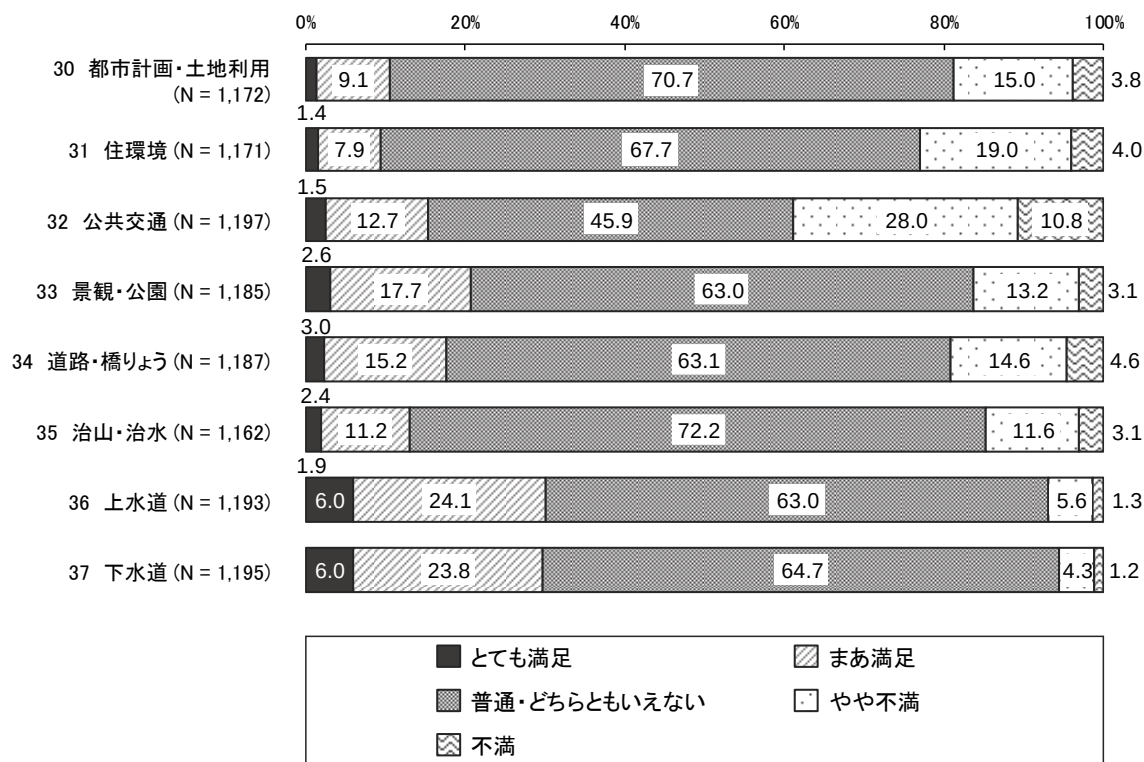
重点的に進めるべきだと思う施策



【都市基盤整備・上下水道】

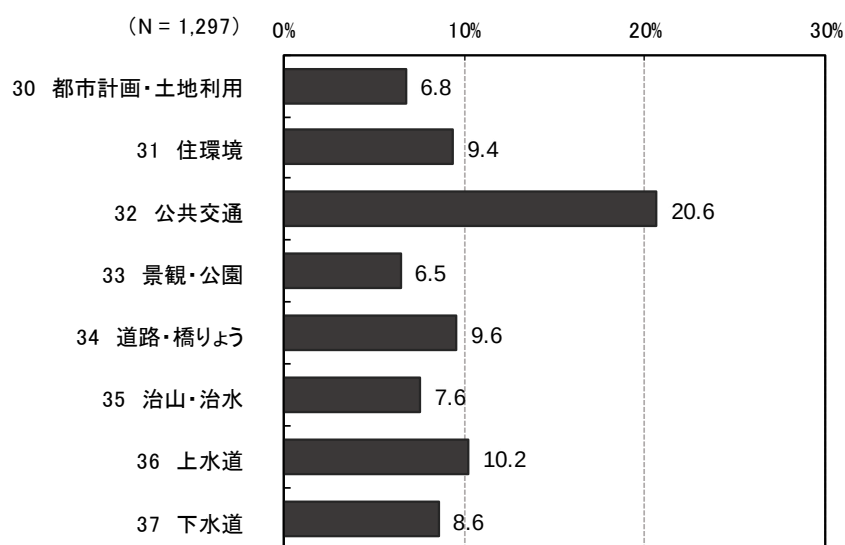
満足度（『満足』の割合）について、「36 上水道」が30.1%と最も高く、次いで「37 下水道」が29.8%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「32 公共交通」が20.6%と最も高く、次いで「36 上水道」が10.2%となっています。

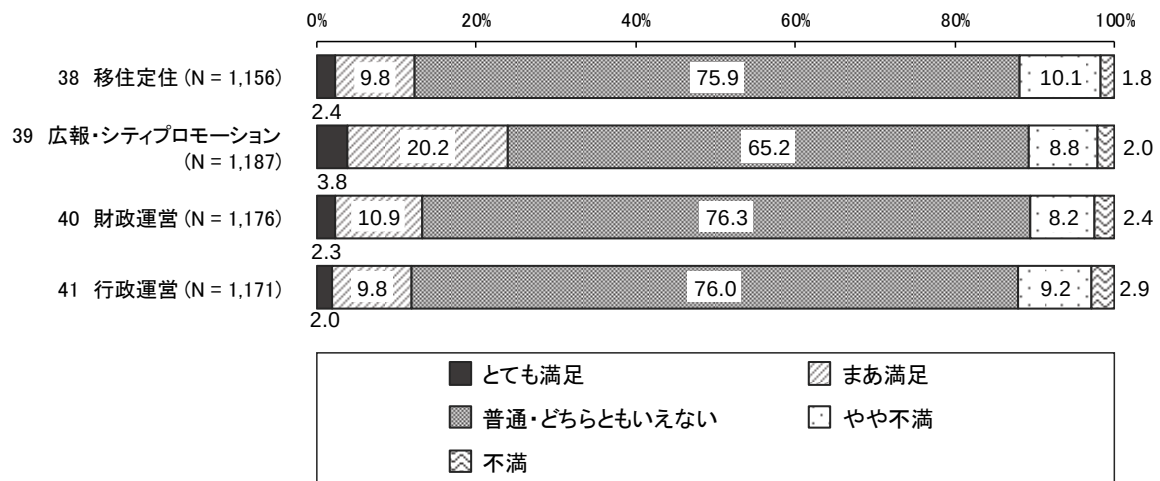
重点的に進めるべきだと思う施策



【行財政・人口対策】

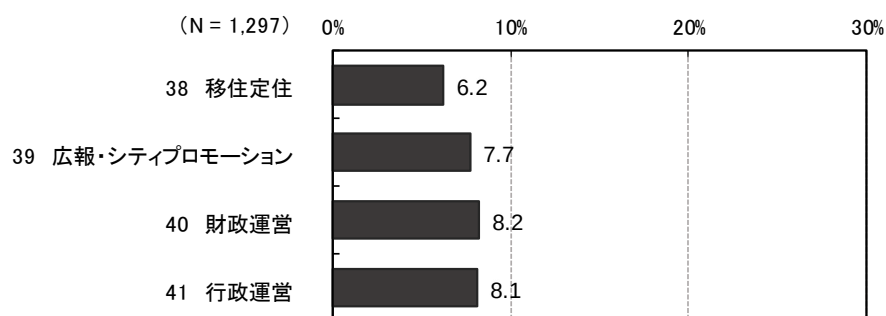
満足度（『満足』の割合）について、「39 広報・シティプロモーション」が24.0%と最も高く、次いで「40 財政運営」が13.2%となっています。

満足度



重点的に進めるべきだと思う施策について、「40 財政運営」が8.2%と最も高く、次いで「41 行政運営」が8.1%となっています。

重点的に進めるべきだと思う施策



【満足度について】

※満足度について、回答結果を「とても満足」を5点、「まあ満足」を4点、「普通・どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「とても不満」を1点として点数化し、その数値に回答者数を乗じて施策ごとの平均点を算出しました。

施策	満足度	施策	満足度
(1)地域福祉・福祉医療	3.26	(26)交通安全・防犯対策	3.12
(2)低所得者支援	3.05	(27)循環型社会	3.11
(3)障がい者福祉	3.13	(28)環境保全	3.08
(4)高齢者福祉	3.12	(29)医療保険	3.05
(5)子育て支援	3.19	(30)都市計画・土地利用	2.89
(6)健康づくり	3.48	(31)住環境	2.84
(7)地域医療	3.19	(32)公共交通	2.68
(8)教育環境整備	3.17	(33)景観・公園	3.04
(9)小中学校教育	3.15	(34)道路・橋りょう	2.96
(10)関商工高等学校	3.23	(35)治山・治水	2.97
(11)市民協働	3.11	(36)上水道	3.28
(12)若者活躍	3.11	(37)下水道	3.29
(13)過疎対策・地域振興	2.87	(38)移住定住	3.01
(14)多様性社会(ダイバーシティ)	3.04	(39)広報・シティプロモーション	3.15
(15)人権	3.08	(40)財政運営	3.03
(16)生涯学習	3.23	(41)行政運営	2.99
(17)スポーツ	3.26		
(18)文化・芸術・歴史	3.19		
(19)工業	3.05		
(20)商業	3.03		
(21)経済・雇用	2.97		
(22)観光	3.07		
(23)農業	2.90		
(24)林業	2.86		
(25)防災・減災・消防	3.11		

【重点的に進めるべきだと思う施策について】

年齢別にみると、30歳代以下で「5 子育て支援」が、40歳代で「32 公共交通」が、50歳代以上で「4 高齢者福祉」が、最も高くなっています。また、30歳代で「8 教育環境整備」「9 小中学校教育」が28.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

【年齢別①】

	1 福祉・医療・福祉	2 低所得者支援	3 障がい者福祉	4 高齢者福祉	5 子育て支援	6 健康づくり	7 地域医療	8 教育環境整備	9 小中学校教育	10 関関商工高等学校	11 市民協働
全 体 (N=1,297)	13.3	10.9	8.9	19.4	18.5	12.4	12.2	13.6	13.9	3.4	4.9
10歳代 (N=28)	10.7	21.4	10.7	14.3	32.1	10.7	3.6	25.0	25.0	7.1	3.6
20歳代 (N=62)	17.7	11.3	8.1	11.3	41.9	22.6	17.7	24.2	19.4	6.5	4.8
30歳代 (N=122)	14.8	7.4	9.0	19.7	35.2	12.3	18.0	28.7	28.7	2.5	6.6
40歳代 (N=206)	18.4	12.6	13.6	21.4	21.4	15.0	13.1	17.0	21.4	2.9	3.9
50歳代 (N=221)	14.9	11.8	9.0	24.4	18.1	15.4	17.2	15.4	12.2	5.0	5.9
60歳代 (N=277)	12.3	10.5	7.9	21.3	14.4	10.5	10.5	8.3	8.7	2.9	5.1
70歳以上 (N=350)	9.7	10.3	7.1	16.3	10.3	9.7	8.3	7.7	8.9	2.9	4.6

	12 若者活躍	13 地域・過疎振興策	14 多様な働き方社会（ダイバーシティ）	15 人権	16 生涯学習	17 スポーツ	18 歴史・文化・芸術	19 工業	20 商業	21 経済・雇用	22 観光
全 体 (N=1,297)	9.1	13.3	5.0	4.8	5.6	4.9	6.1	9.2	7.7	13.3	13.5
10歳代 (N=28)	17.9	28.6	10.7	14.3	7.1	10.7	7.1	17.9	14.3	28.6	25.0
20歳代 (N=62)	19.4	14.5	11.3	3.2	12.9	4.8	4.8	11.3	9.7	17.7	16.1
30歳代 (N=122)	10.7	14.8	9.8	9.8	6.6	4.1	5.7	8.2	7.4	16.4	15.6
40歳代 (N=206)	10.2	14.1	7.3	3.9	7.3	6.3	6.8	10.2	9.2	14.1	21.8
50歳代 (N=221)	10.9	16.3	4.1	5.4	6.3	7.7	9.5	13.6	11.3	16.7	16.3
60歳代 (N=277)	7.6	14.4	2.9	4.3	5.4	3.6	5.1	5.8	5.8	11.2	10.5
70歳以上 (N=350)	6.3	8.9	3.1	3.1	2.6	3.4	5.1	8.6	6.0	10.6	8.3

単位：％

【年齢別②】

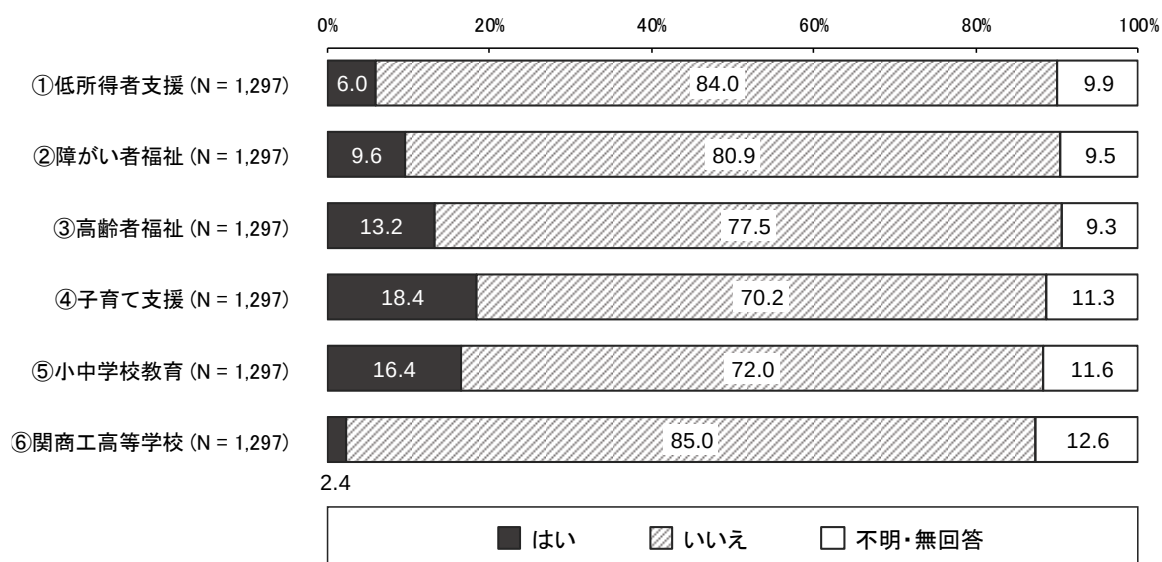
	23 農 業	24 林 業	25 消 防 災 ・ 減 災 ・	26 防 交 通 安 全 ・	27 循 環 型 社 会	28 環 境 保 全	29 医 療 保 険	30 土 都 市 利 用 計 画 ・	31 住 環 境	32 公 共 交 通	33 景 観 ・ 公 園
全 体 (N=1,297)	13.3	6.9	11.0	9.3	11.3	7.8	15.3	6.8	9.4	20.6	6.5
10歳代 (N=28)	10.7	3.6	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6	21.4	7.1	28.6	7.1
20歳代 (N=62)	11.3	1.6	11.3	16.1	8.1	6.5	11.3	9.7	16.1	29.0	12.9
30歳代 (N=122)	13.9	4.1	11.5	12.3	13.9	6.6	13.1	9.0	9.8	18.9	11.5
40歳代 (N=206)	13.6	5.8	16.5	12.6	16.0	8.7	17.0	6.3	9.2	32.5	7.8
50歳代 (N=221)	14.9	11.8	13.1	7.7	12.2	8.6	19.0	8.1	15.4	20.8	6.8
60歳代 (N=277)	15.2	6.9	10.1	9.0	10.8	8.7	15.5	6.5	9.4	18.4	4.7
70歳以上 (N=350)	12.0	7.1	8.3	7.1	9.4	7.1	15.4	4.3	5.1	15.1	4.6

	34 道 路 ・ 橋 り よ う	35 治 山 ・ 治 水	36 上 水 道	37 下 水 道	38 移 住 定 住	39 広 報 ・ シ ョ ン ・ テ ィ ブ	40 財 政 運 営	41 行 政 運 営	不 明 ・ 無 回 答
全 体 (N=1,297)	9.6	7.6	10.2	8.6	6.2	7.7	8.2	8.1	50.5
10歳代 (N=28)	7.1	14.3	7.1	3.6	10.7	21.4	10.7	21.4	32.1
20歳代 (N=62)	9.7	9.7	11.3	6.5	11.3	12.9	4.8	4.8	29.0
30歳代 (N=122)	13.1	6.6	13.1	12.3	8.2	14.8	9.8	11.5	36.9
40歳代 (N=206)	11.7	7.8	9.7	7.8	4.4	8.3	9.7	10.7	38.8
50歳代 (N=221)	10.9	8.1	12.2	11.8	7.7	7.2	9.0	9.0	41.6
60歳代 (N=277)	10.1	9.0	10.1	7.6	4.0	5.8	7.2	5.8	56.0
70歳以上 (N=350)	6.9	6.3	8.9	7.7	6.6	5.4	8.3	6.3	65.7

単位：％

**問 13 あなた、またはあなたの家族は、次の施策に関わって（サービスを受けて）いますか。
（それぞれの施策に○は1つ）**

「はい」（関わっている（サービスを受けている））の割合は、「④子育て支援」が18.4%と最も高く、次いで「⑤小中学校教育」が16.4%となっています。



(5) まちづくりへの意識と取組について

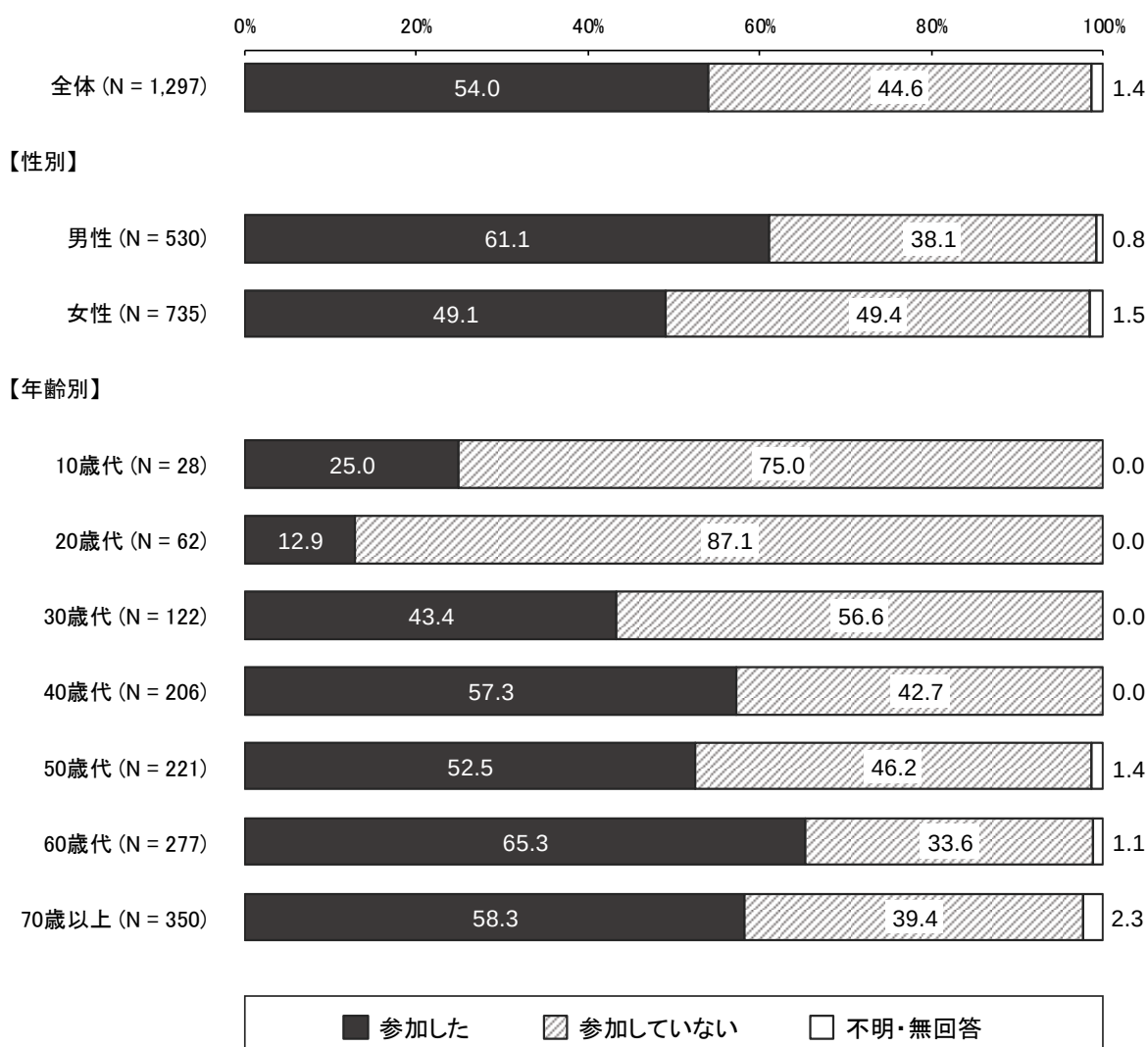
①地域づくり・協働について

問 14 あなたは、過去 1 年間に地域活動（地域委員会や自治会の活動など）に参加したことがありますか。（単数回答）

過去 1 年間の地域活動の参加の有無について、全体では「参加した」が 54.0%、「参加していない」が 44.6%となっています。

男女別にみると、「参加した」が男性 61.1%、女性 49.1%と、男性は女性と比べて 12.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30 歳代以上で「参加した」が 4 割を超えており、60 歳代では 65.3%と、他の年代に比べて高くなっています。

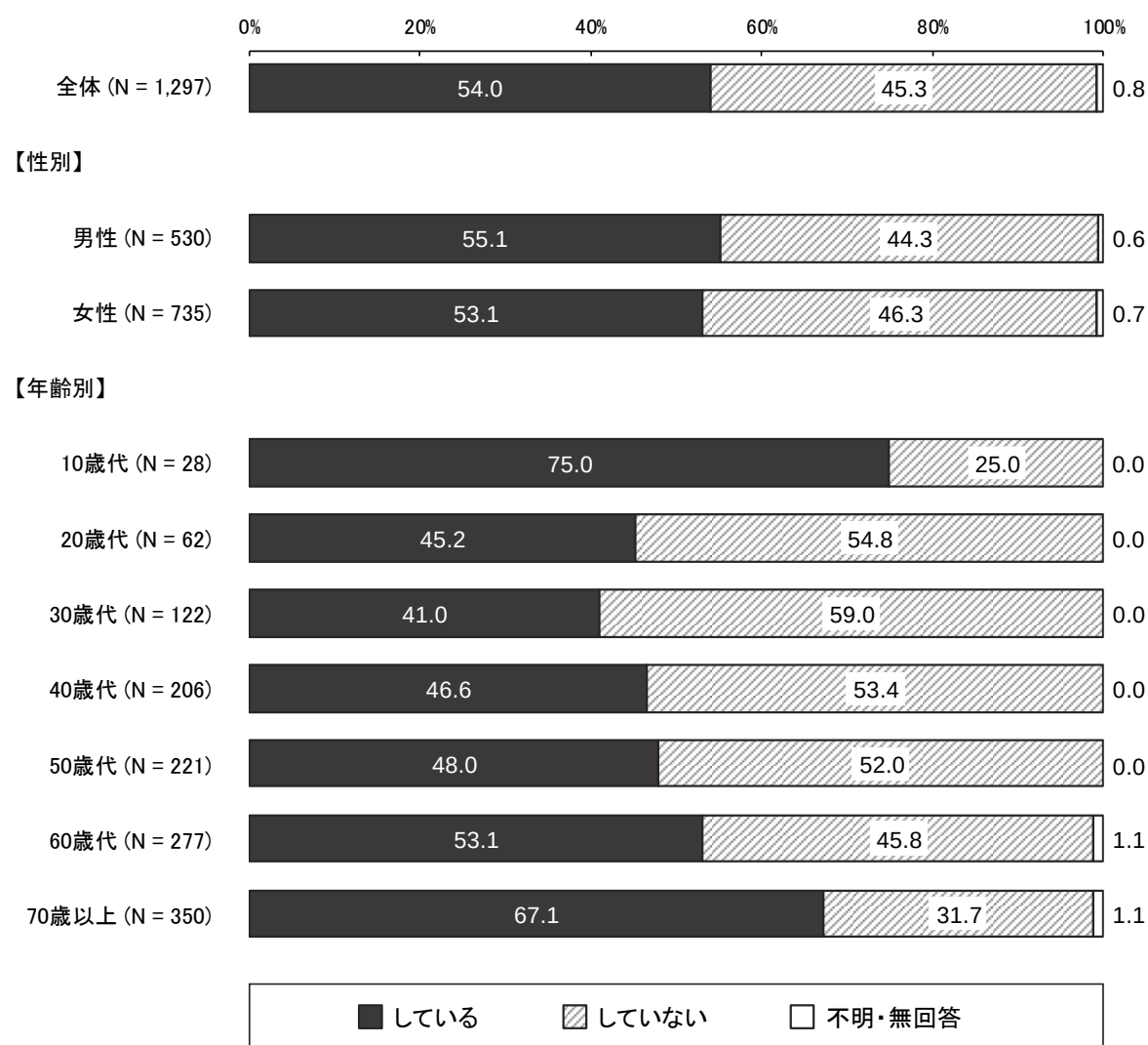


問 15 あなたは、1週間に1回以上運動やスポーツ（ラジオ体操、散歩、ウォーキングも含む）をしていますか。（単数回答）

1週間に1回以上運動やスポーツをしているかについて、全体では「している」が54.0%、「していない」が45.3%となっています。

男女別にみると、「している」が男性55.1%、女性53.1%となっています。

年齢別にみると、10歳代で「している」が他の年代に比べて高く、30歳代で「している」が他の年代に比べて低くなっています。

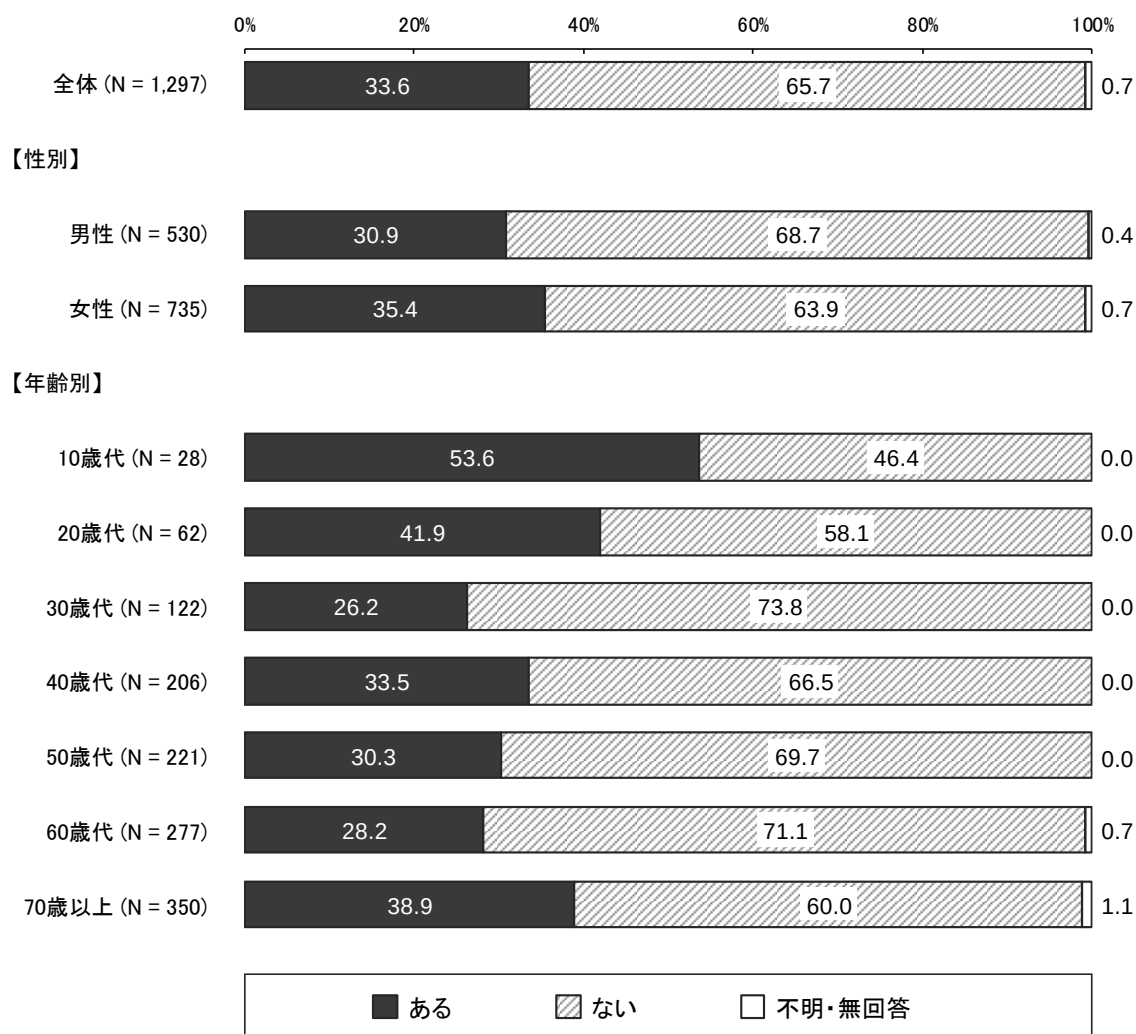


問 16 あなたは、過去 1 年間に芸術文化を鑑賞したことがありますか。(単数回答)

過去 1 年間の芸術文化を鑑賞した機会について、全体では「ある」が 33.6%、「ない」が 65.7%となっています。

男女別にみると、「ない」が男性 68.7%、女性 63.9%となっています。

年齢別にみると、10 歳代で「ある」が他の年代に比べて高く、30 歳代で「ある」が他の年代に比べて低くなっています。

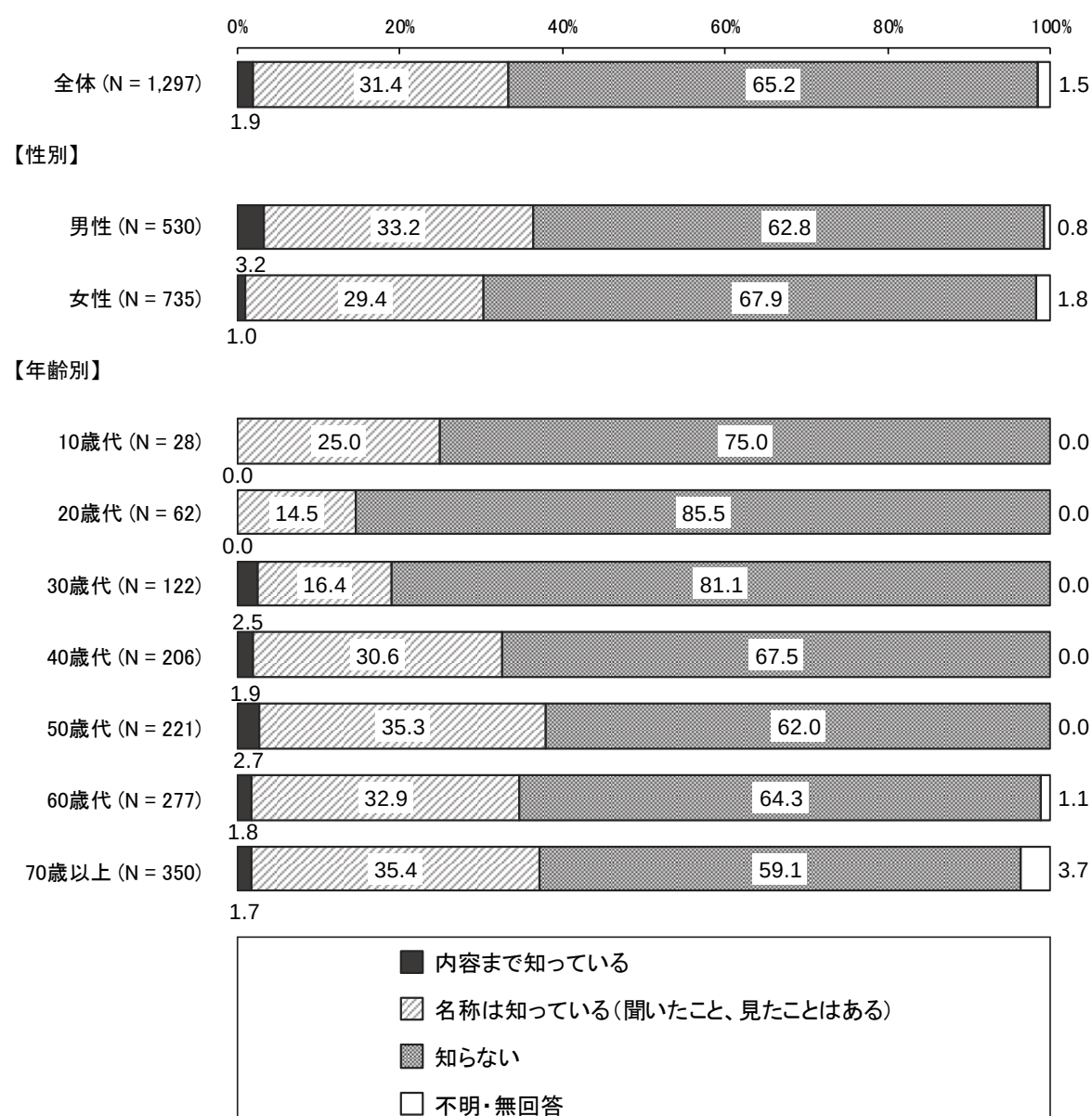


問 17 あなたは、関市自治基本条例（以下「条例」という）を知っていますか。（単数回答）

関市自治基本条例について、全体では「知らない」が 65.2%と最も高く、次いで「名称は知っている（聞いたこと、見たことはある）」が 31.4%となっています。

男女別にみると、「名称は知っている（聞いたこと、見たことはある）」が男性 33.2%、女性 29.4%となっています。

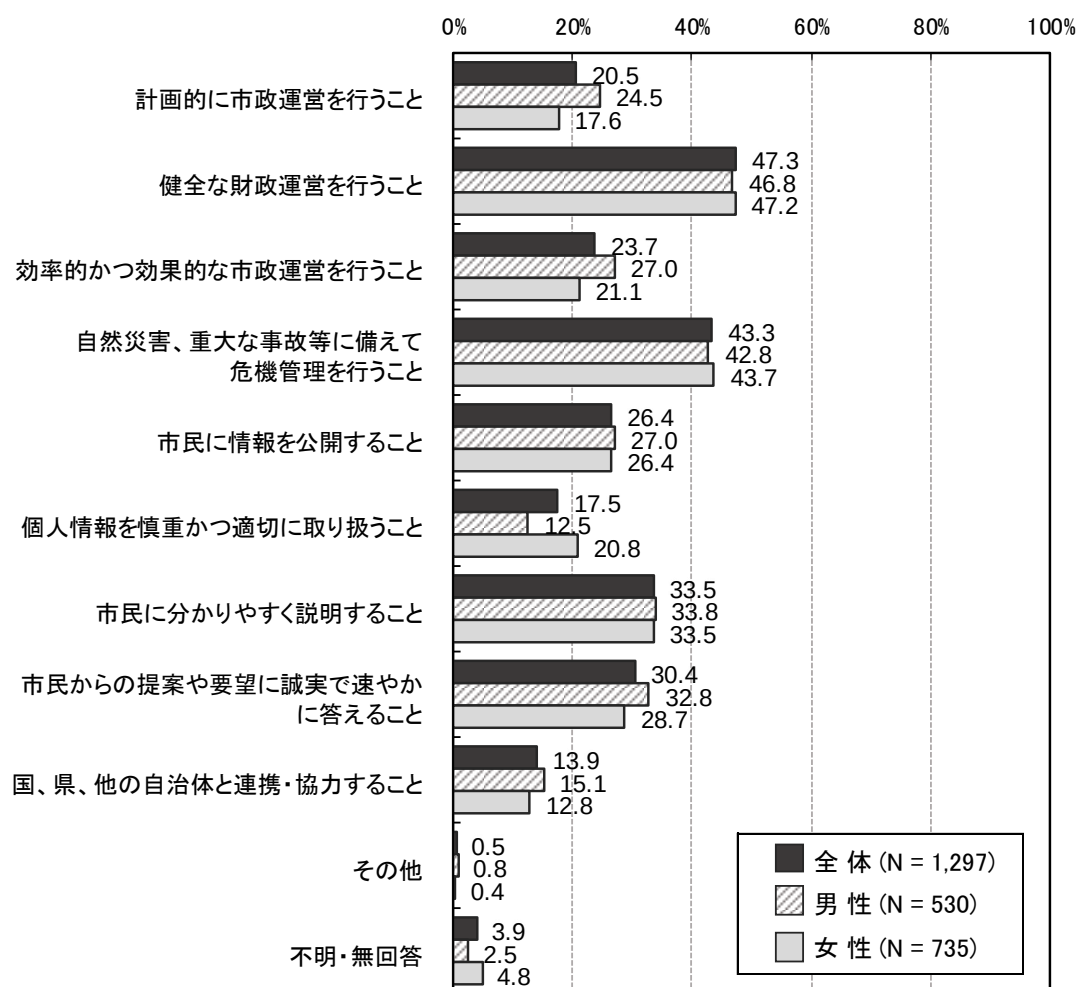
年齢別にみると、40 歳代以上で「名称は知っている（聞いたこと、見たことはある）」が 3 割前後と、30 歳代以下に比べて高くなっています。



問 18 条例には、市政運営について次のような項目があります。市政運営を進めるうえで、重要であると思われるものは何ですか。（複数回答）

市政運営を進めるうえで、重要であると思われるものについて、全体では「健全な財政運営を行うこと」が47.3%と最も高く、次いで「自然災害、重大な事故等に備えて危機管理を行うこと」が43.3%となっています。

男女別にみると、「健全な財政運営を行うこと」が男性 46.8%、女性 47.2%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、20歳代で「市民からの提案や要望に誠実で速やかに答えること」が43.5%と、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

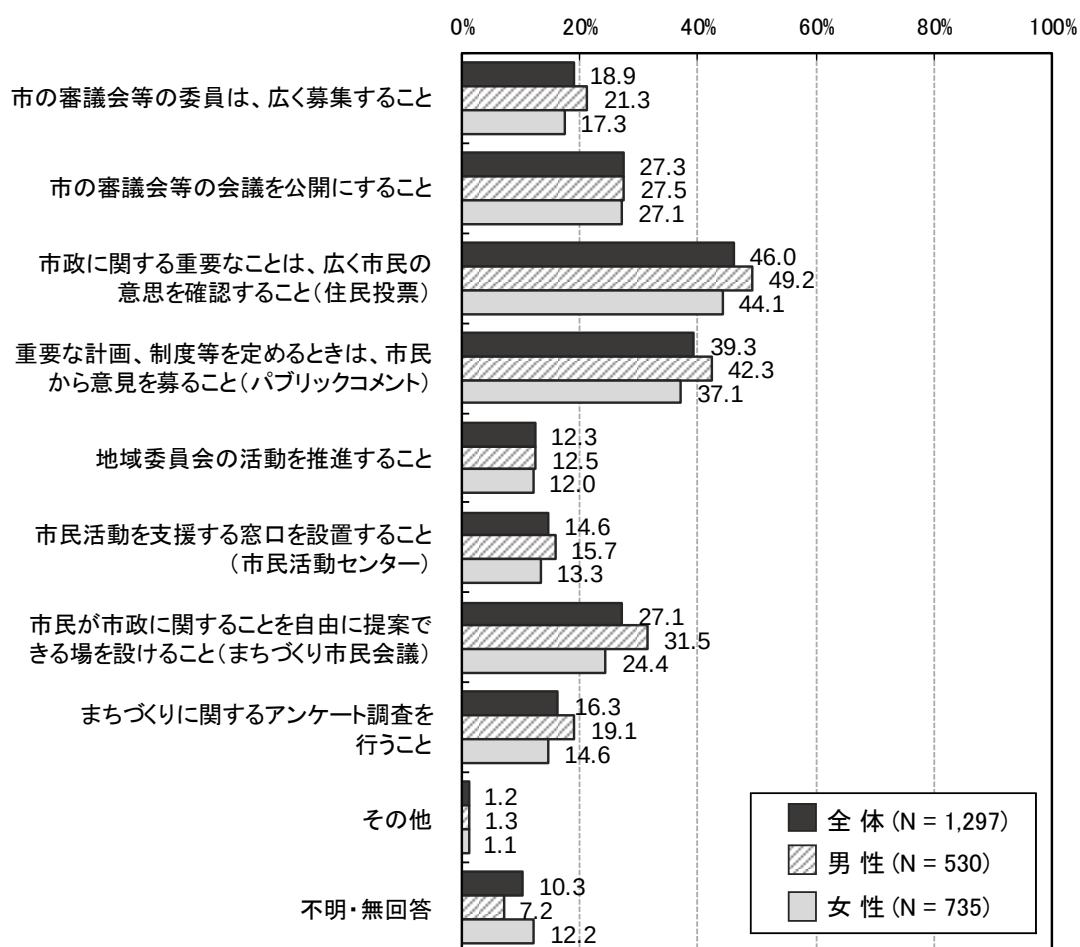
	と計 画的 に市 政運 営を 行う こ と	健 全な 財 政運 営を 行う こ と	効 率 的 な 市 政運 営を 行う こ と	自 然災 害、 重大 な事 故等 に 備 えて 危機 管理 を行う こ と	市 民に 情報 を公 開す るこ と	取 扱 うこ とを 慎重 かつ 適切 に	市 民に 分か りや すく 説明 する こ と	市 民か らの 提案 や要 望に 誠 実 で速 やか に答 える こ と	国、 県、 他の 自治 体と 連 携・ 協力 する こ と	そ の 他	不 明・ 無回 答
全 体 (N=1,297)	20.5	47.3	23.7	43.3	26.4	17.5	33.5	30.4	13.9	0.5	3.9
10歳代 (N=28)	25.0	46.4	17.9	32.1	35.7	28.6	17.9	39.3	10.7	3.6	7.1
20歳代 (N=62)	21.0	43.5	30.6	43.5	21.0	21.0	33.9	43.5	11.3	0.0	0.0
30歳代 (N=122)	16.4	49.2	25.4	44.3	23.8	24.6	39.3	32.0	15.6	0.0	0.0
40歳代 (N=206)	18.9	44.2	30.1	46.1	29.6	18.4	35.9	27.7	18.0	0.0	1.9
50歳代 (N=221)	22.6	55.7	21.7	42.1	20.4	15.8	35.7	31.2	14.0	1.8	0.5
60歳代 (N=277)	19.5	45.5	19.1	43.7	28.9	11.6	32.5	32.5	14.1	0.0	4.3
70歳以上 (N=350)	22.0	44.9	22.6	43.4	28.3	18.0	30.6	26.6	11.1	0.6	8.0

単位：％

問 19 条例には、「協働によるまちづくり」や「市民自治」について次のような項目があります。重要であると思われるものは何ですか。（複数回答）

「協働によるまちづくり」や「市民自治」に重要であると思われるものについて、全体では「市政に関する重要なことは、広く市民の意思を確認すること（住民投票）」が46.0%と最も高く、次いで「重要な計画、制度等を定めるときは、市民から意見を募ること（パブリックコメント）」が39.3%となっています。

男女別にみると、「市政に関する重要なことは、広く市民の意思を確認すること（住民投票）」が男性49.2%、女性44.1%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、20歳代以上で「市政に関する重要なことは、広く市民の意思を確認すること（住民投票）」が、10歳代で「重要な計画、制度等を定めるときは、市民から意見を募ること（パブリックコメント）」が、最も高くなっています。また、30歳代で「まちづくりに関するアンケート調査を行うこと」が27.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

【年齢別】

	市の審議会等の委員は、広く募集すること	市の審議会等の会議を公開にすること	市政に関する重要なことは、広く市民の意思を確認すること（住民投票）	重要な計画、制度等を定めるときは、パブリックコメントを募ること（パブリックコメント）	地域委員会の活動を推進すること	市民活動を支援する窓口を設置すること（市民活動センター）	市民が市政に関することを自由に提案できる市場を設けること（まちづくり市場）	まちづくりに関するアンケート調査を行うこと	その他	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	18.9	27.3	46.0	39.3	12.3	14.6	27.1	16.3	1.2	10.3
10歳代 (N=28)	17.9	32.1	35.7	39.3	14.3	17.9	28.6	14.3	0.0	10.7
20歳代 (N=62)	16.1	21.0	64.5	50.0	9.7	16.1	32.3	25.8	0.0	0.0
30歳代 (N=122)	17.2	28.7	45.9	34.4	14.8	12.3	29.5	27.0	0.8	3.3
40歳代 (N=206)	19.9	31.1	45.6	41.3	11.7	15.5	25.2	14.6	1.0	6.3
50歳代 (N=221)	16.7	33.5	49.3	38.5	12.2	10.0	28.5	18.1	2.3	6.8
60歳代 (N=277)	15.9	23.8	46.6	39.7	14.1	15.9	24.9	15.2	0.7	11.2
70歳以上 (N=350)	23.7	23.7	42.0	38.6	10.3	14.9	28.0	12.6	1.4	17.7

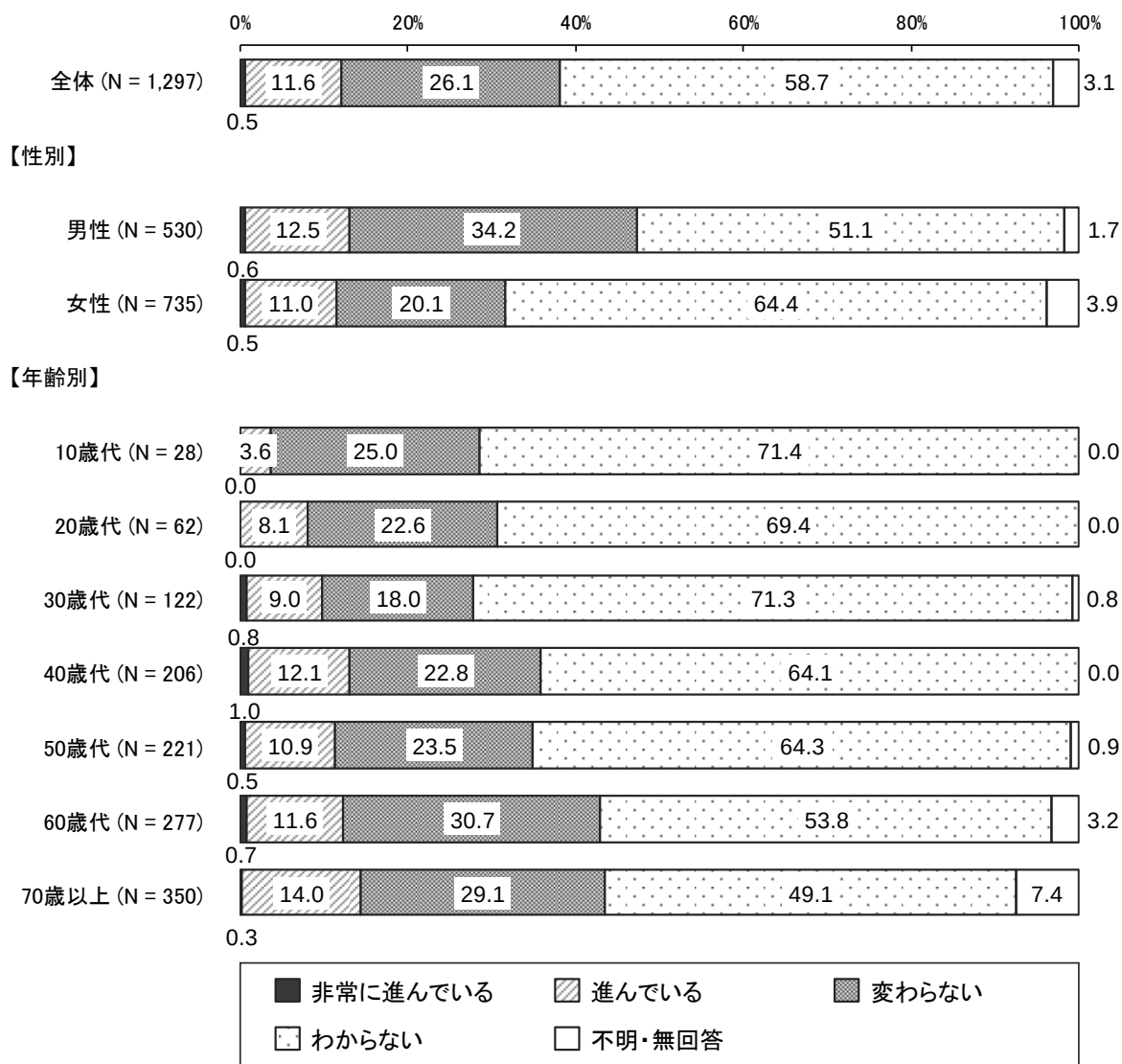
単位：％

問 20 条例を制定してから8年が経ちましたが、この間、「協働によるまちづくり」「市民自治」が進んだと思いますか。（単数回答）

条例を制定してから「協働によるまちづくり」「市民自治」が進んだと思うかについて、全体では「わからない」が58.7%と最も高く、次いで「変わらない」が26.1%となっています。

男女別にみると、「変わらない」が男性34.2%、女性20.1%となっています。

年齢別にみると、70歳以上で「進んでいる」が14.0%と、他の年代に比べて高くなっています。

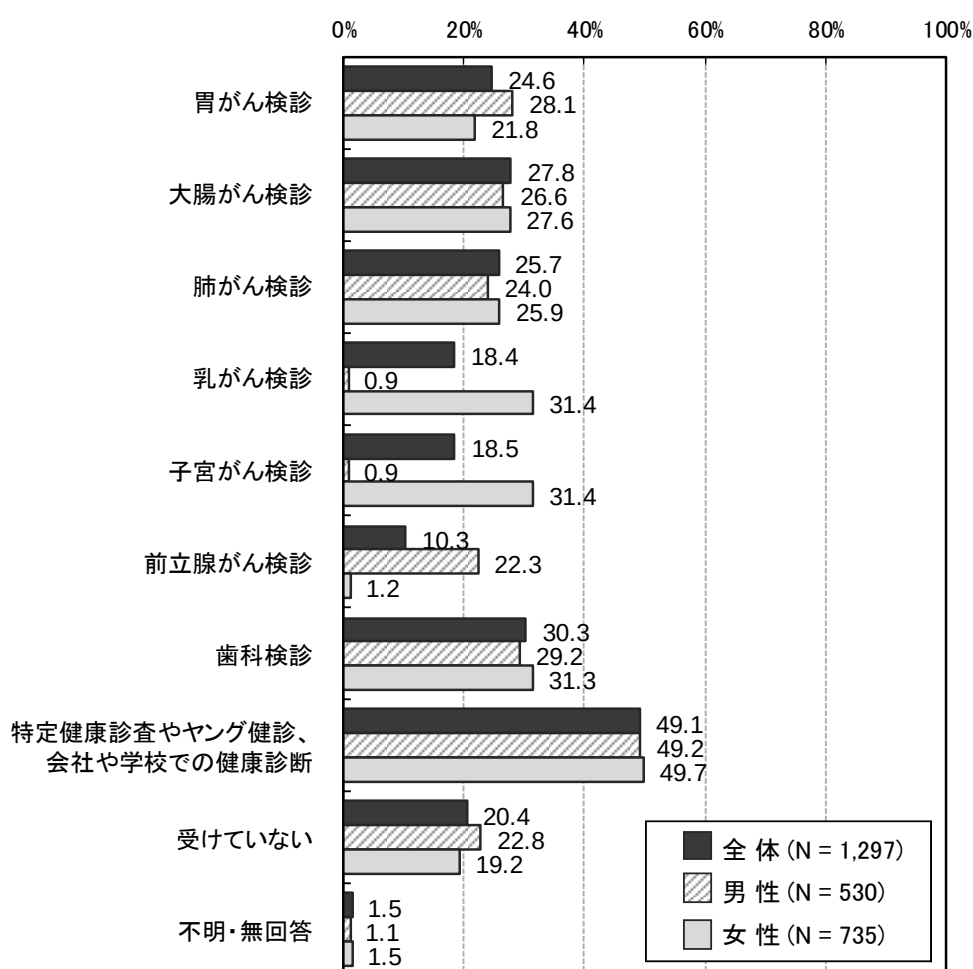


②自身の健康管理について

問 21 あなたは、過去1年間に検診（健診）を受けましたか。（複数回答）

過去1年間に受けた検診（健診）について、全体では「特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断」が49.1%と最も高く、次いで「歯科検診」が30.3%となっています。

男女別にみると、「特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断」が男性49.2%、女性49.7%と、男女ともに最も高く、次いで、女性は「乳がん検診」、「子宮がん検診」が31.4%と高くなっています。



年齢別にみると、60 歳代以下で「特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断」が、70 歳以上では「大腸がん検診」が最も高くなっています。

【年齢別】

	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん検診	前立腺がん検診	歯科検診	特定健康診査やヤング健診、会社や学校での健康診断	受けていない	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	24.6	27.8	25.7	18.4	18.5	10.3	30.3	49.1	20.4	1.5
10歳代 (N=28)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	21.4	60.7	35.7	3.6
20歳代 (N=62)	0.0	0.0	0.0	6.5	27.4	0.0	24.2	51.6	24.2	0.0
30歳代 (N=122)	5.7	4.1	1.6	19.7	30.3	0.8	27.9	62.3	25.4	0.0
40歳代 (N=206)	17.5	18.4	15.0	24.8	23.8	1.0	29.1	57.8	21.4	0.0
50歳代 (N=221)	29.0	28.5	25.3	25.8	24.0	5.9	29.0	59.7	16.7	0.0
60歳代 (N=277)	34.3	39.7	36.5	20.2	15.9	14.8	32.1	47.3	18.8	1.1
70歳以上 (N=350)	30.6	36.9	36.3	12.6	10.0	20.0	33.4	34.3	20.9	3.4

単位：％

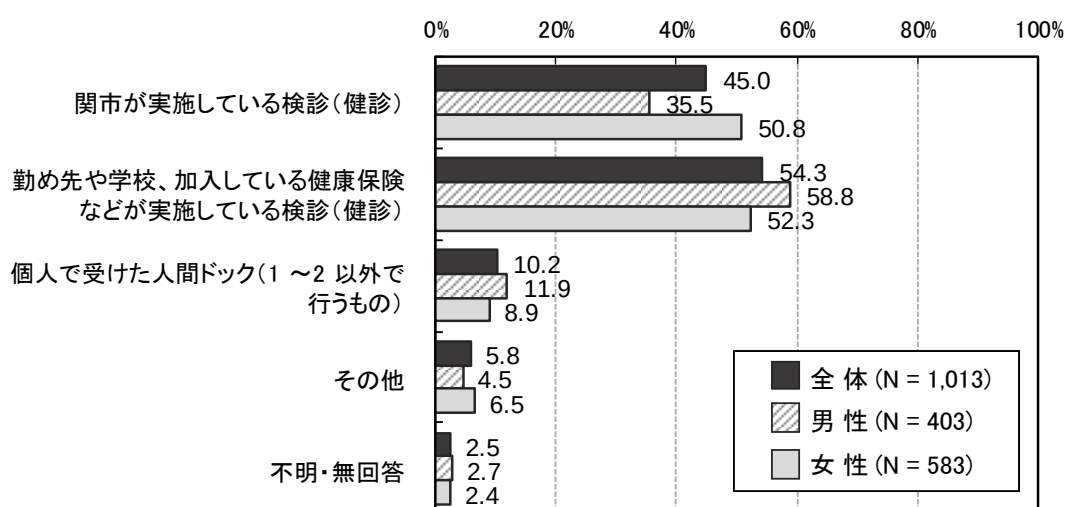
問 22 どのような機会に検診（健診）を受けられましたか。（複数回答）

※問 21 でいずれかの検診（健診）に○をつけた方への質問

検診（健診）を受けた機会について、全体では「勤め先や学校、加入している健康保険などが実施している検診（健診）」が 54.3%と最も高く、次いで「関市が実施している検診（健診）」が 45.0%となっています。

男女別にみると、「関市が実施している検診（健診）」が男性 35.5%、女性 50.8%と、女性は男性と比べて 15.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、50 歳代以下で「勤め先や学校、加入している健康保険などが実施している検診（健診）」が、60 歳代以上で「関市が実施している検診（健診）」が最も高くなっています。



【年齢別】

	関市が実施している検診（健診）	勤め先や学校、加入している健康保険などが実施している検診（健診）	個人で受けた人間ドック(1 ～2 以外で行うもの)	その他	不明・無回答
全 体 (N=1,013)	45.0	54.3	10.2	5.8	2.5
10歳代 (N=17)	5.9	94.1	0.0	5.9	5.9
20歳代 (N=47)	19.1	72.3	6.4	8.5	6.4
30歳代 (N=91)	42.9	74.7	8.8	2.2	0.0
40歳代 (N=162)	29.0	76.5	7.4	3.7	1.9
50歳代 (N=184)	30.4	78.3	8.7	3.8	1.6
60歳代 (N=222)	50.5	46.8	13.5	5.0	2.3
70歳以上 (N=265)	66.4	19.6	12.1	9.8	3.8

単位：％

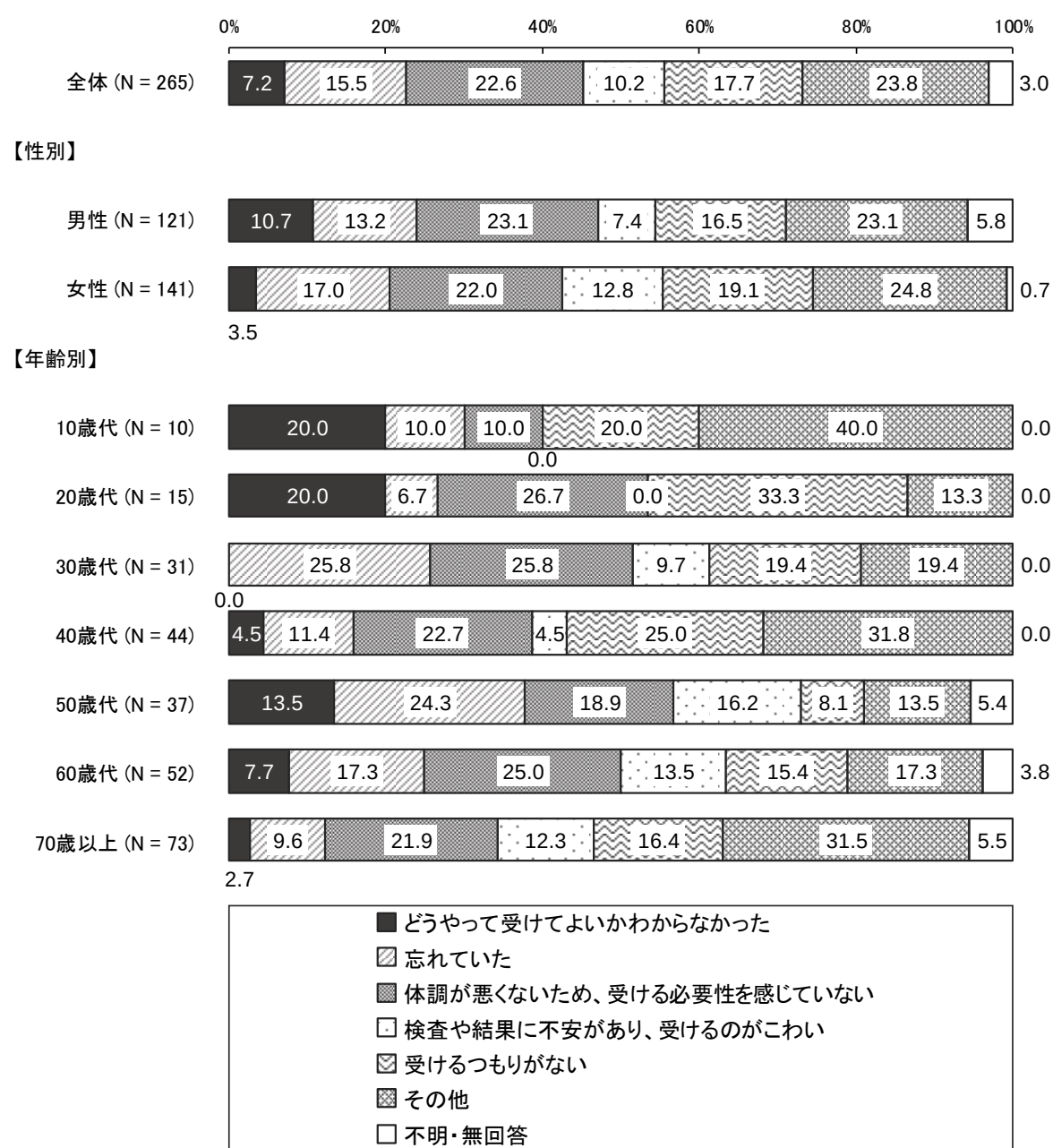
問 23 受けていない理由は何ですか。(〇は1つ)

※問 21 で「受けていない」に〇をつけた方への質問

検診（健診）を受けていない理由について、全体では「その他」（23.8%）を除いて、「体調が悪くないため、受ける必要性を感じていない」が22.6%と最も高く、次いで「受けるつもりがない」が17.7%となっています。

男女別にみると、「体調が悪くないため、受ける必要性を感じていない」が男性 23.1%、女性 22.0%となっています。

年齢別にみると、10 歳代、20 歳代で「どうやって受けてよいかわからなかった」が20.0%と、他の年代に比べて高くなっています。



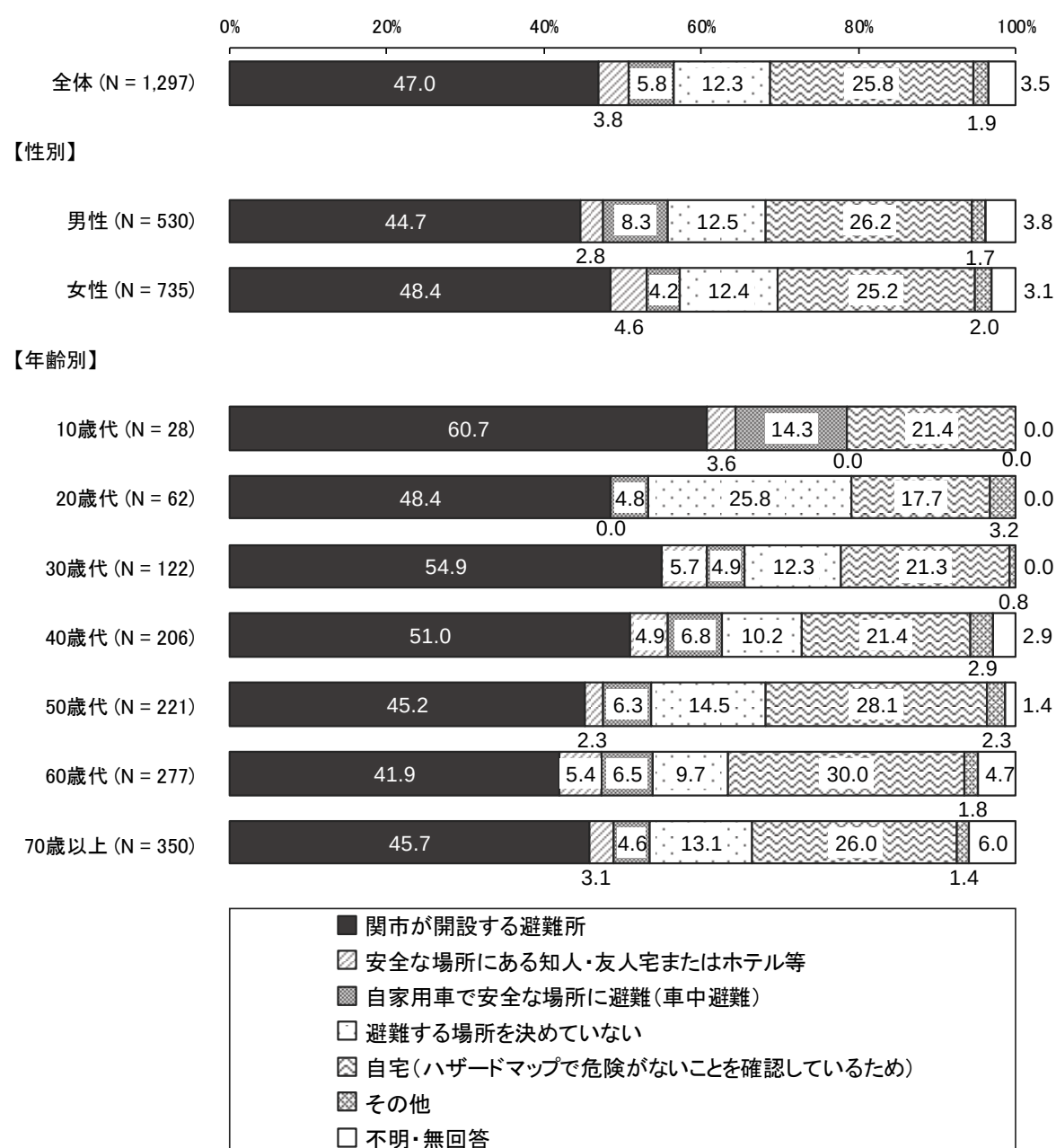
③防災について

問 24 大雨の際には、洪水や土砂災害が発生する場合があります。あなたは、「高齢者等避難」や「避難指示」などの避難情報が発令された場合に、どこに避難しますか。（単数回答）

避難情報が発令された場合の避難場所について、全体では「関市が開設する避難所」が47.0%と最も高く、次いで「自宅（ハザードマップで危険がないことを確認しているため）」が25.8%となっています。

男女別にみると、「関市が開設する避難所」が男性44.7%、女性48.4%となっています。

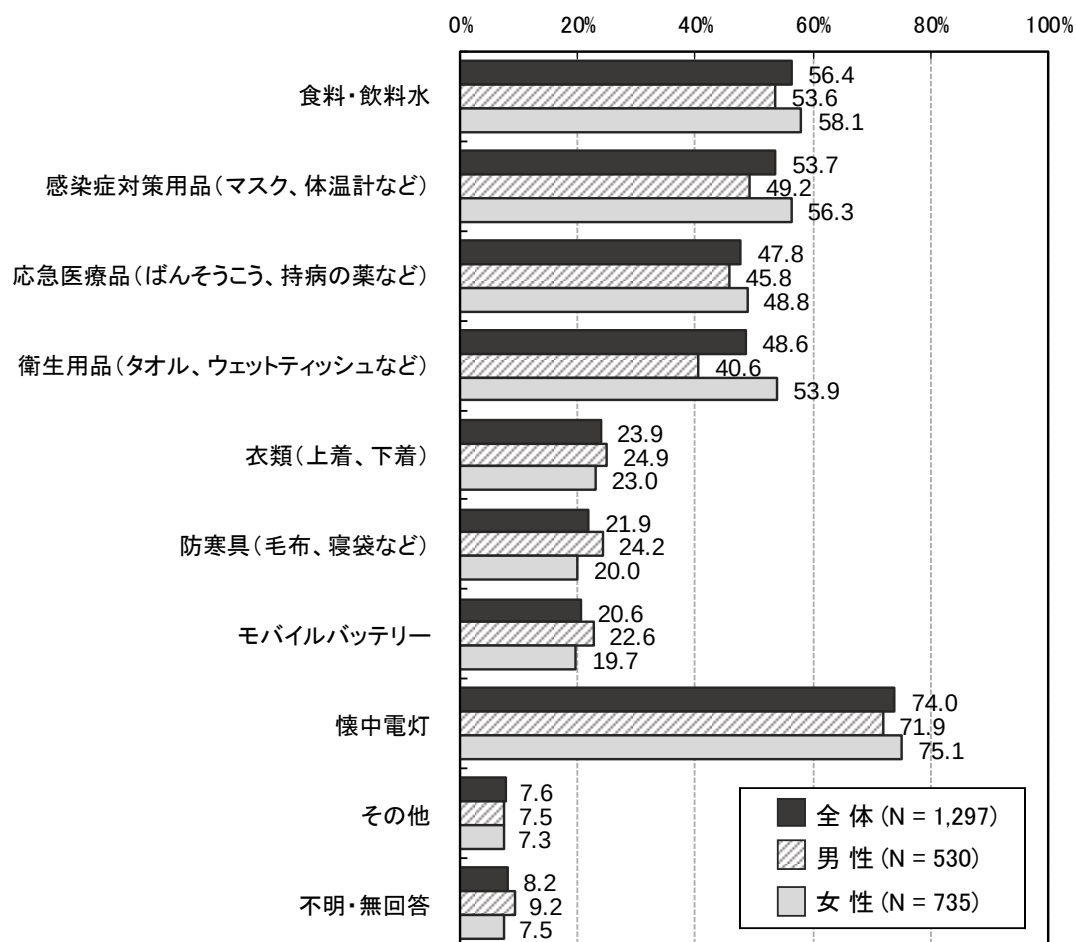
年齢別にみると、20歳代で「避難する場所を決めていない」が25.8%と、他の年代に比べて高くなっています。



問 25 あなたの家では備蓄品（非常持出品）について何を準備していますか。（複数回答）

家で準備している災害用備蓄品について、全体では「懐中電灯」が74.0%、「食料・飲料水」が56.4%となっています。

男女別にみると、「衛生用品（タオル、ウェットティッシュなど）」が男性40.6%、女性53.9%と、女性は男性と比べて13.3ポイント高くなっています。



年齢別にみると、いずれの年代も「懐中電灯」が最も高く、70 歳以上では8割を超えています。また、70 歳以上で「感染症対策用品（マスク、体温計など）」が 62.9%と、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

	食料・飲料水	感染症対策用品（マスク、体温計など）	応急医療品（ばんそうこう、持病の薬など）	衛生用品（タオル、ウェットティッシュなど）	衣類（上着、下着）	防寒具（毛布、寝袋など）	モバイルバッテリー	懐中電灯	その他	不明・無回答
全 体（N=1,297）	56.4	53.7	47.8	48.6	23.9	21.9	20.6	74.0	7.6	8.2
10歳代（N=28）	57.1	46.4	39.3	42.9	25.0	32.1	42.9	57.1	7.1	14.3
20歳代（N=62）	46.8	41.9	45.2	41.9	22.6	19.4	27.4	56.5	8.1	11.3
30歳代（N=122）	62.3	56.6	48.4	50.8	23.0	18.9	32.0	67.2	8.2	9.0
40歳代（N=206）	61.7	46.6	41.7	42.2	22.3	21.8	34.0	70.4	10.7	5.8
50歳代（N=221）	56.6	45.7	41.2	47.1	20.4	19.0	21.7	71.9	5.9	6.8
60歳代（N=277）	55.6	54.2	48.7	47.7	21.3	22.7	19.9	74.4	5.4	9.7
70歳以上（N=350）	52.9	62.9	54.6	53.4	28.6	22.6	6.9	82.9	7.7	8.0

単位：％

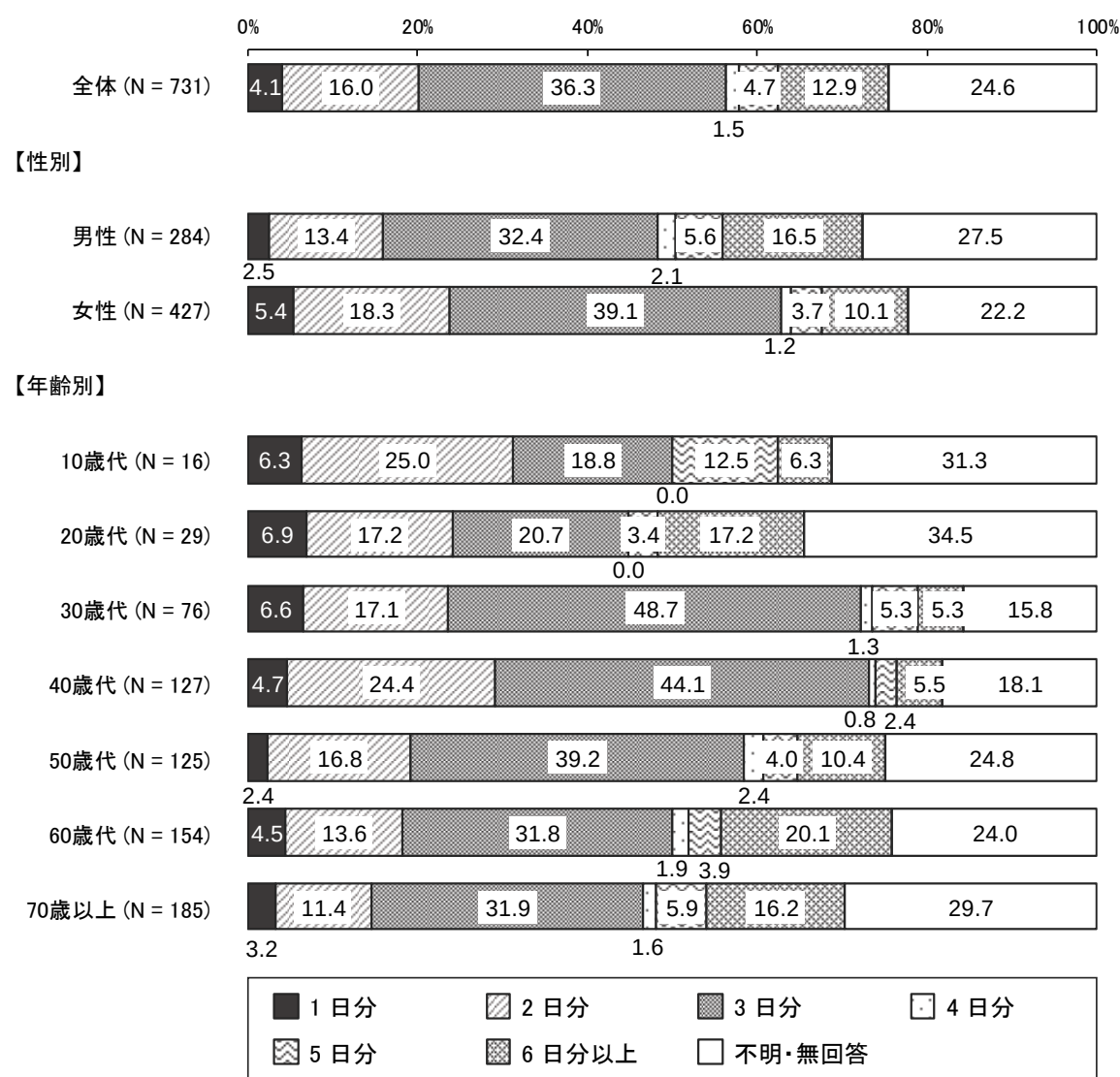
問 25① 食料・飲料水備蓄日数（数量回答）

※問 25 で「食料・飲料水」に○をつけた方への質問

食料・飲料備蓄日数について、全体では「3日分」が36.3%、「2日分」が16.0%となっています。

男女別にみると、「3日分」が男性32.4%、女性39.1%と、男女ともに最も高く、女性は男性と比べて6.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代以上で「3日分」、10歳代で「2日分」がそれぞれ最も高くなっています。また、60歳代で「6日分以上」が20.1%と、他の年代に比べて高くなっています。

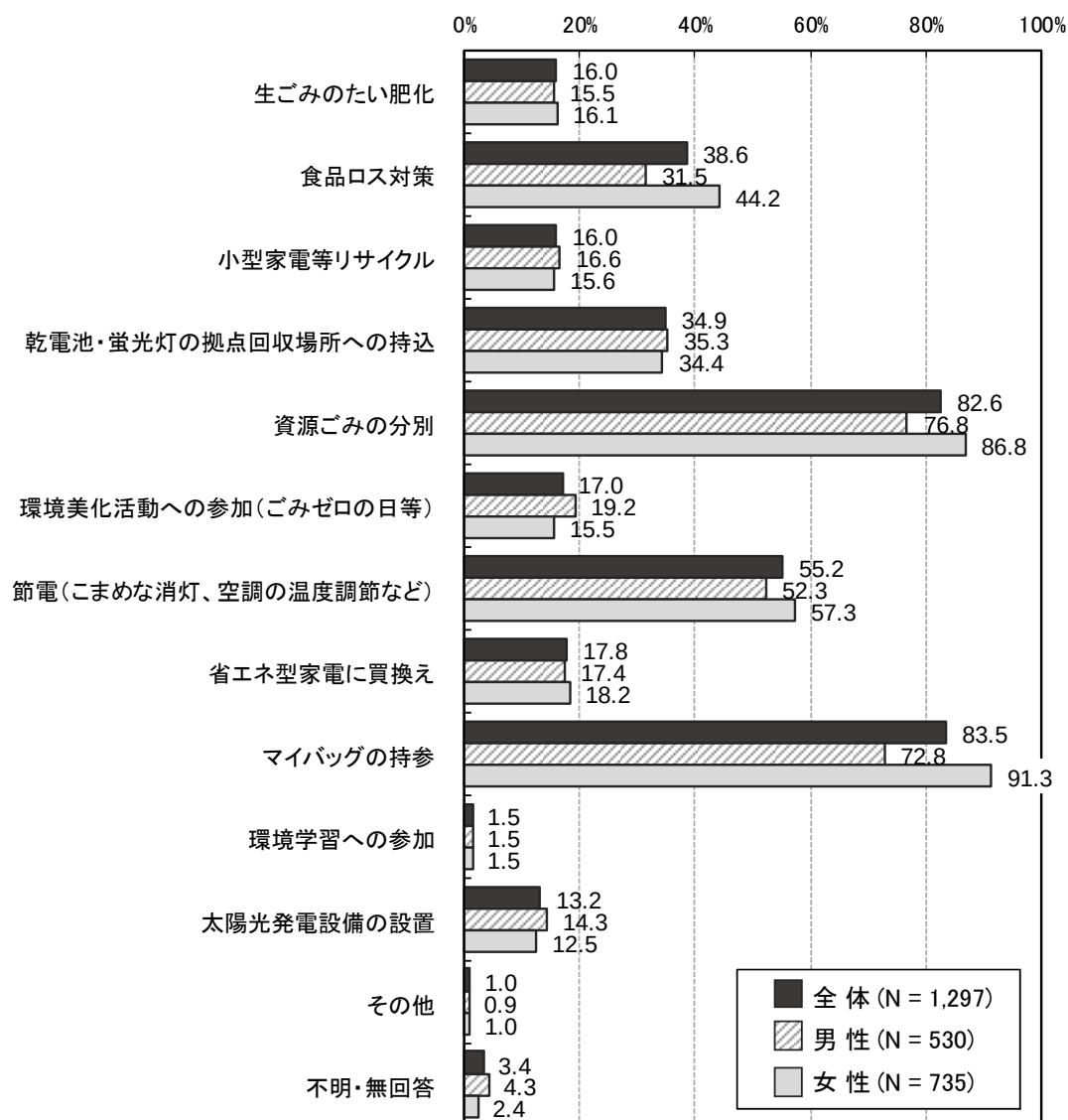


④生活環境について

問 26 あなたは、環境に配慮した取組としてどのようなことを行っていますか。(複数回答)

環境に配慮した取組について、全体では「マイバッグの持参」が83.5%と最も高く、次いで「資源ごみの分別」が82.6%となっています。

男女別にみると、「マイバッグの持参」が男性72.8%、女性91.3%と、女性は男性と比べて18.5ポイント高くなっています。



年齢別にみると、30 歳代で「マイバッグの持参」が 92.6%と、他の年代に比べて高くなっています。50 歳代、70 歳以上では「資源ごみの分別」が最も高くなっています。

【年齢別】

	生ごみのたい肥化	食品ロス対策	小型家電等リサイクル	乾電池・蛍光灯の拠点回収場所への持参	資源ごみの分別	環境美化活動への参加（ごみゼロの日等）	節電（こまめな消灯、空調の温度調節など）	省エネ型家電に買換え	マイバッグの持参	環境学習への参加	太陽光発電設備の設置
全 体 (N=1,297)	16.0	38.6	16.0	34.9	82.6	17.0	55.2	17.8	83.5	1.5	13.2
10歳代 (N=28)	14.3	25.0	7.1	17.9	64.3	21.4	42.9	14.3	78.6	7.1	17.9
20歳代 (N=62)	6.5	48.4	9.7	14.5	50.0	9.7	53.2	14.5	83.9	0.0	8.1
30歳代 (N=122)	10.7	32.8	9.0	30.3	81.1	5.7	50.8	13.9	92.6	2.5	23.8
40歳代 (N=206)	12.6	37.4	20.4	34.0	79.6	9.7	51.5	16.5	83.0	1.5	21.4
50歳代 (N=221)	10.9	37.1	16.3	28.1	88.2	14.0	60.2	18.6	83.3	1.8	12.2
60歳代 (N=277)	16.2	39.0	18.4	41.2	82.3	23.8	51.3	17.3	82.7	0.7	10.5
70歳以上 (N=350)	23.7	41.7	15.7	40.3	88.6	22.9	59.7	21.1	82.0	1.4	8.0

	その他	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	1.0	3.4
10歳代 (N=28)	3.6	3.6
20歳代 (N=62)	3.2	3.2
30歳代 (N=122)	1.6	0.8
40歳代 (N=206)	1.0	2.4
50歳代 (N=221)	0.5	2.3
60歳代 (N=277)	0.0	4.7
70歳以上 (N=350)	1.1	4.3

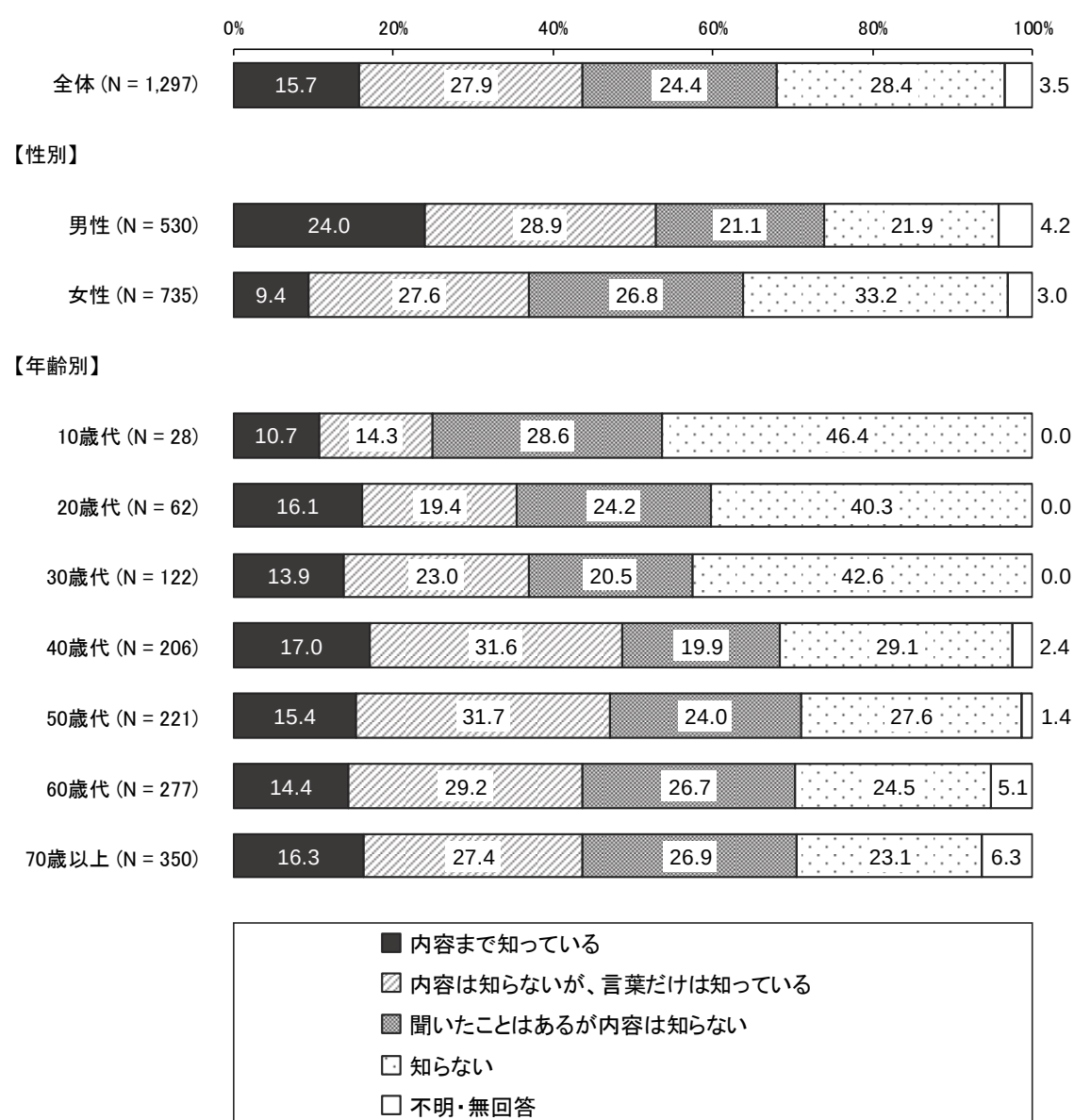
単位：％

問 27 関市は令和 4 年 2 月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。これは、地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくさせる取組（「カーボンニュートラル」）を推進するものです。あなたは、この「カーボンニュートラル」という言葉をどの程度知っていますか。（単数回答）

「カーボンニュートラル」の認知度について、全体では「知らない」が 28.4%と最も高く、次いで「内容は知らないが、言葉だけは知っている」が 27.9%となっています。

男女別にみると、「内容まで知っている」が男性 24.0%、女性 9.4%と、男性が女性と比べて 14.6 ポイント高くなっています。

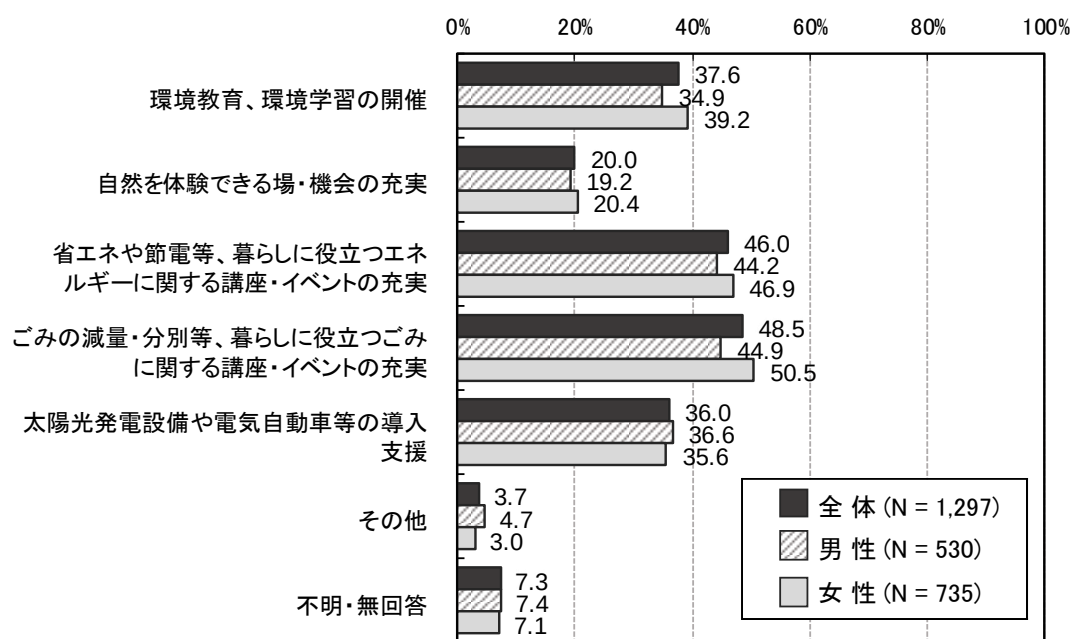
年齢別にみると、年代が低くなるにしたがい、「知らない」が高くなる傾向があります。



問 28 あなたは、関市が地球温暖化対策を進めるために、重要であると思われるものは何ですか。（複数回答）

地球温暖化対策を進めるために、重要であると思われるものについて、全体では「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が 48.5%、「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が 46.0%となっています。

男女別にみると、「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が男性 44.9%、女性 50.5%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、20歳代で「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が53.2%と、他の年代に比べて高くなっています。

【年齡別】

	環境教育、環境学習の開催	自然を体験できる場・機会の充実	省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する充実に役立ち、イベントの充実	ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講	太陽光発電設備や電気自動車等の導入支援	その他	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	37.6	20.0	46.0	48.5	36.0	3.7	7.3
10歳代 (N=28)	25.0	21.4	35.7	39.3	42.9	10.7	3.6
20歳代 (N=62)	37.1	24.2	53.2	51.6	33.9	3.2	1.6
30歳代 (N=122)	32.8	30.3	40.2	38.5	44.3	9.0	4.9
40歳代 (N=206)	33.0	20.9	43.7	43.2	41.7	4.9	5.8
50歳代 (N=221)	44.3	19.0	40.7	48.0	43.0	3.2	3.6
60歳代 (N=277)	37.9	18.4	44.8	46.9	29.6	3.6	8.7
70歳以上 (N=350)	37.7	16.6	52.0	55.1	30.3	1.1	11.4

單位：%

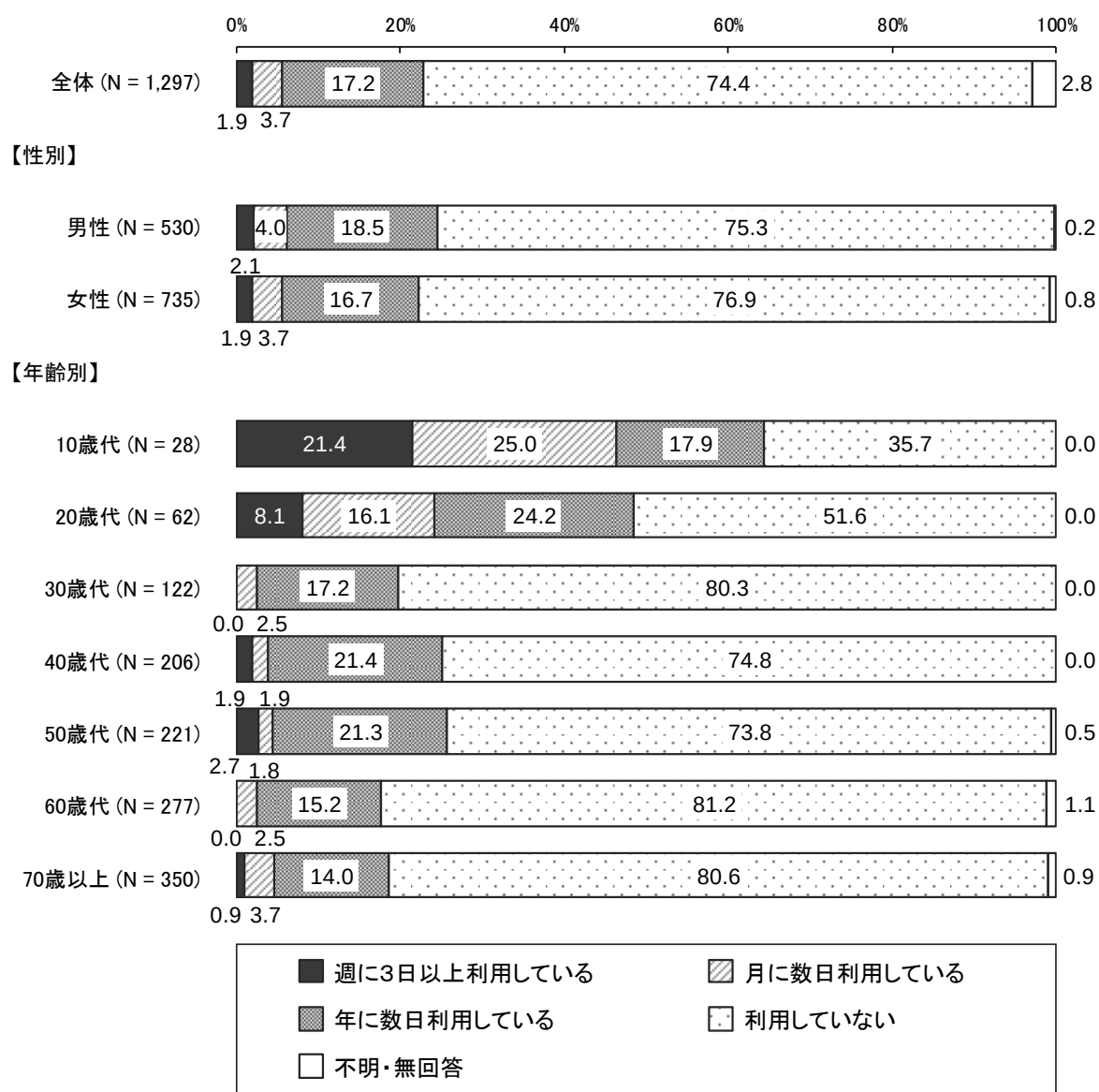
⑤公共交通（鉄道・バスなど）について

問 29 公共交通（鉄道・バスなど）を利用していますか。（単数回答）

公共交通（鉄道・バスなど）の利用について、全体では「利用していない」が74.4%と最も高く、次いで「年に数日利用している」が17.2%となっています。

男女別にみると、「年に数日利用している」が男性18.5%、女性16.7%となっています。

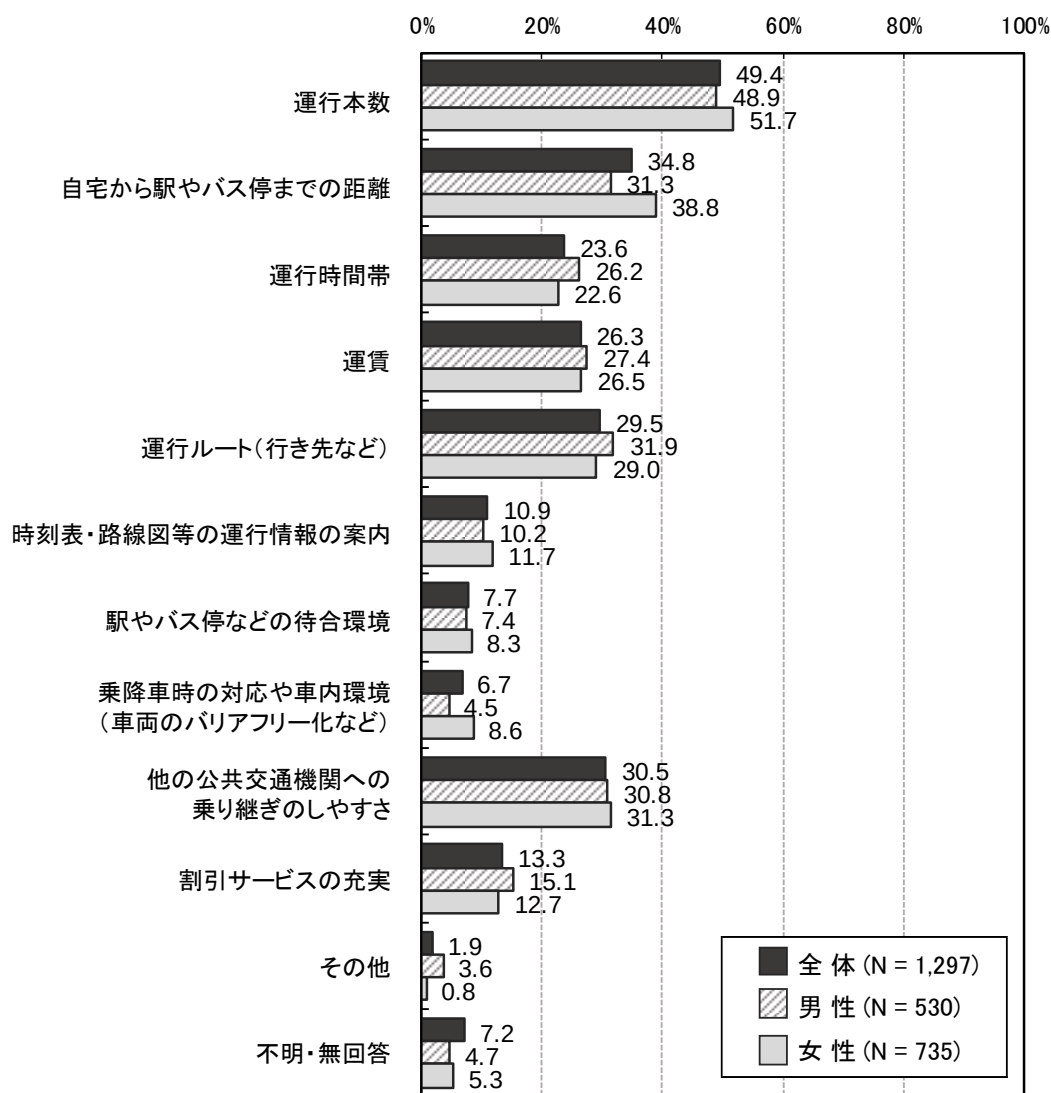
年齢別にみると、10歳代で「週に3日以上利用している」が21.4%と、他の年代に比べて高くなっています。



問 30 公共交通（鉄道・バスなど）をより利用しやすくするために、特に重要であると思われるものは何ですか。（複数回答）

公共交通（鉄道・バスなど）をより利用しやすくするために、特に重要であると思われるものについて、全体では「運行本数」が49.4%と最も高く、次いで「自宅から駅やバス停までの距離」が34.8%となっています。

男女別にみると、「運行本数」が男性48.9%、女性51.7%と、男女ともに最も高くなっています。



年齢別にみると、10 歳代、20 歳代で「運行本数」、「運賃」が、他の年代に比べて高くなっています。

【年齢別】

	運行本数	自宅から駅やバス停までの距離	運行時間帯	運賃	運行ルート（行き先など）	時刻表・路線図等の情報の案内	駅やバス停などの待合環境	乗降時の対応や車内環境（車両のバリアフリーなど）	乗りの公共交通機関へのしやすさ	他の公共サービスの充実	割引サービスの充実	その他
全 体 (N=1,297)	49.4	34.8	23.6	26.3	29.5	10.9	7.7	6.7	30.5	13.3		1.9
10歳代 (N=28)	67.9	35.7	39.3	50.0	14.3	0.0	3.6	0.0	32.1	14.3		0.0
20歳代 (N=62)	58.1	38.7	27.4	40.3	27.4	17.7	9.7	4.8	25.8	17.7		0.0
30歳代 (N=122)	54.1	40.2	28.7	39.3	30.3	6.6	6.6	8.2	27.0	13.1		0.8
40歳代 (N=206)	53.9	39.8	27.7	36.4	29.6	7.8	6.8	6.3	27.2	14.1		1.5
50歳代 (N=221)	53.8	38.0	18.6	29.0	29.0	11.8	7.2	6.3	36.7	14.0		1.8
60歳代 (N=277)	50.5	27.4	22.0	22.4	30.7	13.7	9.7	7.2	34.3	14.8		1.4
70歳以上 (N=350)	42.9	36.0	23.7	15.1	32.6	11.7	8.0	7.7	29.4	11.7		3.7

	不明・無回答
全 体 (N=1,297)	7.2
10歳代 (N=28)	0.0
20歳代 (N=62)	1.6
30歳代 (N=122)	1.6
40歳代 (N=206)	3.4
50歳代 (N=221)	3.6
60歳代 (N=277)	5.8
70歳以上 (N=350)	8.6

単位：％

4 自由回答

(1) 地域福祉・福祉医療	5
・ 来年から高校生も医療費が助成対象になるとの事でありがたいです。	
・ 早く高校生の医療無償をしてほしい。	
・ 医療費の無償化を高校生までにしてもらいたい。	
・ 医療費助成で、9歳過ぎの子どもからは眼鏡の（治療用弱視用眼鏡）代金の助成が保険適用から外れ、レンズに傷がつくたびや、眼鏡の度数が変わる度、レンズ交換が負担です。また高校生は医療費助成ないので、高校生まで拡充してほしいです。	
・ フードバンクの情報開示。例えば今夏、私どもは野菜をたくさんいただく機会に恵まれましたが、受け入れていただけるかどうか。何を必要としているかがわかるとありがたいです。	

(2) 低所得者支援	3
・ 生活保護を受けるのには、毎年申請するのですか？もっと生活に困っている人を助けて下さい。	
・ 母子家庭で、学校からもバイトの許可をもらっても高校生はいらない。高校生可でも「社長に連絡する」と言って連絡がなく、お金が必要なのにどうなっているのか。この関市はおかしいと思う。	
・ 資産（お金など）の多い方でも、収入が少ない方は低所得者として各種の公的支援が受けられるのが不満である。	

(3) 障がい者福祉	4
・ 療育手帳（B2）を家族が保持しているが、B2では受けられるサービスが極端に少なく、意味があるのかとすら思っています。大変な事も結構あるので、もう少し本人が安心できるサービスの充実をお願いしたいです。	
・ 高齢者、障がい児者が住みやすいまち、誰にとっても住みやすいまちではないかと思えます。高齢者、障がい児者が安心していつまでも地域で暮らせるようにお願いします。特に重症心身障がい児者で医療的ケアがあると、通える生活介護事業所が全くない状態です。何とかしてほしいです。	
・ 障がい者もまちで住みやすく、ヘルプマークの理解を。	
・ 障がい者が働ける環境づくり。	

(4) 高齢者福祉	21
高齢期の移動の不安について	10
・ 車で買物に行けない高齢者の買物難民状況に対する施策をお願いしたい。コミュニティバスは、ほとんど空で走っている事が多いような気がします。タクシー利用に多少の補助を出すとか考えてほしい。	
・ 今は車で病院などに行っていますが、車に乗れなくなったら毎回タクシーでとなると、どこにも行けなくなるのが不安です。	
・ 公共交通機関が不便なのは、しょうがない事ですが、自家用車に乗れなくなった高齢者向けの代替サービスを何か検討してほしいです。	

・高齢者が公共交通等利用しやすく、住みやすいまちをお願いします。	
・高齢者による自動車事故が多くなり、自分自身も運転するのが不安になる時もあるが、田舎では車を利用しなければ買い物・病院にも行けない実情を理解してほしい。このような状況を解決できて、高齢者でも不安のない関市にしてほしい。	
・母の免許返納を考えております。母は若い頃から 50 年近く車しか運転してません。80 歳近くになって、今からシティバスを利用しようと思っても、なかなか行動に移せず、多分タクシー利用か、家に引きこもる生活になってしまうと思います。行政サービスとして 65 歳以上の返納者にシティバス 3 年間フリーとありますが、生涯フリーで良くないですか。実際毎年どれ位の人数が返納して、どれ位の人がフリーパスを利用しているのでしょうか。家族としては年齢と共に外出しなくなる（できなくなる）と思いますので、1 つのきっかけとして、永年フリーパスなんてものも検討してみてください。また、返納を考えている人向けに「シティバスの利用の仕方」（みんなで乗ってみよう！みたいな）「実際返納した人の話を聞く」というようなイベント（講座）があると良いですね。市としてシニアカー、三輪車のレンタル、補助金制度、また試乗会。	
・プールへ通っています。図書館も利用させていただいています。ありがたく思っています。現在は車に乗れますが、乗れなくなったらどうなるのかと…。	
・名古屋市のように敬老パス。	
・後期高齢者ですので、動けなくなった時のことを考えると不安はあります。社会福祉の方、近所の方、自治体の方など助け合って暮らしていけることを望んでいます。	
・高齢の方の日常生活における支援について、買い物や通院の為に公共交通機関が便利に使用できるような料金や本数の見直し、買った物を自宅まで簡単に無料で配送してくれるサービスなど。高齢者の免許返納は生活が不便になることでなかなかすすまない為、安全と安心の暮らしを考える上で必要ではないかと思った。	
高齢期の活動について	1
・シルバー人材センターなどへの支援をしてくれたら、中高年者の労働力を生かせると思います。	
高齢者への支援、介護について	3
・少額で入居できる老人ホーム、またはシェアハウスなどの施設があったらと思います。	
・おひとり様の終活支援をお願いします。	
・親の介護支援の充実。	
高齢者施策全般について	7
・高齢者、障がい児者が住みやすいまちは、誰にとっても住みやすいまちではないかと思っています。高齢者、障がい児者が安心していつまでも地域で暮らせるようにお願いします。	
・大きな不満もなく生活させてもらっています。今 40 代ですが、自分が高齢者になった時、今よりも大きな問題がたくさん出てくると思います。（移動方法、医療、介護他）これからもう少しずつでも、皆が安心して暮らせる関市のまちづくりをしていただけると嬉しいです。	
・何十年かぶりに関市に戻ってきましたが、あまりに街に活気がなくなり、衰退ぶりを感じて驚いている。高齢者が増えているにもかかわらず、高齢者が非常に住みづらいまちであると思う。永住を考えて戻ってきましたが、高齢の親や自身の将来を考えても、このまちに住み続けるには不安が大きすぎてすぐにも引っ越したい。	

・老人が暮らしやすいまちづくりをしてほしい！
・子育ても大切ですが、人は全て老人になります。高齢になった時に過ごしやすい市にするべきだと思います。
・子育て支援よりも、高齢者への支援（医療、働ける環境 etc）をお願いしたい。経験上、中学生まではそれ程の支援はいらない。
・高齢者、子どもが住みやすい環境づくりをお願いします。

（５）子育て支援	22
経済的支援について	4
・子ども二人、保育園に入れた時の保育料が高すぎる事。（未満児二人）	
・未満児の保育料を無償化してほしいです。	
・中学前の子どもばかり支援金等の優遇がされているが、保、幼は無料化になり、医療費も 0 でお金はあまり使う事はないと思う。それより高校、大学生の子を持つ家庭の方がかなりお金がかかるので、そんな家庭への援助を検討していただきたい。	
・高校生まで受けられる支援が少ない。	
保育・子育て支援サービスについて	4
・児童館や支援センター等、子育てのサポートをしてもらえる場所や取り組みがある事は知っていますが、利用方法が HP で分かりにくかったです。	
・ママサポート券が使える所を増やしてほしい。	
・子育て支援を充実してほしい。働きたくても預け先がないと働けない。毎月ギリギリのお金で生活をしている。働き手が倒れたら、家族 5 人が路頭にまよう事になる。	
・主に子育て支援に触れることが多いのですが、充実していると感じます。公園や制度など、周りの市町村の友人からも羨ましがられるほどです。ただ、来年仕事復帰する身として、病児保育の人数が少ないこと、前日までの予約でないといけないことがとても大きな壁です。岐阜市では前日深夜や当日早朝でもネットで予約できる個人病院運営の病児保育があり、とても羨ましいです。コロナの関係でちょっとした風邪への対応でも厳しくなってしまったので(今通っている幼稚園では、兄弟が発熱しても本人はなんともなくコロナでないといわかっていれば預けても○、公立保育園では×だと聞いたことがあります。それだとその分病児保育の値段が 2 人分になるのでとても厳しいです)。病児保育が、枠も時間も値段も気軽に受けられる環境があると、仕事復帰も安心してできるし、フルタイムでも働けると思えます。	
子育て施策全般について	14
・高齢者、子どもが住みやすい環境づくりをお願いします。	
・子育て支援が充実していてありがたいです。	
・子育てしやすい市だと思います。色々ありがたいです。	
・子どもが元気に過ごせる安全で楽しい、関市を好きでいてくれるようなまちづくりをしてもらえたら嬉しいです。	
・子育て世代にもっと優しい住みやすいまちにしてほしい。	
・結婚を機に関市に引っ越してきました。まちはきれいで道も広く住みやすいです。将来、子どもを育てていくことを考えた時に、子育て支援が充実していると嬉しいです。	

・小さな子どもの子育てがしやすい市なら結婚して子どもがいる夫婦も市に帰りやすいのではと思います。
・民間ができること、行政ができることをしっかり見極め、安易な民間活用をしないでほしい。子どもを産み育てやすいまちづくりを主に置けば、すべてのまちづくりに繋がると思います。
・関市は他の市と比べると子育て支援が充実していると思います。関チケや遊ぶ施設、保健センターなどなど。住みやすい場所というところをもっとアピールしてほしいです。
・もっと子どもに寄り添った関市になってほしいです。高齢者に対しては十分ですが、子どもにとっては生きにくいと思います。コロナ禍で我慢することが多い子どもに、もっとのびのびと生きることのできる関市になってほしいです。
・スーパー等の駐車場が狭い為、子連れ用のスペースの設置や、特に6歳未満の子どもを持つ、チャイルドシートから乗り降りしやすい駐車場の設置等と呼びかけ、子育てのしやすいまちにしていきたい。(特にマージ等の大型店舗)
・子育て支援は手厚く、うらやましがられる事が多くありがたいです。ただ街全体、お店や公園など全体的に古い。子育て世代としては、もっと公園に力を入れてもらいたいです。
・老人福祉施設は多く、割と力が入っていると感じられますが、子ども～大学生などを抱える普通の子育て世代に対する施策が弱いと思います。生活困窮者対策も大切ですが、対策に充てる財源も当然税金です。普通に税金を納めて支援を受けず頑張っている家庭が報われない対策では愚策です。普通の家庭が当たり前に関市が良いまちであると思える市政に期待します。
・子育てしやすい環境をつくっていただきたいです。関チケや関payなどありますが、価格高騰でどんどん生活が苦しくなっていく中で、将来への不安が大きくなっていきます。関市は子育てしやすくて良いよと、どんどん関市に人が戻ってきてくれるようにしたい。スポーツできる場所の一般開放や公園の整備。おむつをはじめとする育児用品の割引券やクーポンの配布、教育費の支援、高校生までの医療費の無償化など検討していただきたいです。

(6) 健康づくり	2
・子宮頸がんの検査に、希望したら子宮体がんも一緒に検査できるように要望します。(料金は別で払うようにする)	
・(費用還元等)検診事業への更なる充実。	

(7) 地域医療	6
・ 医療（診療所の充実）。	
・ 中濃厚生病院の設備等を最新の物に交換。	
・ 医療機関（特に産婦人科、小児科、皮膚科、母乳外来）が少ないと感じています。また休日や夜間の診察ができる所もです。	

・コロナワクチン集団接種のやり方の効率が悪く感じる。もっと市民に寄り添ってやるべきだと思う。各公民センター、ふれあいセンターを利用し、1箇所集中してやるのではなく、分散してやるべき。接種率をあげたいのなら、来るのを待つのではなく、積極的に動くべきではないか。医療機関に投げすぎで、病院の機能を邪魔しているように思う。
・不妊治療が今年から保険適用になりましたが、まだまだ始まったばかりで保険適用になっていない治療や薬もあります。経済的にも精神的にも先が見えない不安が付きまとってきます。以前のような助成金制度が復活することを願っています。

(8) 教育環境整備	6
・中学の制服の新デザイン、制服は高額なので反対です。他自治体から転入しても使えるよう、量販店でも購入できるベーシックなものでよかったのでは。コロナで清潔さを保ちたい今、洗えるジャージなどの方が使い勝手がよいと思います。制服の廃止（自由化）も検討していただきかった。年に数回しか着ない制服、必要ですか？洗えないものを毎日着るのも嫌です。利益を斡旋するための新デザインだったと勘ぐってしまいます。本当に必要だったのか、みんな望んでいたのか、疑問です。	
・関市立中学校の制服の変更について。小学生の子どもがいるが、変更が決定した後からしか意見を述べるができなかった。どのような議論が行われたのか、広報などに報告されていたのかもしれないが見落としてしまった。今回の変更は、多様性を大切にすることについて一歩進めたことは評価できる。せっかく一歩進めたので次の一歩、つまり中学校（や関高校）の服装は自由にすることへの議論を進めてほしい。子どもが「みんなと同じ」ことよりも「自分らしさ」を大事にし、自他を大切にできる人づくりを目指したい。自分が自分であることを誇りに思い、人をまるごと大切にできる子に育てることは大人の責任だと考える。	
・関市の教育が周りの市と比べると残念すぎる。未来のためにも教育は大切だと思うので力を入れてほしいです。関市の不登校の人数が多いのも問題だと思います。どんどん関市以外の学校へ通う子が増えているように思いますが、将来関市で働いて生活してもらうためにも安定した教育現場をつくってほしいです。よろしくお願いします。	
・教育に関してはフリースクール創設(またはそのための助成金)や、学校独自化など。行政判断でなく、現場の先生が判断し執行できる取組み。通知表を無くす、校長判断でカリキュラムを変えるなど。端的にいいますと、通いたくなる「魅力的な学校づくり」です。先生ではなく専門分野や心理学面からサポートできるアドバイザー、地域の先達などが入っても。とにかく、一人でも生きづらさを感じることがないよう丁寧な教育現場を求めます。マスク、黙食についてもその精神的な負担を子どもたちの側に立って考えてください！イベントや授業においても教育機会を簡単に奪わないでください。以前の生活を取り戻す努力を行政発信で丁寧に行っていただきたいです。	
・岐阜地区やその他の地区は医療や子育て支援が充実しています。それがあまりないと学校の給食費があがるとのことですが、子どもがいつも変わった味、まずいとみんな言っていると聞きます。それなのに高くなるのはと疑問です。	
・学校給食費は無料化すべきです。	

(9) 小中学校教育	2
・小学校の授業がきちんと行えていない話をよく聞きます。(立ち歩き等) 教員を増やす等して、落ち着いた環境で通える場所にしてほしい。公立に不安を感じ私立に行く子がいるようで、不安を感じる学校にしてほしくないと思います。	

・他県から移住してきて1年半が経ちました。暮らしやすいまちである事には変わりません。ただ評価を低くした項目については、関市、県の課題かと思えます。「小中学校教育」に主に県だが教員が集まらないのはなぜ？できる事は再任用に対する保障？着眼点がおかしい。なぜ、近隣県に勤務者が増えているのでしょうか。子どもに罪はないのに、なぜ教員は集まらない？

(10) 関商工高等学校	1
・子どもが関商工に通っているが、交通の便が悪すぎる。バスが直通でない、バス停までが遠いので不便です。鉄道・バスの乗り継ぎも難しいので、天気の悪い日はほぼ送り迎えしなくてはならなくて大変です。市立高校なのだから、もう少し交通機関を良く、充実させてほしいです。	

(11) 市民協働	16
自治会活動について	9
・近頃、自治会に入らない若い人が増えている。町内に入るメリットがない。むしろデメリットの方が多い。(町費がいる、役をやらないといけない等) と言ってごみは捨てる、ゴミステーションの掃除はやらないと言った事で町内でもめる。	
・自治会を抜ける人が多くて、学校の PTA の役員決め、活動、自治会の子ども会、お祭り、草刈りに影響が出ています。昔と比べて家族構成、ライフスタイルも変わってきているので、不公平だったりします。関市全体として調査をして、本当に何とかしてほしいです。	
・各地域に自治体の色んな役があります。特に自治会長など、大きな役は負担が大きく担い手がなくなってきました。高齢になっても何か役があてがわれたら、負担になりその自治会に居づらくなりそうです。そうやって自治会を脱退する人も多くなっています。若い世帯は自治会に入るのも嫌がります。	
・住んでいる所の高齢者が多くなり、この先自治会の運営や役ができるか不安です。	
・自治会の要望に対して早い対応を…。	
・自治体から市に向けて、お願い形式で地区における問題を提出していますが、結果については回答を受けてません。会員からの要求を提出していますので、自治会で回答しなければなりません。提出した内容について、市ではどのように取組むのか、何を基準に決定したかなどを回答していただきたい。お願いします。	
・地域委員会の活動で、こんなことがこんなに良くなった、次につながる活動になったという事例紹介を目にしたことがない。こんなに良い方針だとしてアピールすべき。もう一方で、地域自治会の活動への援助や今後のありように方針が必要では？弱体化、形骸化の方向では？	
・地域の連携を重視すべき。そのためには自治会及び消防団の強化を推進してほしい。地域のために無償で活動する人達に支援をすべき。	
・古い体質を改善できない自治会活動を見直すよう、補助金を出している自治会には指導していただきたい（特に宗教が絡むような活動）。	
市民協働施策全般について	7
・支部社協でボランティアをしています。市からのお金が少なく活動を維持する事が大変です。又ボランティアをやりたがらない人が多く、民生委員、自治会長、支部役員等を決めるのも困難です。地域に任せる事も重要ですが、市からの支援を積極的に考えてほしい。	

・前は出会った人と話しやすいまちだった。コロナにより希薄化してしまった。ご近所同士が話しやすい場になっていると、困りごととも一人で考えずに生活しやすいと思う。声掛けをしてコミュニケーションを取りたい。
・世代交代も考え、交流センター活動に 60 代後半から 70 代の方達も参加してもらえよう、声掛けをして新しい内容で関市発展をしたらどうでしょう。
・年齢限定の地域活動があると参加しやすい。
・自発性が感じられない。関わっている方が見えてこないのは、その人たちが知人を巻き込んでいないからかな。
・市民活動　ときめき、きらめきなどの補助金があり、市民活動が応援していただきやすい土壌はあると感じています。しかし、その審査項目、審議の詳細は非公開であり、透明性があるかや市民がどのような活動をしているか知る機会がない。(どのような団体が何をしようとして申込をしているかなど。)
・地域委員会　役員が固定的で地域の中で新規の団体を立ち上げようにも、応援する理解がなかなか得られなかったです。地域の子育て世代のため、多世代の交流を望みましたが地域間の格差を感じます。(富野、西部、富岡、桜ヶ丘は柔軟そうな印象。)子育て世代は会議やイベントに出たくても高齢世代ほど自由に動くことはできません。しかし、地域の中で子どもたちを育てる大事な役割を果たしていると思っています。助け合いながら支えていただきたいです。

(12) 若者活躍	4
・若い人が勤める環境をつくってほしい。	
・大学や専門学校の誘致。	
・若者が定住したいと思うようなお店などの誘致をしてほしい。若者の雇用の場が市内で増えるよう、市外へ行かないよう、魅力あるまちづくりに期待したい。	
・若者の集まるまちにしてほしい。大型商業施設の誘致。大学誘致。本町のまち老朽化。	

(13) 過疎対策・地域振興	19
地域の活性化について	13
・ 広く色んなことを知らせて実施していると思います。旧郡部の過疎化スピードが緩やかになるとよいと思います。	
・ 本町の商店街の活性化。	
・ 本町通りの活性化。空き店舗が多い。	
・ ずっと関に住んでいますが、本町通りの寂しい様子に切ない気持ちになります。何とか活用してにぎやかにできるとよいなと思います。	
・ 人口減少と高齢化は、過疎地域は特に著しい。そのなかで若者が住みやすい環境。買い物、街までのルート、病院までの行きやすさを充実してほしい。	
・ 遊びやすい他の市の大きな公園へ行く人ばかりな印象。また温泉やたくさんの自然があるので、キャンプ場があれば、すごく流行ると思う。周辺全体のお店が盛り上がり活気づくと思う。	

・本町通り（商店街の再開発、新しい店のオープン、駐車場の整備）市役所の北側農地の開放、新しい工業団地必要、市外からの客やホテルはあるが、美味しい食事処がない。地元刃物屋のオーナーが金を出さない。お客を連れていける高級店、専門店がほしい。美味しいものはお金がかかる。当然な事。	
・友人が本町 BASE でたまにお店を出して行いくのですが、すごく良い施設だなと思います。善光寺の boozy brunch market も 2 回ほど行けましたが楽しめました。関市内で家から近い所で、色々食べたり見れたり嬉しいです。コーヒーが好きなので、コーヒー屋さんを呼んだコーヒーイベントもやってほしいです。（岐阜市ではあったみたいですが、行けませんでした）	
・関市といっても、市の中心部（都会）と周辺部（田舎）に二分できると思います。都会と田舎の交流を活性化する事により、市全体を活性化できるのではと思います。都会の人が田舎に出掛けて食事や宿泊した時に割引するとか。田舎の人が都会で買物したらプラス α を付けるとか？できるだけ市内で金を動かすようにする仕組みをつくる事。上記の（都会）（田舎）は関市内での区分です。	
・新しい施設ができて、人が集まる事は良い事だと思う。関の古い場所も活性化されるよう、地域の皆さんが笑顔で過ごせるまちづくり希望します。	
・市民の気質なのかわからないが、新しいもの（文化）が入ってこない。入ってきても行かなくなるのか、無くなっていく。個性のある店を支援してほしい。	
・皆さん関のまちはお好きな方が多いのに、なんかこう…活気がないなあと思います。	
・私たち 60 代はこの地区では少ないです。高齢化になり今の若い人たちは考えが変わり、田、畑、土地があっても後を継いでくれるとは限りません。子ども達（小中高）も少ないです。空き家が多いそうです。コロナ禍が多い中ですが、少しでも市の活性化があれば…と思っています。昔は良かった！じゃなく今も良いね！が良いです。	
地域の担い手について	6
・子どもたちが安心して暮らせるまちであってほしい。子どもたちが郷土の文化や優れた芸術を体験できる環境・機会を得てほしい。自然、郷土の資源をまなび、誇りに思える機会を得てほしい。子どもたちにとって恵まれた環境は、働き世代の親子の定住を促し、ロコミによる関市への移住も期待できる。様々な体験をして、郷土に誇りを持った子どもたちは将来、どこに住んでいても一人一人が関市の大使として PR してくれる。子育て環境が整った市には、子育て世代がやってくる。子育て世代が多くなれば、ターゲットとしたショップも増え、交通インフラの需要も高まると思います。	
・高齢者よりも、子どもが育てやすい、子どもが地元に残って働きたいと思えるような教育を、何より仕事場を作ってもらえるよう願います。医療についても、ある程度は年齢による線引きがあってもよいと思います。すべて平等にすることが本当の人権ではないと思います。未来へ繋がらない気がします。	
・若者が減っている。スーパーなどでもほとんどが高齢者で人がいない。	
・Uターン、Iターンする為の魅力がない。	
・特に過疎部では昔からの古い習わしが未だに変わらないために移住等やUターンを躊躇させている可能性がある。また社会全体の利益よりも個人の価値観や利益を優先するため開発が進まなかったり歪な開発となっている場合がある。何でも行政ではなく、ある程度は自己責任として個人で考えさせることも必要。（時には切り捨てまたは強制も必要。）	

・いつも市民のために取組んでいただきありがとうございます。どの世代にも、どんな立場の人でも安心して暮らせるまちになってほしいと思っています。個人的には、最近どんどん田んぼが潰され、住宅地になっていくのを見て、少し寂しく感じています。担い手がなくなっているのですね。
--

(14) 多様性社会（ダイバーシティ）	2
・自然豊かで水、空気がきれいで環境がよいまちだと思います。しかし市外在住の方、海外の方から少し閉鎖な側面があると言われることがあります。多様化に対応していけるまちづくりが進んでいくと良いかと思います。 ・保健センター、子育て施設、マスクの着用がないと入室できない、個室対応となる。など閉塞感があります。開かれた施設運営をお願いしたいです。誰しもの同じことが同じようにできる訳ではありません。LGBT などダイバーシティを掲げる関市なので、一律対応ではなく求めに応じて柔軟に対応していただきたいところです。やはり人は人を見ているので、職員さんの対応によっては市の魅力が半減してしまいます。市民の声を聞いてください。	

(15) 人権	—
—	

(16) 生涯学習	3
・「あいせき」が使いやすいです。図書館が充実していて利用しやすいです。 ・ふれあいセンターなどのイベントは、とても親しみやすく考えられており、行きたいなと思わせてくれて良いと思う。 ・勉強やスポーツに対する学習に特異性がない。	

(17) スポーツ	5
・百年公園にマラソン（駅伝）コースを早く整備してもらいたい。スポーツ実施率達成の為に。部活動の地域移行の為に、総合型クラブへの支援、育成をしっかりと行ってほしい。 ・最近、中池グラウンドに孫の陸上競技を応援に行きます。そのグラウンドが、公認記録会が開催できないとの話を孫達より聞きました。水壕があれば正式な記録会が開催でき、美濃地区のスポーツの発展を望みます。孫が市長さんとお会いした時に「お願いをした」と聞いてますが、「ノー」の返事で大変残念がっておりました。ぜひ実現を望みたいと思います。 ・中池テニスコートにハードコートを設置してほしいです（I・G コートがハードになると良い）。 ・すべての年代の方が楽しみ、元気をもらえるために、プロの野球チーム・サッカーチームがもっと関で試合をしてほしいです。河上薬品スタジアムの有効活用をお願いいたします。 ・今、全世界が盛り上がっているワールドカップ。サッカー以外で他のスポーツ選手がこの地方から出ていない。市に各施設をつくり、特定の人でなくもっと一般人が使用できるように。	

(18) 文化・芸術・歴史	—
—	

(19) 工業	2
・刃物産業で働く人への支援を拡大してほしい。地域と時代を支えた重要な産業であるとの認識だが、中小企業は低賃金かつ人出不足で、新しい人が入ってこない。若い人がこの業界で働きたいと思える環境づくりを、市からの支援で進めていただければと思う。	
・市の設備について。小規模会社の入り込む余地が少なく、利益が大きい所へ集中してしまいます。個人でも参加できるチャンスがほしいと切に願っています。たとえ 50 万、100 万の仕事でも加入者を指名してほしい。	

(20) 商業	21
プレミアム商品券について	7
・高齢化社会の中、電子商品券も進めている事が理解できません。関市民の皆さんが購入しやすい事、再度検討していただきたいと思います。40 代ですが電子商品券は利用しませんでした。	
・プレミアム商品券は紙媒体にしてほしい。電子マネーは高齢者には無理。不公平では？	
・電子マネーではなく、紙の「せきチケ」の方が買いやすく使いやすいです。今後、紙がよいです。	
・プレミアム電子商品券は知らなかった。何で紹介したのでしょうか。商品券の時は自宅に送られてきましたが、電子の時は何も送られてきませんでした。	
・せき pay よりせきチケの方が使用しやすかったのも、機会があればせきチケに戻してください。せき pay は使用する人もお店も限定的だと思いました。	
・せき pay も抽選というのが非常に不快です。物価上昇による支援ということだったのに、市民（希望者）に行き渡らない支援は意味が無いと思います。	
・せき pay のような、スマホを持ち使いこなせる人にしか利用できないサービスは無くしてほしい。不公平感が増します。高齢者でも簡単にできるサービスをしてください。	
商業施設について	14
・本町ベースの前をよく通るのですが、(車で) なぜか入りにくい。中で今日は何やっているかわからない。顔見知り、知り合い同士だけで集まっているように見え、一見さんは入りにくい。たこ焼きが美味しいよと聞いたが、それもたこ焼き店の知り合いの方だった。こんな一部の方しか使用しない、しにくいのは考えた方がよいと思う。	
・本町 BASE が期間限定で、いずれ取り壊される聞いたのですが、せっかくなのでそのまま続けてほしい。	
・業務スーパーやアウトレットモールなどの大型の店舗があるとよい。	
・大型ショッピングモールをつくってほしいです。関市内ではマーゴくらいで、各務原のイオンなどは遠く、時間がかかるし、交通費もかかります。なので、学生(お年寄りや、子連れの方も)にとって不便な部分もあります。ネットショッピングでもいいのですが、届くまでに時間がかかるし、実物を見ることが出来ないの…。マーゴ内のお店は数が少ないので、欲しいものを買うには物足りない部分があります。	
・マーゴ以上の娯楽施設をつくってほしい。	
・市役所に行ったついでに寄れる百貨店・スーパーがあると本当によいと思う。例えば、関市中濃公設市場などでもよい。この先老人が増えると、車での買い物が不便になると思うので。	

・関市は他の所に比べ、まさに商業施設などあまりなく楽しくないです。遊びに行くのによそに行く！と、関は通り過ぎられているような気がします。子どものいる世帯ばかり優遇され、高齢者世帯（年金者）が虐げられる今。みんなが楽しく暮らせるまちにしてください。
・関市の魅力を高め、集客力を向上させるために、刃物会館付近に様々な飲食店を誘致してほしいです。
・世の中糖尿病の方が多い中、図書館の横の食事処等、糖質 Off 食、他等あったら良いなあと思います。色んな所にそういったコーナーあると良いです。又色んなメニューも多いと良いかなあ。
・道の駅らしい販売所があるとよいと思う（関テラス・旧刃物会館の場所に）。
・移動販売
・購入できるものは地元で購入する（入札など）。本町をもう一度復活させてほしい。
・コロナで外食個人店、卸が苦しい。
・他の市よりもカフェ、パン屋、チェーン店などが少なすぎる。

(21) 経済・雇用	5
・ 刃物のまちをうたうなら、地場産業に地元の若者、県内の人々が就労したくなるような支援をするべきではないでしょうか。	
・ 企業の賃上げ！！	
・ 大企業誘致と、雇用と人口増加（10 万人以上）。	
・ 大学で名古屋などに行ってその都市で就職して、若者が市外に出てしまうと思うので、雇用してくれる企業があるといいと思います。	
・ ビジネスサポートセンターについて、所長を定期的に入れ替えるべきだと思います。または専門分野をもうけ、それぞれのプロを選べるシステムなど…。アドバイス内容が偏っていたりと満足感が高くなかったです。経営も答えが一つということではなく視点の提供だと思うので、様々な方が入る事でビジネスをサポートできるのではないのでしょうか？また市民活動助成金はビジネスではないのに、ビジネスサポートセンターの方が審査業務に携わるのはなぜでしょうか？それも印象に残りました。	

(22) 観光	13
・せきてらすは、イベントの時以外は面白みがない。喫茶店感覚で遊びに行きやすい場所であってほしかった。道の駅のような、何かもっといつ行っても楽しめるものがあると良かった。	
・せきてらすのモニュメントは、八木アンテナが折れ曲がったデザインで、台風や災害が来た時に市民が大けがをする恐れがあり、早めに安全な形に変更して下さい。	
・ここ数年で、関市民が憩うことができる場所、関市の良さに触れられる場所(せきてらす、本町ベース)が増えたことで自分も関市の魅力を知る機会が増えた。今年の春に長女を出産したばかりなので、訪れたい！寄ってみよう！と思える場があるのは本当にありがたい。	
・道の駅平成の女子トイレを全て洋式にして下さい。	
・関市で行事がある場合、駐車場を増やす必要があると思います。刃物まつりの時など車がまったく動けず、岐阜から来た人などに不評でした。	

・刃物まつりが本年制限もゆるく、久しぶりに行きました。2日目に行きましたが、本町通りがたくさんの人で賑わい、久々に活気が戻って良かったと思います。まだまだコロナ禍で終わりの見えない中大変かと思われませんが、活気あるイベントが少しずつ増えていく事を願っています。
・観光に関することはやりっぱなしばかりだと思う。作ったゲームアプリは不具合の更新が無いし、作ったドラマも作って公開して、その後は？効果は？企画して作って、その後どうなったのか。そこまで公表されていないので、無駄にしか見えない。新しいことを始めるばかりなのもかなり不満です。
・観光地としての魅力がありません。犬山城下の町並みはすごく魅力的です。何度でも行きたいと思います。ああいった食べ歩きができるようにすると、観光客が増えて税収も増えるのではないかと思います。個人的にも、ああいう所があると出掛けたくります。是非ともお願いします。
・いつもありがとうございます。本町通りが昔のように賑わってくれるといいと思う。高山や犬山のような訪れた観光客にとって魅力的な通りにできるような、まちおこしが必要ではないかと思います。
・海外に対して更にアピールできるようにすれば、観光業などの収益が増え地域の活性化に繋がり、関市の伝統文化の職人の人材不足も解消できると思います。
・関地域とその他の地域の差が大きい。関市の魅力や売りをアピール出来ていない。特に山間部の魅力が発信されていないため、ただの田舎で観光資源としても活用されていない。観光も産業もポテンシャルはあるのにアピールが下手で活用できてない。
・関市ならではの魅力あるまちおこし。特産物、体験、外部へのPRなどに期待しています。
・関市に転居して、こちらには多くの神社・仏閣があるのに驚きました。散歩の途中「ん！ここは京都！？」と思うような風景があり、まちづくりに何かできるのではと思いました。

(23) 農業	5
・農地の管理を希望により、個人から行政に変更あるいは行政の農地買い取りの実施（希望により）→太陽光発電への利用。農地の規制緩和（農地法の廃止）。	
・保有中の農地について。後継ぎがいらないため、年金で迷惑をかけないように草刈り、燃やすなどを続けていますがむなしいです。燃やすのも白い目を感じます。	
・野放しになっている田畑がある。関市へ連絡したが全く改善されていない。	
・関市で不耕作地がたくさんありますが、非常にもったいないと思います。子ども時代、祖父母作の野菜・米を食し、幸せな心豊かな生活の思い出がある私 58 歳としましては、何もお金儲けだけが生活の糧ではないと思います。幼い時から、農業体験がもっとたくさん当たり前にできると良いです。	
・これから、大変な日々が続きます。生活上、今一番大変な物価が気になります。関市は水のきれいな町でもあるので、もう少し農家の繋がりを強くして野菜などの仕入れなど、できるだけ提供できることを望みます。	

(24) 林業	—
—	

(25) 防災・減災・消防	10
・ 自然災害が他の地域より極めて少ない。	
・ 災害が発生し、個人の土地の木が倒れ復旧作業ができない時、市長の権限でその木を切り、復旧作業ができるようにしてほしい。個人の所なのでできないという事のない事を願います。	
・ 災害時の復旧工事及び対策の現状？道具立て（重機の有無）。	
・ 関市の避難場所に行くのに遠いし、より危ない。土砂崩れ、水害で行く事ができないと思う。関市内だけでなく、他地域にも力を入れてほしい。	
・ 大災害が起きた時、各自治体の小さな公民館に避難所収容人数の3～5倍の人が避難してきたら、役所はどう対応する。	
・ 関市に大雨洪水警報や大雪警報が発令されたときに、明らかにその対象が板取地域方面であり、関地域には雨すら降っていなくても、関市全域の小中学校が休みになるのが納得いかない。地域ごとに分けて、学校の休みを柔軟に変更してほしい。	
・ 2030年代に南海トラフ地震が想定されています。現段階での被害想定は、6,000万人の被災者が出るという事です。直接関市に津波が来ることはありませんが、大きな揺れによる倒壊家屋はあると思われます。出来るだけ市民の被災を減らすべく耐震化を進めてほしいのと多くの被災者を受け入れる事ができるように、準備を進めておくべきです。被害は静岡県から宮崎県と被災地域も広く自衛隊や消防等だけでは対応はできず、日本全体がパニック状態になるでしょう。津波被害の無い関市は、その時に何が出来るのか市民も交えて考えておくべき課題だと思います。	
・ 形式的な行いに市民を参加させない。（ただ人数集めの防災訓練、役員がたまに交差点に立つ交通安全…）防災購入券を配り購入しやすくする。防災手順書を定期的に配る。形式的で、役にもあまり立たない市民負担をなくし、市民に本気である関市を。	
・ 関市はコロナ禍中の対応、介護の事に対しても、市政のできる事で対応して下さっているもので、ありがたく思っています。私は武芸川に住んでおり、武芸川支所へ時々伺いますが、とても親切な対応をして下さいます。年々少子化が進んでおり、消防団の加入が少なくなり、今の団員の方が色んな役職を何年も続けてやっています。もう少し簡素化し、こちらの地区での生活が楽しくなると良いです。消防団の事で、前は車の免許を持っていれば、消防団の消防車を運転する事ができましたが、今の普通免許では中型を取らないと、消防車を運転する事ができません。今後消防団に入っても、消防車を運転できない人が増えてきますが、どう対応してもらえるのでしょうか？消防団に入ったら、中型の免許を取る補助金等は検討してもらえないでしょうか。	
・ 仕事があるのに消防団員なんてできません。強制入団はまったく理解できません。何年も団員やって最後に現金まで支払わせる！異常では。	

(26) 交通安全・防犯対策	11
・ 通学路のガードレールが設置され、とてもありがたいです。大きなトラックなど通るすぐ側を通学していて、とても気になっていました。	
・ 交通量が多い道は右に曲がるのが難しいので、信号機を付けてほしい。堤防道は自転車、人のみにしてほしい。	
・ 各区長の要望（交通標識、カーブミラー等）早く実行してほしい。事故があってからでは遅い。	

・子どもや高齢者が危ない、事故が起こってからでは遅いので早急に対応してほしい。
・市道への不法駐車（特に夜間から明け方）の撤去、広い道路から入り込んだ路地道では交通事故の危険度が高いです。
・関に住むようになって、車の運転について。信号無視、特にウインカーを出さない人、急に出して曲がる人が多くてびっくりしています。もっとしっかり取り締まるか、指導をお願いします。すごく危険を感じています。警察に連絡しようと思っていました。
・寿町交差点信号にて、車による信号無視、歩行者による信号無視。事故も多発していて、危険地域を何とか改善していただきたいです。その交差点で警察が取り締まりをしています。違反者をサイレンを鳴らして追っていきませんが、近くの家の方はサイレンの音が大きすぎるので驚いてしまいます。行政の方から警察に相談していただきたいです。
・ゲンキー前の横断歩道にボタン式の信号を付けてほしい。モネの池や、夏場など県外の車の往来も多く、9割の車が停まらない。横断歩道の横で5分程、車が途切れるのを待つ事も！なのでお年寄りの方などは、横断歩道じゃない所を車が途切れたタイミングを見計らって渡っている。
・街灯が少ないので設置を増やしてほしい。
・最近、小学生の通学路にボランティアのような方達が旗を持って立っていらっしゃって、将来子どもを小学校に通わせる身としてはとても嬉しく思っています。まだまだ関市でも事故が多いので、将来子どもを通わせる親の立場として、交通設備に力を入れて頂けることはとてもありがたいです。
・金竜小学校区です。地域の子どもの数が少なくなって、この先登校班の維持が難しくなってきました。自分で対処できない低学年の子がひとりで炎天下を歩いて帰ってくることに不安を感じますし、近頃は防犯面でも不安があります。スクールバス導入は初期経費がかかると思うので、通学時間帯に学校を回るルートに既存のシティバスを運用するなど、できないものでしょうか。検討をお願いしたいです。

(27) 循環型社会	13
ごみの不法投棄について	3
・車を運転していると、ごみがたくさん道路端に捨ててあってとても不快です。施設をつくる事やイベントを行う等も大切かもしれませんが、まずは市役所の人々と小中学生などが、合同でごみ拾いを行ってほしいです。小さな事にも目を向ける事が、良い地域づくりの第一歩だと思います。市役所の方は市民のお手本になるような行いをして下さい。	
・まだまだまちにごみが多いです。ごみ0に参加はしますが、市民のみんなできれいなまちになるよう、ごみを捨てる人がいないまちを目指したいです。	
・歩いていると、とにかくゴミのポイ捨てが多い。大人が捨てているタバコのポイ捨て、何とかありませんか。	
ごみ袋、ごみの回収について	6
・ごみ袋ですが 50 円するので、もう少し厚い袋にさせていただくとありがたいです。	
・関市のごみ袋が高すぎて家計の負担になる。	
・ごみ袋代が高すぎる。	
・ごみの回収を、夏場は週 3 回あるとよい。	

・関市民がクリーンセンターを届出制で活用できることが大変良いことだと思います。これから個人の物品を処分することが多くあり、希望が持てます。	
・ごみの収集場所は町内会の管理している場所になっているので、町内会に加入していない市民はごみ収集場所にごみを持っていきません。町内会に加入していない市民のためのごみ収集場所を設けてほしいと思います。ごみの収集の件があるため、仕方なく町内会に加入している市民も存在していると思います。町内会は任意団体なので町内会に加入するかどうかは本来自由なはずだと思います。しかし、関市がごみ収集場所を町内会の管理にしているため、クリーンプラザ中濃までごみを持って行けなければ、町内会に加入せざるを得なくなってしまうと思います。関市は市民を町内会に強制的に加入させたいのでしょうか。任意団体である町内会に強制的に加入させようとするのはおかしいことですが、現在関市ではそのおかしいことが行われている訳です。それを是正するためには、町内会に加入していない市民のためのごみ収集場所を設けるべきだと思います。	
リサイクルについて	4
・コロナ禍で学校での回収もない、雑誌新聞と段ボールのリサイクルに年寄りも困る。小学校まで持っていく。年末蛍光灯を変えたいのですが、クリーンプラザまで捨てに行けないので、一年に一度で良いから出す日を作ってほしい。（電池も）	
・資源ごみの回収を月1回よりも多くしてほしい。	
・ごみの問題。名古屋のようにプラごみの袋を用意して分別できるようにしていった方がよいと思う。カンやビンの回収の日も増やしてほしい。	
・環境問題も大切に考えてもらいたい。プラもリサイクルできるようになるとテレビで見ました。分別もできるようになるとよいと思った。	

(28) 環境保全	12
野焼きについて	5
・野焼き、朝昼晩一日中煙、匂い大変です。家の空気の入替えもできない！洗濯物を外に干せない！消防呼んだ方がよいの？何とかして！	
・何を燃やしているかわからないが、洗濯物に匂いがついて困ってます。	
・家庭ごみを自宅の庭で燃やしている人をよく見かけます。条例で禁止されているはずですが、禁止されているとわかっていても、そのような行為を平気で続ける人は残念ながらいます。不適切な処理はダイオキシンなどの有害物質の発生に繋がります。公害防止のためにも啓発活動に留まらず、より踏み込んだ対応が必要だと感じます。	
・野焼き「家庭のビニールごみ等」を近くの畑でしてみえる方がみえます。こういった行為は取り締まっていただけるとありがたいです。よろしくお願い致します。	
・資源ごみ、燃えるごみ、燃えないごみの日が設定されているにも関わらず、令和の時代になっても、自宅の敷地内で燃やす人がいる。トラブルになりたくないので指摘はしません。	
害獣対策について	4
・町内で猫の野放しが多発しています。猫の飼い主に対して罰則の規定をもっと厳しくして下さい。住民が迷惑をかけています。	
・特定外来生物の駆除を。(川、側溝、田んぼ、池) アカミミガメ、ブルーギル、ブラックバス、ザリガニ、ライギョ、カピパラ、ヌートリア、ハクビシン。※駆除参加者、協力者には（個人でも）市のポイント付与か商品券を！	

・老後の生きがいとして家庭菜園を楽しんでいるが、猿による農作物被害に遭い、いつも悲しくなっている。電柵による猿対策はもはや役に立っていないので、猿の駆除に今すぐ取組んでほしいと思います。	
・畑で野菜を作っているが、サルに食べられて困っている。サルが年々多く出てくる。皆さんも困っていて何とかならないか。	
生活環境について	3
・カーボンニュートラル。我が家の近くのアパートには、自動車のアイドリングを出かける時、帰った時に 20～30 分とエンジンをかけていて気にしています。	
・電気自動車の充電設備が少なすぎる。	
・環境整備も他地区より良い。	

(29) 医療保険	—
—	

(30) 都市計画・土地利用	8
・関市は面積が広く地域により特性があるため、まとめて同一政策は難しいかもしれません。社会の基本インフラを維持していくには面積が小さい方が効率的です。人口減少の中で、中濃の中核都市として関市が機能するためには、新しい発想による綿密な都市計画が期待されます。	
・ごみ集積場所について。道路脇にネットを設置している場所の他に、一般家庭や事業所の土地の一部を拝借（当人の好意により）している場所がありますが、そのような場合、市からの借地料（仮名称）等として、ある程度の礼金を払ってはどうかと思いますが…。	
・本町商店街の駐車場をもっとつくってほしい。本町もお店が増えてきて前より良くなったが、駐車場が少ないから利用しにくい。	
・本町通り周辺の駐車場をもう少し多くしてほしい。	
・本町に色々取組みがあるようですが、駐車スペースが無いので活用する気になれません。市役所、わかきさ周りがもっと充実すると便利で素敵だと思います。メディアコスモスのような図書館&カフェなどがあったら…。	
・本町通りに、昭和や大正ロマンを感じられるようなお店が、たくさんできると良いですね。メルカリのような、要らなくなった色んな種類の物（洋服、着物、瀬戸物、電化製品等々）を各専門店のように、空き店舗や空き家を利用して、古着のブティック、古着の呉服屋さん、家具屋さん、電機屋さん…どうかなあ？（修理店も…。）	
・（歩いて楽しいまち）車の通らない安全な通り、両脇には外カフェ等、異国にきたようなそんな通りがあったら面白い。チマチマやるのではなく、思い切ったまちづくりが必要だと思う。	
・広大な農地の一括活用（大規模農地）、住環境が良くない、道路が狭く通行しにくい、公園の活用がしにくい。	

(31) 住環境	7
合併して、板取地域のあじさいの手入れ、雪の除雪など色々な事が業者委託になり、手入れが行き届かなかったり、除雪が遅かったり…と、さびれてきたな…住みにくくなったなと感じる。高齢者の方は、もっと思っていると思う。何をやっても中途半端な行事や、決め事などなり、もっと良いアイディアなど考え出し合い、人を呼んだり、増やしたりする事を考えると良い。	
近隣住民の仲の悪さが目立つ。住宅が増えて住みにくさを感じる。約 30 年ぶりに帰ってきたが、色々不便（岐阜市芥見に在住だった）。市役所と警察署が近いのが便利。	
マンションが少ない。	
アパートの近くに養豚場があり、毎日匂うのがちょっと…。住み続けたいと思わない要因でもあります。	
関市は近隣の市町村に比べて電波放送の受信環境が悪すぎる。テレビ愛知が受信できない地域が多いため、希望する番組や情報を見られないことがある。また、自動車でのワンセグ放送が受信できない地域が多い。行政として市民の暮らし・住みやすさをサポートしていただきたい。	
都市ガスの工事は必要ですか？どのくらいガス代が安くなりますか。はっきり言って迷惑です。	
空き家のリフォームまたはリノベーションし、若い方々に値打ちに貸し出し、居住が長くあれば買い取りの推進。	

(32) 公共交通	43
交通政策について	23
車がなくても自由に行動できるまちづくり。	
公共交通機関が不便なので、停まる場所を増やしたりしてほしいです。	
公共交通機関を充実させてほしいです。	
県外から引っ越してきたが、車がないと生活ができないのがとても不便。	
公共交通機関の充実を早急に見直してください。	
公共交通を充実させるのと同時に、車で来た時の駐車場がなく、不便に感じます。	
公共交通機関が少なすぎる。子どもの教育場所の選択に大きく影響している。まちに商業施設もなく、関市でお金を使おうとは思えない。	
子どもが通学するのに手段が少ない、高い。高校や大学に行くのにとっても困る。	
この地域が人口減少しているので仕方ないと思いますが、施設やコンビニ、スーパーマーケットなどすべてに不便で、今は車を使用できるが将来に不安があります。	
高齢者の運転免許証返納はいいんですが、交通機関の充実が必要。関市では車が必需品だからです。	
今、同年齢の友達、仲間のうちで良く出る話題。車の運転がいつまでできるか。乗らなくなった時、交通機関が利用しづらい。郊外（中心部から少し離れた所でも）の住人は、車に頼らざるをえない。バスも一日数本、地元で走っている所を見た事が無いほど。（今は行けないが、セントレアに行った帰り、とても不便。鵜沼間を何とかしてほしい。）	

・免許を返納する年齢になってきた親世代が、車がなくても公共交通機関等で十分生活に困らないよう、利便性を高めてほしいです。将来安心して生活してもらいたい。	
・岐阜市への公共交通機関がなく、自分の家から近い場所に買物できる所もないので、自分が高齢になった時の生活に不安を感じる。	
・電車やバスをより充実させると良いと思います。私は、電車はあまり使いませんが、駅が家の近くにあたり、料金がもっと安いのであれば、利用しようと思えます。そうすれば、近くに十分な施設がなくても、あまり不便に感じることなく買い物なども出来ると思います。	
・長良川鉄道への積極参加。①美濃市を始め、関係市町村での密なる連携。②盆踊り、スキー等、特別列車の運行。	
・長良川鉄道やバスは本数が少なく、友達の中には1本逃したら、1時間待たなければならない人もいます。使う人数に応じた効率的なダイヤにしたいと思います。	
・近隣の市街都市起点への公共交通が皆無のため整備を希望。例) 長鉄関駅一名鉄新鵜沼駅、JR 鵜沼駅、JR 美濃太田駅	
・JRを通してほしい。	
・名古屋、岐阜への交通アクセスが良くない。	
・名古屋までの運賃が高い。せめて新鵜沼駅までのバスのルートをつくってほしい。車が無いと生活できない。	
・東京、大阪から来客があった時、先方は「岐阜羽島で降りて名鉄で新岐阜に行き、JR 岐阜駅から美濃太田へ行き、美濃太田から長良川鉄道で関まで行って、そこからバスで行けば良いですか?」と聞かれましたが、関市は岐阜市の隣なのに、これではお客に来て下さいとは言えませんね。車は事故の危険も多い。バスも同様に高速バスでなどとは言えませんね。	
・関市に住み始めて感じたことは、公共交通が不十分であることです。特に名古屋方面へ行く場合に不便を感じます。現状は、関シティターミナルから高速バスを利用するか、または長良川鉄道で美濃太田経由で鵜沼まで行き、名鉄を利用することになり、時間もお金もかかりますし、終電が早い時間帯という点も不便に感じます。数年前に名古屋へ出勤していたときは、やむを得ずマイカーで鵜沼駅へ行き、駅の駐車場を借りて名鉄で出勤していました。関市から鵜沼まで鉄道を通らせることは難しいと思いますので、例えば関シティターミナルから関市内の数ヶ所を経由して鵜沼駅まで行けるバスを運行いただければ大変便利になります。運行時間は、関からの始発 5:30、鵜沼からの終発 23:00 頃でよいと思います。名古屋への交通の便が良くなれば、関市に住みたいという人も増えるかと思います。ご検討いただければ幸いです。	
・中池公園の野球場が新しくなり、プロ野球の試合もできるようになった事で、近郊からの交通の便や、宿泊等の頻度も増えるので、もう少し行き来しやすくしてほしいと願います。そうした事で市の繁栄に繋がると思います。	
バスについて	20
・交通が不便。バスの本数、場所、車を運転しないのもっと充実させてほしいです。	
・バスを利用するにも、時間、使いにくさばかりで使えません。車を使用するしかない状況を、市はどう思っているのか分かりません。	
・バス停の間隔が広すぎです。住宅件数が増えているのに、バス停とバス停が、岐阜市内は小まめにバス停がありますが、歩いていくのに遅れてしまいます。毎日の事だから大変です。間隔がまめにある所、ない所の差があります。見直して下さい。	

・市内バスの見直し。板取などバスを走らせすぎ。要請があった時のみ走らせたら良い。税金の無駄。
・市内バス充実。
・巡回バスの走行本数を増やす。
・今は主人と私、車の運転ができるのですが、車に乗れない日が近づいております。近くで身の周りに必要なものが揃うように、バス、市内をいかにして動けるかを少しずつ調べています。
・近くにバス停がありません。高齢者が気軽に使用できるようなタクシー補助など、整備してほしい。
・高齢者がバスなど使いたくても、自宅からバス停が遠かったり、買った荷物を家まで運んだり、無理な事が関市中心部以外は多くて、外出するのができなくなってしまう。自宅から出かけた場所まで便利に行けるシステムを考えていただきたいです。
・東山バスの営業所から長峰台、東山四丁目まで歩いていますが、年寄りには足も弱い（痛い）ので、市のバスを回してもらえたらありがたいのですが。買物、病院、市役所、体操などに出かけしています。
・高齢化に伴い、免許返納も考えなければならないが、巡回バス（関市）を利用したくても、前日に電話予約が必要ではとても利用する気になれない。自家用車と免許が要る。桜台などの団地では、多分そういう思いの人が多く思う。抜本的な対策を望みたい。
・車に乗れなくなると、身内が近くにいないとタクシーかバスに頼るしかないし、バスも予約してからじゃないとダメだし、買物バスがこの団地に来てほしいです。
・住んでいる所はほとんどが70歳以上の夫婦のみが多いため、車の運転ができなくなったらシティバスのバス停が遠いため不安です。
・高齢者からは、病院へ行くのに不便だと話されている声を耳にします。乗り継ぎの悪さ、バス停から遠い治療所。必要とする所にバス停があることは、足の悪い老人の人々にとっては重要な問題だと思います。健康な人対象より、弱者の人に対して考えてほしいと思います。自分をその身に置いて考えてこそ、効果があるのではないのでしょうか。
・住みよい市だと思いますが、ただ関シティバス乗降駅など増加すれば、高齢者の利用率が多くなると思われます。
・交通の便が非常に悪いと思います。家からバス停までの距離が遠く、せっかくの循環バスも利用できません。高齢になり車の免許証の返納もなかなかできません。もっと細かくバス停を設けてほしいです。
・関ノ上には昔バス停があったかと思いますが今は無くなってしまい、お年寄りの方々が免許を返納された後などのことを考えられていないと感じます。
・武芸川地区に住んでいます。子どもが友人達とマーゴに遊びに行く事があります。バスがありません。途中までしかない。直通のバスがあると本当に助かるんですが…。バロー発、マーゴとかあると良い。ぜひご検討して頂きたいです。
・バス停に屋根等日差しや雨雪が凌げる場所がほしいです。
・バス停にイスがほしいです。高齢者を乗せて買物に回ってくれるバスがほしいです。

(33) 景観・公園	10
・じわじわと人が減って、マンパワーが足りなくなっている。草だらけの田畑や、手入れのされていない山がどんどん増えていき、景観が悪くなっている。	
・私の居住地(団地)の本通りにある街路樹の落ち葉対応が大変です。各自宅前については90%くらい各自で清掃しております。特に住宅地の街路樹の剪定には配慮を！	
・市役所の周りの草花など、定期的に掃除などしていただきたい。市民参加型での活動もよいかも。市内の公園、特に安桜山の公園や植樹など、始めは華やかに行っていても、維持管理が次の人に受け継がれていないような気がします。市民がやらなければならないのはよくわかっていますが、やりっぱなしの所が多いと思います。	
・中池散歩してます。あずま屋の前の雑草、木などで景色が悪く、早く伐採してほしい。関市の管轄ではないのですか？他の場所は常時、草刈り等やってもらいたいあります。	
・市街地に緑が少ない。	
・市内に緑の多い公園がほしいです。老人もホッとできるような、散歩したり花を見たりできるような場がほしいですが無理でしょうか。	
・安桜山に桜の木が少ないので、もっと植えてほしい。	
・公園の広場に健康遊具の設置をしてほしい。(各務原市民公園にあるようなもの)	
・「まちづくりに関するアンケート調査」のアンケートにも何度も書いていますが、一つの公園を大きく充実させるのではなくて、洞戸地域は長い土地なので、各地域に少しずつ遊具を置いてほしい。	
・谷口水辺公園の芝生の所をドッグランとして利用する人が多いのでやめてもらいたい(リード無しは危険が多すぎる)。	

(34) 道路・橋りょう	36
道路の整備について	25
・新しく道路が作られたりしたおかげで、南北の行き来が親にとっても、子どもの通学にとっても、とても楽になったと感じています。	
・道路整備が早いので、車の運転がしやすくなった。歩道と車道が整備されたのも良いですが、自転車も分けられていたのでとても良いと思いました。関市であまり買い物をしていないので、通いやすい施設があると買い物しようと思います。	
・関市内の南北に通じる道路が増えて、交通の流れは以前よりは良くなったと感じています。しかし関市西部、倉知地区には、南北の道路が少なく、道も狭い為、非常に通りにくく不便である。旧 R248 から、南の倉知方面に通じる道を拡幅していただくと、通勤に便利になるのではないかと。道幅は 50 年以上前と変わっていませんね。検討下さい。	
・市街地の道路整備をお願いします。	
・市役所中心に、東西南北の基幹道路の都市計画、R156 号への接続、中池公園への道路、上之保への道路改良、集落の中の車の流れ、消防車の活動を考え道路の改良、都市計画により表示により、5～25 年改築に際し、道路敷を確保して改良していく。(各務原は杣が打ち込んである。)	
・道路が 1 車線のため、通勤・帰宅時に渋滞する(交差点での 2 車線化、常時右・左折など)。	

・他地域への交流のための一般の交通道路が貧弱である。なにゆえ「関・江南線」のみなのか？	
・道路のアクセスが非常に悪い。	
・細い道路の交通量が多いが、道路等のハード面の整備が進んでない。	
・①自宅の駐車場が空いている場合、道路が狭いのですれ違いに使用をされる場合があります！②自宅前の道路が幅が少なく、子どもさんが通学されるのにとっても危険で、自治会としても途中までの工事で終了するのではなく、現在は市税納税世帯も多くなりましたので、電話通りきちっと、法面整備の道路の実行をお願いします。（予算がないとの説明も理解します。）	
・私は R248 を利用して通勤していますが、栄町 4 丁目以降小屋名までの道路がかなり傷んでいます。一部修復してもらいましたが、まだ一部傷んでいます。すべてきれいにしてもらいたいです。雨が降ると湖みたいになります。	
・3 年前に土木課に、元新関駅跡の名鉄タクシー横の自販機前にある大きな水たまりを修繕してくださいと要請し了解を貰いましたが、3 年が過ぎようとしております。こういう問題はすぐに解決できないもののでしょうか？	
・道路がガタガタになっている所があるので、直してほしいです。	
・町内の道路の補修をしてほしい。（星ヶ丘）	
・新型コロナウイルス感染対策で多額の財政支出があり致し方ないかと思いますが、道路の修理、清掃が以前に比べ不十分かと思います。	
・道路舗装の劣化が多い。列車通過後、一ツ山信号の運用に問題がある。最大で 5 分ほど待たないと進めない。	
・白水の滝へ行く道を直してほしいです。観光の為にもお願いします。モネの池に遠くから来られた方が白水の滝に行かれますが、橋が整備されていなく、道も荒れ放題でとても危ないと思います。お願いですので私の意見を聞き入れて道を直して下さい。	
・市道の整備、谷川に設置してある橋欄干の整備が必要である。安全面に欠けている。	
・道路の舗装が傷んでいる所を直してほしい。	
・状態の悪い道の補修をしてほしいです。	
・マーゴ近くの細い橋、何とかしてほしい、広くするか。外人が釣りをしています。かなり危ないです。	
・歩道の確保（特に通学路。自転車を含む）。カーブミラーの設置。関市中心部と、それ以外の所の整備状況の差。必要以上に長い赤信号。子ども～高齢者まで、どの世代にも優しい関市であってほしい。	
・学生・老人が安心して道を歩けるように、歩道の整備をしてほしい。歩道に樹木があるため道幅が狭くすれ違えない。歩道の役をしていない。	
・通学通りの整備。ガードレール、歩道を広くしてください。	
・車での運転中、市役所の入り口がわかり難いと思われます。標識（案内板）があればと思います。	
道路の管理について	11
・道路にはみ出す草木。子どもの背より高い草木は、持ち主に切ってもらいたいといつも思います。見通しが悪い交差点、端に寄りにくい道があります。ルールがあると良いですね。	

・一般道路、通学路（歩道）など、雑草の整備が悪く汚い！環境美化としてもう少し予算を出し、他市他県の模範になるまちづくりを望む。ボランティアで草刈りをしている方が地域にはたくさんいる、もう少しそういう方と連携すれば美しいまちになるのでは。
・今年は特に草の成長が盛んで、除草作業が追い付かなかった？子どもたちの通学路はもちろんのこと、主要道路脇の雑草が伸びたまま放置されていたと思います。計画の上、定期的に除草作業をしてほしいです。
・街路樹の落ち葉が清掃されず、玄関などに溜まる（例：平成通り）。
・側溝や、ため池の掃除をしてほしい。草がいっぱい。
・もっと住環境への整備・保全に力を入れてほしい（道路沿いの雑草や河川沿いの雑草、公園の雑草処理など）。
・高齢化で道路・堤防などの草が伸び放題になるのが気がかり。
・道路の白線が分かりづらい所が多い気がする。危ないよ。昔から住んでいる人は分かるかも知れないけど、はっきりしてる白線にしてほしい。あと脇道に入る道が分かりづらくて、いきなり車が出てきたりびっくりしてしまう。
・白線が消えている場所が多い。
・道路のラインが消えてるのが気になります。
・市役所横の背の高いモニュメント、倒れそうでなんだか怖い気がします。

(35) 治山・治水	1
・川がとてもきれいで自然豊かな所だと思います。このまま維持する事ができれば良いなと思います。	

(36) 上水道	4
・水道料金の基本料の免除はありますか。	
・上下水道の充実。	
・以前、自宅の水道が日曜日に水漏れした為、広報に載っている水道当番に TEL しましたが、用事があるのでとか、別の仕事があるので行けませんかと断られました。地域ごとに担当の会社が割り当てられていますが、どの地域の会社の方も来てくれませんでした。水道当番とは、一般家庭向きの制度ではないのでしょうか？	
・夏場だからなのか朝の水道水が臭い。顔を洗うと、かび？のような匂いが顔についた時がある。	

(37) 下水道	1
・下水の利用は無料なのでしょうか。岐阜市西郷地区は下水道との兼ね合いでメーターが付けられて、お金を支払われています。	

(38) 移住定住	1
・関市にもっと多くの人が住めるように考えてほしい。若者たちも来てほしい。市は高い未来を見て、まちづくりをしてほしい。	

(39) 広報・シティプロモーション	36
魅力発信・PRについて	16
・関市がもっと日本全国に知れ渡ると良いなと思っています。県外からも魅力を感じて遊びに来て下さる方がどんどん増えたら嬉しいですね。本町通りも少しずつ活気を取り戻している気がしますし、これからは魅力的な街づくりを楽しみにしています。	
・関市に生まれてずっと住み続けていますが、知らない取組などたくさんありました。これからは、自分の生まれ育った地域を子どもたちにも住みやすいと感じてもらうためにも、少しずついろいろなところに興味をもたなくてはとも感じました。	
・全国から注目される自治体となるには、無難な広報ではなく、批判を恐れずユニーク大胆な方法でアピールしていくべきだと思う。	
・程よく自然が豊かで、関市の町中は比較的利便性が良いのでとても住みやすいと感じております。しかし洞戸や板取の方はまだまだ不便だと思います。関市には魅力ある物や場所がたくさんあると思うので、上手に発信していき、もっとアピールして市の活性化に繋がれば良いと思います。	
・関市のいいところをもっと幅広く伝えたらいいなと思っています。市で開催するイベントももっと増やして、家族で休日を楽しみたいです。	
・生活環境に配慮した取組については、行政からのPRをもっと事例を上げて、市民一人一人の自覚と理解を深めるべきだ。「ゼロカーボンシティ宣言」「地球温暖化対策」「防災対策」についても、PR不足だと思います。もっと市民への意識付けが必要ではないか。	
・市のPRが下手すぎです。道の作り方を含め、他の市を見直してほしいです。	
・関市全体の盛り上がりになっていない。	
・国道156号線で、岐阜芥見を過ぎた関市山田地内（関市に入る所）に、大きな看板でも立てて関市をアピールしてはどうか？	
・市民に市政への関心を持ってもらう事が大切だと思います。そのためにアンケートは有効な手段ですが、合わせて資料提供してはどうかと思います。あるいはスマホアクセスでポイント付与する等の、インセンティブ付webアンケートも、一考の余地があると思います。	
・関市が色々な施策に取り組んでいる事を、知らない事が多かったと感じます。広報等なるべく読むようにしていますが、圧倒的に情報の説明不足を感じます。広く多くの人に分かりやすい周知される場、機会等ありますと良いと感じます。これからの子ども達にとってより良い関市であってほしいです。	
・魅力を増やす努力をして下さい。関市の魅力をほぼ刃物だけで、満足しきっている態度が傲慢だと感じる。	
・刃物の町を、何かとのコラボなどもっと前面に出していけるとよい。	
・刃物のまちと言われても、駅はと言われても、まちなどと言われてもバラバラ。	
・「刃物のまち」と言いながら、関係者以外は関心が少ない。	
・はもみんの耳部分がゆるキャラとしては怖い。近付けるゆるキャラにして。	
広報紙（放送）について	12
・広報誌を見てない事もあるなあ…と反省しました。子育て支援の良い関市を期待します。	
・アパート暮らしですが広報の配布がありません。自治会未加入では配布されないのですか？	

・「広報せき」の水道当番について。休日にやむを得ず自宅の水道修理をお願いしたところ、電話もつながらない。出たとしても「用事があるっていけない、他の所へ電話してください」と言われ困ったことがありました。この当番とはいったい何のための当番なのでしょう？地区別に分けてまで載せる意味はあるのですか？そこに住む住人のためのものでなければ「広報せき」に載せる必要はありません。	
・せきチケの取り組みは有難かったです。また対応も早かったです。広報に載っている「市長のしあわせコラム」は楽しみに読んでいます。直接お話した事はないですが、市長さんの思い、考え方、人となりを感じられ、身近な人に感じられます。これからも続けて下さいね。	
・広報せきは、あまり見ない人が多いと聞く。経費の無駄遣いと思うので、発行回数をもっと少なくしてはどうか？3か月に1回位にしては。	
・関市広報が見つらい。ページ数が多く年配者に不評。大切なお知らせを分かりやすく、紙の無駄使い。）	
・市広報誌について。字が小さくて読みづらい。60代～色んな人に尋ねましたが、皆が言いました。若い人だけなら良いかもしれませんが、老人も読んでいることをお忘れなく。	
・いつも思っている事です「広報せき」のアナウンスの声が聞き取りにくい。もっと大きくアナウンスしてほしいです。	
・関広報で、スピーカーからの音が車の騒音だったり家の中にいると聴こえづらく、内容がわからないことがある。昔のwebではパソコンから確認できたのに、今はわからない。せっかくの情報なのに、今日はどんな放送がされたかわからない（知るすべがない）。	
・関ノ上に住んでいますが、広報が聞きづらく何を言っているか全然わかりません。スピーカーを付けるにもお金が高く付きますし、どうにかして頂きたいです。	
・アンケートの結果等はホームページだけでなく、広報等紙面でも公表すべき。	
・結果については、ホームページの他に関の広報にも。（パソコン等ができない人もいます。）	
その他の広報媒体について	6
・尾関市長のブログを毎日読んでいます。市の事を早く知れるので役に立っています。今後も続けて下さい。	
・関市非公認のインスタグラムなどよく参考にしています。尾関市長になってから関市がパツと明るくなったような気がして嬉しいです。タイムリーで迅速な対応にいつも感謝しています。	
・気になる事をどこに伝えれば良いのか分からない。もっと簡単に質問できたりどの年代にも分かりやすい場所やサイトを作してほしい。	
・コロナにかかった時、市で行っているサポートが何があるのか分からず、結局自宅療養するしかなく、家族も居るので困りました。もっとHPを有効活用してほしいです。引っ越しして来たばかりの人に分かりにくいと思いました。	
・ホームページの例規で題名が重複掲載されている。また、要綱の「この告示」は「この要綱」であるべき。町名設定の「〇〇△丁目」のうち、△丁目は算用数字を使用しない（〇〇町△丁目は、算用・漢数字どちらでもよい）。	
・「関市安心メール」に市民総員が加入すべきです。	
ふるさと納税について	2
・ふるさと納税は止めるべきだと思う。地方自治や地方財政の制度を歪めている。	

・ふるさと納税。効果的かつ先進的な取り組みで多額の税収入をいただいています。大変ありがたく感じます。ぜひ、それを教育、環境へ投資していただきたいです。子どもたちへ使うことは、未来への投資です。環境も私たちが受け取り、享受したものをできるだけそのまま渡してあげたいです。
--

(40) 財政運営	14
・健全な財政運営をしてほしい。常に費用対効果を気にしてほしい。他の市が実施しているからと、同じことをしなくてもよい。	
・とにかく税金、保険が高すぎる！市職員の減給を！	
・ガス代、水道代高すぎる。保険料各種高すぎる。（健康保険、国民健康保険、介護保険、雇用保険、厚生年金、国民年金）保険料高すぎる。	
・税金が高い。	
・税金が適切に使われているかが気になります。	
・都市計画税は廃止にしたらどうですか。	
・都市計画税賦課と農振農用地の見直し。	
・防災、消防にもっと財政を使うべきだと思う。	
・年金だけの生活だから、年金を減らさないでほしい。	
・給付金などの対応が遅い。非課税世帯にしか入らない。共働きしていても、生活は苦しい。共働きほど、お金の支出が多い（税金など）。子育ては非課税も非課税じゃなくても、みんな一緒。シングル、非課税ばかりで共働きしているのが馬鹿らしくなる。関市は、給付金も何もかもすべてが遅いと思います。	
・コロナで大変な時期なので、もう少し市としての支援をしてほしい。	
・文化会館の前のイルミネーションは工事代金、電気代金等、無駄な税金の出費です。思い切ってやめて下さい。節電対策になります。	
・無駄な公共施設が多い。（関テラス）関テラスを作らなくても十分すぎる活用できる施設があるのになぜ作ったのか不明。無駄なバラまきが多い。関チケットや関ペイ。支援と言いつつ市長の点数稼ぎでしかないと思う。普通に生活できる家庭に配る必要はないと思う。	
・何年か前に富岡保育所耐震工事をしたのですが、今度は老朽化による建て替えみたいですが、何故前回の耐震工事の際に建て替えを検討しなかったのか。少なからず税金が投入されますよね？無駄使いだと思いませんか？独身者は税金がどんどん上がるばかりで、何の補助も保証もなく金銭的にかなりつらい。片親家族、独居老人の方達と同じで、生活も決して楽ではない。もっと良い税金の使い方をしてほしいです。	

(41)行政運営	44
行政運営について	8
・ 関市外に通勤・通学している住民も多いと思います。施策はその人達の事情も考慮したものにしていただきたい。市内から出たことのない住民の言い分に偏らないように、誰もが住みやすい町になっていくとよい。	
・ 郊外地域に光を当てた施策を充実させて頂けたら嬉しいです。	

・スマホに頼り過ぎない、何か良い方法を考えてほしい。もちろん使用はしているが依存はしたくないから。	
・ふれあいまちづくり協議会と社協の支部、スポーツクラブ等との連携が不十分のように思います。協議会が先頭になり、もっと連携が取れるようにしたら良いと思う。	
・子どもから年配の老人にまで住み良い関市にしてもらいたいです。この三年間コロナで大変な思いをしているのは、子育て世代だけではなくありません。せきチケ等子育ての人には支援等があり、若い人や年配の人達には、あまり支援がないと思いました。今回のプレミアム電子商品券は、スマホをできる人しか買えないです。	
・市長はお忙しいので、無理なのはわかっていますが。市長の思いを気軽に直接伝えることができる機会を持っていただきたい。途中で〇〇課が遮る事がなく！	
・関市に限った話ではありませんが、既存の組織(特に自治会)を頼りにした市政運営が厳しくなっていると感じています。(加入率・特定の方だけが頑張っている等。)いずれは、自治会を頼りにしなくても維持できる市政運営や、自治会に代わる組織を模索していかなければならない時代が来るかもしれないと思います。また、既存の組織・団体でも似通った組織や会議が多く、その役員選出等で苦慮しているところが多々ありますので、大変だと思いますが、今後の少子高齢化を見据え、統廃合が必要な部分にもしっかりと手をつけていく必要があると思います。	
・新しい取り組みに対して行政のサポートが少ない。若い人が新しい取り組みや活動をしてても市を巻き込んだ流れとならない。高齢者へのサポートが多いのに子どもへのサポートが少ない。高齢者対策が、高齢者への行政サポートが主体で社会全体でサポートするシステムになっていないため、サポートするリソースの捻出が税頼みになっている。	
職員の育成について	22
・市職員の対応が、いつもすごく良くて嬉しいです。	
・日々の業務、ご苦労様です。窓口の対応、相談した場合は自信をもって回答してほしい。「～と思う」では、相談者は不安になります。お願いします。	
・職員教育を望みます。	
・女性職員の幹部登用は立派。しかし男女とも部長在職は３年以上とすべき。また、課長職の異動が早い。	
・市役所の職員の人が、もう少し親切さや丁寧さがあると市役所が利用しやすいし、窓口にも相談しに行きやすくなります。	
・市役所の人全員に言いたいことがいっぱいあります。特に行政の方。	
・今、職員の服が私服になったのですが、落ち着いた服が良いと思います。靴はヒールではなく、スニーカーが良いので。何かの時に走る事ができないのでは？市の職員として心構えが必要ではないか。トイレの電気が薄暗いのでは？	
・先日市役所に行きました。職員の人数が多いですね。私語が多いです。話ばかりしていました。私服ですね、スカート丈の長い人、短い人、靴の人、スリッパの人。一番感じたことはおしゃべりの多いこと。男性と女性、私の声に驚いていました。	
・窓口でこちらから挨拶をしても、返事もしない担当者がいます。まちづくりするなら当事者がしっかりして下さい。	
・市役所の対応が悪い。今まで以上に市民の意見を聞く。	

・市役所が夜遅くまで電気を付けているのが気になります。	
・市役所を訪問していつも思うけれど、職員の怠慢な態度に呆れる。	
・危機管理課が動かない、やる気がない。小学校の子ども達の為に頼みに行ったのに、連絡すらしてこない。(話にならない。)	
・「国保担当者」、保険料の納付額が違うと、そちらが作成した書類に対して確認せずの言動で、途中で社保に加入したというのを理解してもらえなくて、謝罪の言葉がなく、市民への誠意が感じられない。	
・市、県、議員は自分を（特に一番上でやっている人）押してくれる所は良くして、そうでない所は全くダメ。自治会もそう。区の役員も自分の周りはやるが、そうでない所はやらない。（最初から協力しているけどダメ。）	
・市役所の職員や学校の先生の中で、ちょっと使えないなという人を田舎に送っているように感じます。点数を付けてなど、あまりできない人は退職させるなどしてほしいです。公務員はある一定のレベルでないと色々困るので。	
・市会議員の定年制を希望。(70 歳)	
・関市長さんや市役所などの皆様は大変親切で良くしていただいている（一部除く）印象があり、ありがとうございます。個人的には、当方の勉強不足ですが市会議員の方々が何をしてみえるのかわかりません。	
・市長と議会の関係改善。	
・私達の市には 3 人の市会議員がおられますが、なかなか市に対しての事業を聞いてもらえません。市議は私達が住んでいる所の色んな話を聞き入れ、議会に行かれた時は意見をしてもraitたい。	
・議会について。子育て世代の議会傍聴がしやすいように開かれた議場をつくってください。僅かな子どもの声も発してはならないようなので、非常に行きづらく感じます。親子での傍聴室がないなら託児など、対応をお願いしたいところです。ネット配信で聞く事は勿論できますが、どのような市民が関心を持っているか議員さん、部課長、市長にも伝えたいところです。発議する人がマスクをして、喋らない方がマスクを着用するのはなぜですか？他市とは違う取組みのようで印象に残りました。	
・システム化、効率化が進み、手続きの簡素化や利便性が高まる一方で、時代や地域性を配慮しての市としての独自の取組みや愛着の醸成を促す市民目線の取組みが少なく感じます。何も感じず生活できている方は比較的満足度が高いのかもしれませんが、その一方で声を上げる場や、それを反映する仕組みはまだまだだと感じます。(まちづくり市民会議はごく一部の、会議に参加できる方だけの選民です。)一つの取組みで全てがカバーできることはないの、そのようなボトムアップの場の網を何重にも張り、困っている方の声をなるべく取りこぼさないようにお願いしたいです。職員さんはじめ現場の方の傾ける耳、気にかける心、広くつぶさに判じる目にかかっています。能動的に活躍できる現場職員の育成。それに伴い柔軟かくあたたかな人間性で市を盛り上げてくださることに期待したいと思います。	
アンケートについて	14
・役所へ行く用事もほとんどなく、学校、介護、福祉も関わりがありませんので、まちづくりの通信簿を付ける事は難しいと思いました。今後はもう少し丁寧に広報誌を読み込んで、関心を持ちたい。基本的に自分の生活は、自分の責任であると思っていますので、行政に望む事はあまりないと思っています。	

・ 関市の取り組みに関わっていないので、施策の満足度を表せない。
・ 「満足度」というものがありますが、満足だと感じるレベルまで足りないものを引き上げるという考え方と、今あるものに満足感を得られる価値観を見出すという考え方があります。前者は、人間のキリのない欲を思えば、ゴールは一体いつになるやら知れません。後者のような教育、問いかけも時には必要なのではないのでしょうか。
・ 3. 市の主な施策の「満足度」の基準が分かりづらいです。分からない事がたくさんありました。分からないから適当に記入した感じ。(これってやる意味あるの？って)自分の中で思うのと知らなすぎる事に恥ずかしいなと思っちゃいました。市街地の活動がマンネリ化してるように思います。関市にずっと住みたいと思えると良いな。
・ 問 12 に関しては、関わっていない項目がほとんどです。この為不明であり、選択のしようがありませんので、ご了承願います。やみくもに番号を選んでしまえば、正しい統計結果が得られない為、分からない項目については、あえて選択は差し控えさせていただきます(同じような考えを持つ方が多数いらっしゃるものと思います)。住み良いかどうかの間について、市街地と山間へき地とで異なる為答えづらいです。(日照時間、低温多湿等)
・ 複数の回答事項があったが、自分の生活と関わりがないものについては、判断しづらくほとんどの回答が3となった。
・ 質問内容が分かりにくい。例えば〇〇の場合は…、具体的に条文を言われても分かりにくい。
・ よくわからない質問が多すぎです。市民目線でのアンケートをお願いします。
・ このアンケートは私 79 歳の人間が書くべきではなかったかな。もっと若い方々に、これから関市担う人達に(30~60 歳)問うべきではないかな。私を書いてしまってゴメン。
・ 高齢者世帯なので、学校関係などわからないことがありました。
・ 自治会に入っていないため、色々なことはわからないのですみません。
・ このアンケートにもお金がかかるので、他の方法を考えてみてはどうでしょう。
・ アンケートは嫌いではありませんが、12 月の忙しい日々の中での回答は、関市の未来についてじっくり考えてできたとは思えません。時期などを考えていただけると嬉しいです。市民参加の行事など、外出が多くなると自身の健康にもプラスになると、人とのかわりが生まれて生活が充実するかな(年寄りです)。
・ このアンケートが配布されるのは3回目です。無作為に当たっているのでしょうか？こんなに当たるのも珍しいです。

その他(応援・激励・意見・感想など)	17
・ 関市のまちづくりに活かして下さい。	
・ 関市内での住み心地に満足しています。不満はありません。	
・ ときめき、きらめき、いきいき関市民として年老いていきたいです。よろしくお願いします。	
・ 外出することが少なくなり、よくわからないですが。住み良い関市を…。	
・ 市としての活動内容がよく分からない。	
・ 自然豊かで暮らしやすいところですね。	
・ 水が美味しいいいまち。	

・時計のチャイム。朝は朝らしいチャイム、夜は皆が家へ帰りたいようなチャイム。どこかにいても、チャイムが鳴ったら帰りたくなるような。
・無責任なのかもしれませんが。願いを込めたところもありますが、現在困ったことも少ないし（年齢が同じくらいの方達と話したり助け合っています）、できるだけ若い方に迷惑にならないように、助け合っていけたらよいと心がけております。それでよいのかわかりませんが、楽しんでいきたいと思っております。いまは行政に助けてもらっていると感謝しております。
・関市で生まれ育ち、社会人になった今も住んでいますが特に不満を持ったことはありません。いつもありがとうございます。
・ホームページの市民の声のところに、近くの市営住宅の草刈りをお願いしたら、しばらくして通りかかった時、とてもきれいになっていました。きちんと対応して下さり安心しました。ありがとうございました。
・関市は転居転入を繰り返し、今また結婚を機に戻ってきました。20年前より明らかに住みやすく、若い人が頑張り、高齢者の方もお元気であるように感じます。子育て世帯になり、私も関の一員として社会をより良くしていきたいと思うようになりました。尾関市長のまちづくりは間違っていないと思います。2歳息子は、せきっこひろばが大好きですよ。
・せきチケは良かったです。良くしてほしいと思いますが、自分がボランティアに参加するのは嫌なわがままです。
・会社の担当として、毎年工場参観日に参加しています。関市はとても良く頑張っていると感じています。又、関市民としてとても住みやすく良い町だと思います。今後も頑張ってください。
・本人に代わり回答しましたが、他県に住んでいる部外者です。関は良くも悪くも昔と変わらない。人の考え方が変わっていないのが残念です。関東の人に「関出身だ」と言うと反応が薄い。一応「良い所だね」と言ってもらえますが、具体的には何も言われない。強いて言えば「貝印」ぐらい。モネの池も、写真仲間は「行きたい」と言いますが、その他の人は何かあったなあみたいな反応です。川浦溪谷、高賀神社など、隠れた良い所がいっぱいあるのに知られていないのが残念だけど、観光客としては静かで落ち着きます。人がいない景色の良い所は関東にはあまりない。でも、こういう所は車が無いといけない。新幹線で帰るのは楽だけど、関で車のない生活はひと昔かふた昔前の不便な生活になります。が、性格的に不自由・不便な生活も好きです。頑張れ関！関東からエールを送ります。
・私は患っている病気の薬の副作用により、あまり外出（仕事や病院、買い物は除く。免疫抑制剤を使用している為）はできませんが、より良い関市運営となりますよう応援しております。
・市長さん、頑張ってください。

令和４年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）
【結果報告書】

発行年月 令和５年３月

発行 関市

編集 関市 市長公室 企画広報課

岐阜県関市若草通３丁目１番地

TEL：0575-22-3131（代表）

FAX：0575-23-7744